

総合分析実験センター 自己点検評価報告書

平成22年度

平成 22 年度総合分析実験センター自己点検評価報告書

1. 部局等の目的・目標

佐賀大学総合分析実験センターは、本学における教育研究の総合的支援を目的とした全学共同施設で、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」「放射性同位元素利用部門」および平成 18 年度新設の「環境安全部門」の 4 部門からなる。

生物資源開発部門は、遺伝子組換え実験と動物実験に関する教育、研究、講習、教育訓練および安全管理を担当する。機器分析部門は、大型高性能分析機器類の維持管理、総合的な分析・測定に関する教育と研究、分析機器の使用講習会および教育訓練を担当する。放射性同位元素利用部門は、放射性同位元素等の利用に関する教育と研究、放射性同位元素等安全取扱講習会および安全管理を担当する。環境安全部門は、環境分析機器の安全管理と教育講習、環境整備および環境分析に関する研究の支援、環境問題に関する共同研究の受入れおよび相談窓口、環境問題についての教育および情報提供を担当する。これらの 4 部門が機能的に連携して学内の研究教育を総合的に支援する。

総合分析実験センターに関する本学の中期計画として、次の 3 項目が定められている。

- ① 総合分析実験センターを基盤として、実験機器類の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備する。
- ② 総合分析実験センターを研究支援組織の中核として整備し、研究室、研究機器等の共同利用を進める。
- ③ 学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図る。

2. 部局等の概要

佐賀大学総合分析実験センターは、社会的な要請度の高い生命、環境、材料等の研究やこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を総合的かつ効果的に支援する体制を構築するために、平成 14 年 4 月 1 日に、従来の「機器分析センター」と「放射性同位元素実験室」を「機器分析分野」、「放射性同位元素利用分野」に改組し、それに新設の「ライフサイエンス分野」を加えて学内共同教育研究支援施設として設立された。平成 15 年 10 月 1 日の佐賀医科大学との統合にあたり、同医科大学の動物実験施設、実験実習機器センター、RI 実験施設をさらに加え、生命科学領域の教育研究支援体制を充実させ、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」および「放射性同位元素利用部門」の 3 部門からなる全学的な研究教育支援施設として新たな「総合分析実験センター」に生まれ変わった。さらに、平成 18 年度に「環境安全部門」を新設し、これらの 4 部門が連携して、学内の理工、農、医、文化教育学分野の研究教育を総合的に支援している。各部門は、佐賀大学の本庄地区と鍋島地区にそれぞれに配置されており、センター長（併任）、副センター長（併任）、准教授 4 名、助教 2 名、教務員 2 名、技術専門職員 5 名、非常勤職員 4 名、研究支援推進員 1 名から構成されている（平成 23 年 3 月 31 日現在）。

平成 22 年度の動物実験施設、RI 実験施設（本庄・鍋島）の各施設利用者は延人数 13,648 名であり、センターに設置している設備・機器利用回数は、延 31,858 回であった。また、センターを利用して得られた業績は、著書 19 件、知的財産 6 件、学術論文（総説含む）202 件、学会発表 462 件で、センターが貢献した外部資金獲得は、67 件で総額 140,780,000 円である（6. センター利用実績参照）。このうち、センター専任の教職員が直接関わったものは、著書 0 件、学術論文（総説含む）13 件、知的財産 1 件、学会発表 31 件で、外部資金獲得は 12 件で総額 14,180,000 円である（6. センター教職員による業績参照）。過去 3 年間の施設利用者数、機器利用回数、業績、外部資金は同水準で維持されていること、これらの研究業績の多くに学生（博士・修士課程、および学部学生）が関与していることから、センターの支援業務は本学の研究教育に大きく貢献していることが分かる（6. センター利用実績参照）。

3. 領域別の自己点検評価

(1) 教育支援の領域

ア 教育支援環境に関する事項

総合分析実験センターを基盤として、実験機器類および生物資源の維持・開発と放射性同位元素利用に関する設備の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備することに、以下の事項を中心に取り組んだ。

- 1) 教員、学生等が利用した機器とそれによって得られた研究成果および機器を利用することを前提として得た外部資金に関する情報収集を年度ごとに行なうこととし、その調査対象とする機器、調査方法、データ整理について、平成 21 年度自己点検評価報告書の外部委員によって提案された事項をもとに、使用施設、利用機器およびそれらによって得られた研究成果および外部資金獲得の情報収集を行った。(平成 22 年度の利用実績を本報告書の末尾に示す。)
- 2) センター両地区内の共同利用可能な機器についての情報を発信するホームページは構築済みであり、共同利用機器の予約申込み、予約状況ならびに運用状況の確認をオンラインでできる体制を整えている。また、機器分析部門鍋島地区においては利用者メーリングリストを構築し、共同利用機器運用に関して迅速な情報提供を行う体制を構築した。
- 3) 学外研究機関に所属する教職員等が総合分析実験センターを利用できるよう、平成 19 年度より本庄地区において「受託試験」(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)を開始した。また、平成 22 年度からは鍋島地区機器分析部門ならびに放射性同位元素利用部門においても「受託試験」(<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)を開始した。今後も情報の周知と、受託可能な機器の拡充を図っていく。
- 4) 現在運用している機器利用システムのさらなる改善および共同利用機器数の増加を図るため、共同利用可能機器の調査依頼を全学に対して行い、共同利用可能機器の増加に努めるとともに、老朽化等により利用できなくなった機器については整理を行った。平成 22 年度末現在の共同利用可能機器は全 288 台であり、そのうち本庄地区に 59 台、鍋島地区に 229 台が設置されている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。
- 5) 低利用頻度機器、および譲渡希望機器の収納スペースを整備し(リサイクルファシリティー)、譲渡を希望する機器について情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を開始した。また、HP やメールを利用してリサイクルファシリティーの周知を図り、年度末などに向けてファシリティーの活用を案内している。運用開始から平成 23 年 3 月 31 日までに、35 物品について譲渡を完了している。(うち平成 22 年度の実績は、2 物品)

イ センターが行う教育に関する事項(使用法、安全、規則等に関する教育)

総合分析実験センターが関わる、機器の使用法や法令・規則等の教育に関して、学生、および使用者、関係者に対して、必要な教育活動を行い、またその教育訓練体制の整備・改善に取り組んだ。

- 1) 放射線同位元素の取扱に必要な放射性同位元素業務従事者講習会は、本庄地区と鍋島地区でそれぞれ行っているが、新規および更新の講習に関して、どちらか一方を受講すればよいようにしている。(平成 22 年度は該当なし)。
- 2) 放射性同位元素業務従事者教育訓練(新規および更新)の実施回数の増加を図っており、本庄地区では、新規教育訓練を関係学部の卒業研究開始時期を考慮して 6 月と 12 月に定期的な教育訓練を行う以外に、5 名以上の希望者がいる場合には随時教育訓練を開催している(平成 22 年度は 3 月に行った)。更新教育訓練に関しては、12 月から 3 月にかけて複数回開催し、更新希望者全員の便宜を図っている。鍋島地区では 4、5、6 月にそれぞれ新規および更新教育訓練を行うことに加え、要請に応じて教育訓練を実施している。
- 3) 平成 19 年 4 月より「佐賀大学動物実験安全管理規則」が施行されたことに伴い、学内の「動物実験委員会」と連携し、動物実験を実施する研究者への教育訓練を実施した。また、年 2 回(本庄地区と鍋島地区で 1 回ずつ)定期に実施される教育訓練に加え、利用者の希望に応じて教育訓練を随時実施し(合計 24 回実施)、利用者の便宜を図った。
- 4) 本庄地区および鍋島地区で遺伝子組換え実験に関する教育訓練を実施した。平成 21 年度より、新たに、英語による教育訓練を開始した。また、遺伝子組換え実験の申請書の提出前の事前の

内容チェックを行っている。

- 5) 総合分析実験センターで行われる教育訓練の際、アンケート調査を随時行い、利用者のニーズの把握に努めている。
- 6) 機器分析部門鍋島地区では、毎年度末に利用者ミーティングを開催し、利用者からのニーズを把握するとともに円滑な共同利用環境の醸成を図っている。平成22年度は平成23年3月15日に開催した。
- 7) 環境安全部門を統括する本庄・鍋島地区機器分析部門の両専任教員は全学環境安全管理室会議メンバーとして、薬品管理システムの運営、産業廃棄物委託表、および実験系廃棄物取り扱い手引き書の改訂作業に参画した。また、鍋島地区機器分析部門専任教員はエコアクション21連絡会議メンバーとして、廃棄物処理改正等、学内EMS環境改善に貢献した。
- 8) 既に作成済みのマニュアル・手引きについて、更新が必要なものについては随時更新を行なっている。
- 9) 本庄地区、鍋島地区の両放射性同位元素利用部門では、文部科学省からの放射性同位元素等の一斉点検の依頼を受け、研究協力課や全学安全衛生管理委員会、放射性同位元素等安全管理委員会とも協力して、管理区域外放射性同位元素等の調査を行い、昨年度からの点検と併せて平成22年10月に最終報告書を作成し、文部科学省に提出した。

ウ センター教職員が行う、学部等における教育活動に関する事項

専任教員、および技術職員は、上記の教育支援、および研究に関する教育・訓練だけでなく、教養教育運営機構に協力し、主題科目の開設、また、学部の講義・実習を担当するなど、学生の教育にあたっている。

- 1) 機器分析部門本庄地区では専任教員1名が、主題科目「生活の化学」「身近な環境—知ろう・見よう・考えよう—(分担)」「身近な環境—調べよう・深めよう・伝えよう—(分担)」「教員のための環境教育(分担)」「やさしい実験化学Ⅰ(分担)」、理工学部「分離化学」「大学入門科目(分担)」「理工学基礎科学(現代化学)(分担)」「機能物質化学実験Ⅳ(分担)」および大学院工学系研究科博士前期課程「物質環境化学特論」「融合循環物質化学特論」を担当した。このうち「大学入門科目」、「機能物質化学実験Ⅳ」は技術職員と連携して担当した。
- 2) 生物資源開発部門本庄地区では専任教員1名が、主題科目「生命と物質(ゲノムから生命を知る)」、農学部「分子細胞生物学」、大学院農学研究科「分子細胞生物学特論」「細胞情報学特論」、および大学院連合農学研究科「先端応用生命科学特別講義」「先端応用生命科学特論」を担当した。
- 3) 放射性同位元素利用部門本庄地区では専任教員1名が、農学部「化学(分担)」「生化学実験(分担)」、大学院農学研究科「微生物酵素学特論」「極限環境微生物学特論」「先端分析科学特論Ⅱ(分担)」を担当した。
- 4) 機器分析部門鍋島地区では専任教員1名が、主題科目「放射線と生命」、大学院医学研究科修士課程「生体傷害分析法」「実験検査・機器特論(分担)」、大学院医学研究科博士課程「機器分析法」「アイソトープ分析法(分担)」を担当するとともに、教務員2名と連携して医学部「基礎生命科学実習(分担)」を担当した。
- 5) 生物資源開発部門鍋島地区では専任教員2名が、主題科目「実験動物学」、医学部「基礎生命科学実習(分担)」、大学院医学研究科修士課程「実験動物学特論」、大学院医学研究科博士課程「動物実験法」を担当した。

(2) 研究支援の領域

ア 学術・研究活動に関する事項

センター、およびセンターの活動を通じて本学における学術・研究の推進を図るため、学内外との共同研究の推進、学外研究プロジェクトへの参画、シンポジウム等の開催を中心に取り組んでいる。

- 1) 生物資源開発部門鍋島地区では、医学部、および農・理工・文教学部とも連携できる研究テー

マの一つとして、生活習慣病の病態モデルとなる遺伝子改変ウサギの開発とそれを用いた分子病理学的研究を行っている。これに関して、総合分析実験センターにおいて開発・維持されている遺伝子改変ウサギを他の研究機関に分与するとともに共同研究を推進した。平成 22 年度は、国内 4 機関に 5 系統の遺伝子改変ウサギ、合計 101 匹を分与した。また、開発した 1 系統の遺伝子組換えウサギについて特許申請を行った。全国レベルのシンポジウムとしては、「第 4 回ウサギフォーラム-医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開-」をウサギフォーラム委員として企画・開催を行なった。

- 2) 機器分析部門鍋島地区では、教員 1 名が放射線医学総合研究所（平成 20 年度～）、ならびに京都大学原子炉実験所（平成 21 年度～）で共同利用研究員として活動し、放射線がん治療の基礎研究をテーマに共同研究を行っている。また、この共同研究に関連して、学内措置により博士研究員 1 名を採用し、同テーマによる研究推進を図った。
- 3) 生物資源開発部門本庄地区では、開発したプラスミド DNA の分与を 1 件行った（国内 1 件）。
- 4) センター各部門共同でセミナーを開催し、センター専任教員を中心とした部門間連携を強めるとともに、センターを中心として学内外との連携が可能な研究プロジェクトの検討を行っている（平成 22 年度は 5 回開催）。

イ 研究支援環境に関する事項

研究支援環境に関して以下のことに取り組み、本学全体、およびセンターにおける研究環境の改善を図った。

- 1) 3. (1) アー 4) に示すように、共同利用可能機器に関する調査結果に基づいて、共同利用可能機器を増加させた。また、機器の運用状況がネット通じて確認できるようにするなど、ホームページの改善を行った。合わせて、低利用頻度機器、および譲渡希望機器の収納スペースを整備し（リサイクルファシリティ）、譲渡を希望する機器について予め情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を一部始めた。HP への掲載、メールによる案内、学内へのポスター等での宣伝活動の結果、運用開始から平成 23 年 3 月 31 日までに、35 物品について譲渡を完了している（うち平成 22 年度の実績は、2 物品）。これらの活動により、譲渡する側にとっての物品の処理費用低減や研究・教育スペースの確保、譲渡される側にとっての低コストでの物品調達を可能にするとともに、環境負荷低減効果ももたらしている。
- 2) 平成 18 年 4 月 1 日に環境安全部門を新設し、本庄地区の同業務を同年 11 月 1 日着任した本庄地区機器分析部門担当准教授が、鍋島地区の同業務を平成 20 年 5 月 1 日着任した鍋島地区機器分析部門担当准教授が担当することとした。環境安全部門の事業として 3R(Reduce, Reuse, Recycle) 事業（搬出廃液・廃試薬の削減および低使用頻度、および廃棄予定物品のリサイクル、リユース事業）を提案し、1) で示した譲渡希望物品の情報収集、および情報開示システムの運用および低頻度物品の収納スペース（リサイクルファシリティ）の運用は、本事業の一環としても開始した。また、3R 事業において、エコアクション 21 連絡会議、環境安全衛生会議室会議等に廃棄物処理に関する改善策も提案している。今後、3R に関わる情報は総合分析実験センターのホームページやニュースレター等を通じて、本学全体に発信していく。
- 3) 大学連携研究設備ネットワークに最先端機器（結晶 X 線構造解析装置）を登録機器として新たに追加しネットワーク利用機器の充実を図った。また、ネットワークを利用した共同研究を通じて、共同利用機器の利用活性化に協力している。
- 4) 動物実験に関して、研究テーマに即した飼育室・実験室の改善を検討した。特に、遺伝子組換えマウスの飼育スペースの不足に対して、設備や飼育器材の充実に向けて可能な限りの努力を行った。
- 5) 動物実験における学内研究者の技術向上を目的に、第 1 回動物実験技術講習会（マウス精子凍結保存法について）を開催し、技術指導を行った。
- 6) 生物資源開発部門鍋島地区では、新たな研究支援業務の開発を目指して「マウス胚の凍結保存」について利用者と共同で試行を行った。
- 7) 近年の研究方法の進歩により、動物実験施設の利用形態も以前とは大きく変わってきており、施設・設備の陳腐化や老朽化のため、現状では利用者からのニーズに対応できていない部分が多数見受けられるようになってきている。そこで、先端的研究を効率よく推進していくため、施

設の全面改修、設備更新の必要性について関連部署、担当者等に説明し、協力して予算措置の要求を行なった。施設の改修については、引き続き、施設整備概算要求を提案した。

- 8) 機器分析部門鍋島地区では平成 22 年度補正予算により、LC-MS の新規導入、透過型電子顕微鏡の更新等、大型機器の整備を行うとともに、同予算により放射性同位元素利用部門鍋島地区にエックス線照射装置の新規導入、イメージングアナライザー、液体シンチレーションカウンタの更新等を行い、利用者の利便性向上に務めた。また、医学部導入大型機器として Genechip 解析装置ならびに Mas-Array 装置の共同利用化に管理運営を担当することで協力するとともに、前者による学内受託試験の開始について、医学部に協力し、平成 22 年度は 3 件の受託を受けた。
- 9) 学外研究機関による総合分析実験センター利用のために機器分析部門本庄地区で行っていた「受託試験」(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>) を拡大し、平成 22 年度から機器分析部門鍋島地区ならびに放射性同位元素利用部門鍋島地区においても開始した(<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。

加えて、大学間の連携を高め、情報の共有や機器の相互利用を推進し、これを通じて本学における研究環境をよりよい物にするために、次のことに取り組んだ。

- 1 0) 他大学の共同利用可能機器に関する情報を大学内に知らせた。
- 1 1) 他大学へ総合分析実験センター内の共同利用可能機器に関する情報を発信した。
- 1 2) 国立大学法人生命科学研究所機器施設協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動に協力した。
- 1 3) 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動や「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」へ対応するための活動に協力した。
- 1 4) 「国立大学法人動物実験施設協議会」に参加し、動物実験および実験動物に関連する情報収集、意見交換を行なった。また、協議会の調査等へに協力を行なった。

これらの活動を通じて得られた情報や成果を公開するためのホームページの更新を図った(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>の「設備の大学間相互利用」を参照)。あわせて、佐賀大学として大学連携研究設備ネットワークに協力し、共同利用機器を供出した。

また、優れた人材の活用のために次のことに取り組んだ。

- 1 5) 研究支援者の採用を続けており、研究支援推進員 1 名を平成 21 年度から継続して採用している。また、学内措置により、機器分析部門本庄地区と鍋島地区において博士研究員各 1 名を新たに採用した。
- 1 6) 技術職員の研究への参画を促進した。

ウ センター職員による研究活動に関する事項

センターでは、ア、イに示す研究支援活動と並行して、センターの教職員がそれぞれテーマをもって専門分野における研究を行っている。各教職員が、日々、個々の専門分野で高いレベルの研究に携わることにより、その研究活動や研究交流を通じて最新の研究成果や情報を入手でき、それがセンターの教育研究支援の向上と、本学の研究教育の推進への貢献につながっている。

- 1) 生物資源開発部門本庄地区では、新しい遺伝子組換え技術の開発、タンパク質に結合する低分子リガンドの探索、カンキツのオミックスをテーマに研究を行っている。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区では、部門の研究テーマとして、1) ヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と医学研究への応用、2) ウサギ精子および胚の凍結保存に関する研究に取り組んでいる。
- 3) 機器分析部門本庄地区では、自然界の土壌や水中に存在する腐植物質の構造特性、機能特性に関する研究を地球科学分野、原子力開発分野、農業分野等の研究者と共同して行っている。

- 4) 機器分析部門鍋島地区では、放射線や環境因子による DNA 傷害とその修復機構を生化学的、分子遺伝学的に検討し、生物の遺伝情報維持機構を明らかにするべく、准教授 1 名、教務員 2 名が協力して研究を行っている。また同准教授 1 名は、放射線医学総合研究所ならびに京都大学原子炉実験所の共同研究員として、放射線がん治療に関する基礎研究をテーマに共同研究を行っている。
- 5) 放射性同位元素利用部門本庄地区では、極限環境微生物の生産する酵素の機能および構造に関する研究を行っている。

平成 22 年度の研究成果は、学術論文（総説含む）13 件、知的財産 1 件、学会発表 31 件で、外部資金獲得は 12 件で総額 14,180,000 円である。研究成果の詳細は 6. に記す。

(3) 国際交流・社会貢献の領域

ア 教育における社会連携・貢献に関する事項

- 1) センター教員が担当する講義「身近な環境—調べよう・深めよう・伝えよう—」の一環として、学内にビオトープ（ホタル池）を整備運営し、ホタルの放流、鑑賞会等のイベントを行った。またそのイベント内で、保育園スタッフを含む地域市民と連携して、佐賀環境フォーラムワークショップ“環境教育”グループによる紙芝居を通じた地域の幼稚園児や小学生への環境教育を行い、同時に市民への憩いの時間を提供した。今年度はさらに大学周辺自治会（西城内自治会、東城内自治会）のビオトープ整備、運営を支援している。学生運営スタッフを指導しながら年 2 回（春と秋）の大学構内および近隣を流れるクリークの河川清掃を近隣自治会と協力して実施、運営しており毎回 60~100 名程度の参加者ととともに社会貢献へ貢献している。
- 2) センター教員が、他大学・研究教育機関などでの講義・実習を担当している。岡山理科大学理学部における講義「生化学特論」、広島大学大学院理学研究科における講義「遺伝子化学Ⅱ」「ゲノム情報学」、福岡歯科大学大学院における講義・実習「実験動物の取扱い」、大川看護福祉専門学校における講義「微生物学」を担当した。

イ 研究における社会連携・貢献に関する事項

学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図るために、以下のことに取り組んだ。

- 1) 平成 19 年度から「受託試験」を開始している (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>および <http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 地域に貢献する研究支援活動を行うために、佐賀大学産学連携推進機構を活用し、同機構のホームページからの情報発信に協力している。

また、以下のことに取り組むことにより、学外の研究者との連携を深め、地域社会の研究推進や学会活動に貢献した。

- 3) 佐賀県農業研究試験研究センターと農学部、理工学部、および NPO 団体との協働により、農林水産省助成事業“新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業”にて、「クリーク底泥の安全性、および有効性の保証データの作成」研究を行った。
- 4) 佐賀県バイオマスイネンジー計画、佐賀市バイオマスタウン構想に協力し、民間の研究への相談に対応し、共同研究計画を策定中である。
- 5) 「佐賀環境フォーラム」の活動において、佐賀市と協力し、佐賀市内公立小中学校のシックススクール調査を行った。
- 6) 学生グループ「自転車佐賀再生（ちゃりさがさいせい（通称ちゃりさ）」の顧問として、活動をサポートし、地域の資源循環に貢献している。平成 22 年 12 月に東京で行われた全国学生環境活動コンテスト（ecocon2010）で準グランプリを獲得した。

ウ その他国際交流・社会貢献に関する事項

- 1) ホームページを通じて、開発したベクターDNA を国内外に分与する活動を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/pSU0/>)。平成 22 年度には、開発したプラスミド DNA の分与を 1 件行った (国内 1 件)。
- 2) 民間企業と提携し、中国、太湖の浄化計画に協力している。
- 3) 日本腐植物質学会監査として、学会の運営に貢献した。
- 4) 環境関連の二つの NPO の理事および副理事長として活動に協力している。
- 5) 佐賀大学主催で開催された The 5th Daegu University and Saga University Joint Seminars (協定校の韓国・大邱大学校) にセンター教員 1 名が協力・発表するとともに、センターで研究を行っている学部生 3 名がポスター発表をした。

(4) 組織運営の領域

ア 教育研究組織の編成・管理運営に関する事項

- 1) 本庄地区と鍋島地区のテレビ会議システムを活用して会議を行った。

イ 財務に関する事項

- 1) 自己収入の増加を図ることも一つの目標として、学外研究機関による総合分析実験センター利用のために、「受託試験」を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/> および <http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 光熱水費削減を目的に動物実験施設の空調設備の運転状況の見直し・変更を継続して実施している。
- 3) 業務委託費の節約を図るため、平成 19 年度から行っている本庄地区 RI 実験施設の作業環境測定を今年度も継続して自ら行った。

ウ その他組織運営に関する事項

- 1) エコアクション 21 の認証取得を目指した取り組みに参画した。詳細は、3.(1)ーイー7)、3.(2)ーイー2)を参照。
- 2) 平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム(教育 GP)の申請書作成 WG に参加した。「佐賀大学版環境教育」の実行委員として活動している。
- 3) 環境安全管理に関して、機器分析部門鍋島地区准教授 1 名が危険物取扱者資格取得および特別管理産業廃棄物主任の資格を取得し、鍋島地区のこれら業務を主担当した。また、衛生工学衛生管理者の有資格者であることから、選任者のうち 1 名は衛生工学衛生管理者有資格者である必要がある附属病院衛生管理者として活動している(平成 20 年度～)。
- 4) 化学物質管理システム(CRIS)の全学運用に関して、両地区機器分析部門准教授 2 名が管理主担当となり、それぞれ本庄地区および鍋島地区の同運用について安全衛生管理室と協力していくこととなった。
- 5) センター教員 2 名が作業環境測定士(放射線)の資格を取得し、本庄地区 RI 施設の作業環境測定を継続して行っていく体制を整えている。また鍋島地区においても教務員 1 名が同資格(有機溶媒)を取得し、作業環境測定に協力している。
- 6) 機器分析部門鍋島地区准教授 1 名は、医学部付属先端医学研究推進支援センター支援部門長を兼任し、医学部の研究推進に協力している。
- 7) その他、大学運営に関わる事項として、センター各教員が、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会、放射性同位元素等安全管理委員会、鍋島キャンパスエネルギー管理協議会、環境安全衛生室会議、医学部安全衛生委員会、エコアクション 21 全学委員会、同医学部委員会委員、医学部エネルギー対策委員会などに参画し、また、様々なワーキンググループに参画するなどして、その専門知識を活かして大学運営に貢献している。また、医学部総合問題部会に参画し、入学試験の作成・採点等にも貢献した。

(5) 施設の領域

ア 施設、設備等に関する事項

災害対策マニュアルに関して、以下の活動を行った。

- 1) 総合分析実験センターとしての「災害対策マニュアル」を全学的なマニュアルと整合性をとりながら作成し、災害対策マニュアルについてホームページで公開した (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/saigai.pdf>)。なお、放射線施設に関しては、放射線障害予防規定に「地震等の災害時における措置」について定めている。また、動物実験施設においても独自の「緊急時対応手引き」を作成し、ホームページ上で公開している。

4. 外部評価

本報告書の評価を、運営委員会で承認された学外の委員からなる委員会に依頼した。委嘱した委員を以下に示す(順不同、敬称略)。

- 1) 西本 潤 准教授 県立広島大学生命環境学部環境科学科
- 2) 五味知治 准教授 富山大学生命科学先端研究センター
- 3) 森本正敏 教授 熊本保健科学大学リハビリテーション学科

各委員からは、評価手法、評価基準、評価の妥当性についておおむね高い評価を頂いた。特にセンターが活発に支援活動を行っている点、外部評価を含めた自己点検を継続的にを行っている点、大学および地域社会への貢献など、が高く評価された。また、多大な労力を要するリサイクルファシリティーや3R事業に積極的に取り組んでいることについても高い評価を得た。

しかし、評価手法や評価基準において、報告書の内容の詳細な記述や具体的評価が盛り込まれていない、評価の根拠資料や年度計画事項に照らした評価の不足、継続して実施しているものと年度に実施したものを区別して評価した方がよいのではないかと、といった改善点についても指摘をいただいた。

これらの指摘や助言に関して、センター教職員間で継続的に検討を重ね、次年度以降のセンターの運営及びその結果としての自己点検評価書に反映させるべく努力するものとした。なお、各委員からのご意見を本報告書の末尾に添付した。各評価委員の方々には、本報告書及びセンター運営などに関して、様々な視点からの検討を加えていただいたことに対して、この場を借りて深謝の意を表す。

5. 総括

本センターの主たる業務は、本学における教育・研究の支援であり、「6. センター利用実績」に示すように、教職員および学生の利用者数、あるいはセンターの利用により得られた研究業績や外部資金獲得の結果から、本センターが有効に活用されていることが分かる。今年度の鍋島地区機器利用回数が前年度までに比べ減少しているが、これは昨年度の外部評価委員の提案に従って集計方法を変更したためであり、過去3年の実績は多少の変動はあるものの同水準で維持されている。また、本センターに所属する教員はそれぞれ独自の研究テーマを持ち、「6. センター利用実績」に示されるように、各教員がそれぞれ研究成果を挙げているとともに、こうした研究活動や研究交流を通じて、センターの教育研究支援レベルの向上に結びついている。また、センターの教員は、その専門的知識・技能・資格あるいは保有設備などを活かして講義や実習を担当することにより、教育に直接関わるほか、委員会活動などを通じて本学の運営にも貢献している。さらに、センターでは、学会活動や地域社会の研究推進や環境保全活動などにも参加・協力しており、こうした活動は、地域あるいは国内外における本学に対する評価を高めているものと考えられる。

しかしながら、センターの保有機器、あるいはセンターの施設そのものが老朽化している物が多く、教育・研究の支援に支障を来していることは大きな問題である。この問題は、平成20年度～平成22年度の概算要求による大型機器更新によっていくらか改善されたが、まだ充分とは言えない。従って、施設の改修や新しい機器の導入のための概算要求などを継続して行っているが、それに加えて、現有の機器の保守、現有の施設の維持管理に関わる学内の予算措置の要求を行っていく必要がある。さらに、機器の保守管理に必要な技術職員の数が大幅に不足している。佐賀大学における教育・研究支援組織の中

核として位置づけられている総合分析実験センターの支援環境整備に、本学全体の理解と協力をお願いしたい。

6. センター利用実績
 (1) 利用実績の動向

		H20	H21	H22	備考
施設利用	動物実験施設	11,612	10,559	11,491	人
	RI 実験施設(鍋島)	1,154	1,064	1,407	人
	RI 実験施設(本庄)	1,010	800	750	人
機器利用	鍋島	27,134	24,289	13,261	のべ回数
	本庄	12,565	11,418	18,597	のべ回数
業績	著書	7	7	19	件
	学術論文	146	119	161	件
	総説・解説・その他	17	25	45	件
	学会発表	428	452	462	件
外部資金	件数	52	88	67	件
	総額	112,370	179,250	140,780	千円

(2) 平成22年度総合分析実験センター施設、設備・機器利用者数

施設利用実績		
施設	のべ利用者数	備考
動物実験施設	11,491	登録者数 教職員 308、学生 162、他 50
鍋島地区 RI 実験施設	1,407	登録者数 教職員 24、学生 11
本庄地区 RI 実験室	750	登録者数 教職員 11、学生 22
機器利用者数		
機器	のべ利用者数	備考
(鍋島地区機器分析部門)		
2147 室 エレクトロマシンショップ	160	入室回数
2148 室 低温貯蔵室	1315	入室回数
2148 室 培養室	242	入室回数
紫外可視分光解析システム①DU-650	0	回数
恒温振盪器 G-25	9	回数
高速冷却遠心機 RX-200	13	回数
オートクレーブ①②③ FSX-500	335	回数
乾熱滅菌機①② SG-62	105	回数
蒸留水製造装置 GlassStill8	390	回数(容量 6119 リットル)
純水製造装置 PCS	13	回数(容量 88 リットル)
超純水製造装置 Milli-Q SP	350	回数(容量 1818 リットル)
全自動アミノ酸分析システム Pico-Tag	25	サンプル数(7 回)
pH メーター F-55S	43	回数
電子天秤 JP-300WP		回数不明
電子天秤 TXB6201L		回数不明
自記分光光度計 UV-2100PC	36	回数
電子顕微鏡 JEM-1400(100CX)	230	入室回数
電子顕微鏡 JEM-1220	148	回数
質量分析 TOF/TOF	48	回数
電子顕微鏡 JSM-5200LV	35	入室回数

2229 室 光学顕微鏡室	1052	入室回数
BIAcore 1000	49	回数
2255 室 薄切室	1849	入室回数
電子顕微鏡 JSM-6510	91	入室回数
電子顕微鏡 JEM-2000FX	138	入室回数
2260 室 セミナー室	425	入室回数
分離用超遠心機 Optima L-70	21	回数
卓上型分離用超遠心機 Optima-TLX	42	回数
高速冷却遠心機 Beckman HP-25	1	回数
コンセントレーター VC-360	0	回数
遠心式濃縮機 VC-36R	12	回数
凍結乾燥機 FDU-2100	12	回数
微量高速遠心機 MCX-150	0	回数
微量高速遠心機 MRX-150	6	回数
紫外可視分光解析システム②DU-650	120	回数
電子天秤 R200D	13	回数
超音波洗浄機		回数不明
ゲル撮影装置 ImageMasterVDS	140	回数(フィルム 310 枚)
分光蛍光光度計 RF-5000	2	回数
デンスitomーター GS-9300PC	0	回数
ガスクロマトグラフ GC-2014AF	95	サンプル数(13 回)
ガスマス 島津 QP2010	0	回数
LC-MS 質量分析装置 島津 LCMS-8030	0	回数
島津原子吸光分光光度計 AA-7000	0	回数
DNA シーケンサ 310 with Win(キャピラリー型)	84	サンプル数(19 回)
自動パルスフィールド電気泳動	0	回数
二次元電気泳動装置 プロテオン II スラフセル	0	回数
二次元電気泳動装置 Multiphor II	0	回数
PCR GeneAmp2400	11	回数
PCR LightCycler	11	回数
ゲル乾燥処理装置 AE-3750	4	回数
紫外線架橋機 ストラータリンカー	57	回数
製氷機	2508	入室回数
製氷機	2505	入室回数
製氷機	501	入室回数
トランスイルミネーター	15	回数
(鍋島地区 RI 部門)		
液体シンチレーションカウンタ	31	
ガンマセル 40	137	
ベータプレート	53	
オートガンマカウンタ	2	
BAS2000	30	
(本庄地区 RI 部門)		
液体シンチレーションカウンタ	29	71 h
バイオイメージングアナライザ	8	15 h

焼却炉	0	
分光光度計	356	1530h
ガンマカウンタ	0	
空気捕集装置	36	
H/C サンプラー	36	
高温振とう器	3	102 h
(本庄地区機器分析部門・生物資源開発部門)		
紫外可視近赤外分光光度計	243	436h
電子スピン共鳴装置	96	85h
顕微付フーリエ変換赤外分光光度計	155	164h
粉末 X 線回折装置	650	908 h
ガスクロマトグラフ質量分析計	395	859 サンプル
超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置	7,761	2,732 h
円偏光二色性分散計	40	115h
蛍光光度計	57	283h
エネルギー分散型蛍光X線分析装置	94	306h
ゼータ電位・粒径測定システム	194	465h
DNAシーケンサー (Type3130)	8912	サンプル

(3) 平成22年度総合分析実験センターを利用して得られた業績及び外部資金

著書		
著者	書名	担当題目(共著の場合)
安藤豊, 青木直大, 在原克之, 東哲司, 大門弘幸, 土肥哲哉, 江原宏, 藤井弘志, 古庄雅彦, 鈴木章弘他 92名	作物学用語事典	遺伝子(1):分子遺伝学の基礎と応用, 遺伝子(3):遺伝子導入とGMO
Gibbs, A. J. and K. Ohshima, 2010.	Annual Review of Phytopathology	Potyvirus and the digital revolution.
Hitoshi Nakagawa, Toyooki Anai, Akinori Okabe, Koji Takahashi, Makita Hajika and Yutaka Takagi	Breeding of Pulse Crops (Kalyani Publishers)	Mutation Breeding of Soybean in Japan
Nagao K., T. Yanagita: Medium-chain fatty acids:	Pharm. Res., 61, 208-212, 2010.	Functional lipids for the prevention and treatment of the metabolic syndrome.
Ryusei Tanaka, Etsuko Okumura, Toyoshi Yoshiga	Nematological Research	Survivorship of <i>Caenorhabditis japonica</i> dauer larvae naturally associated with the shield bug, <i>Parastrachia japonensis</i>
Shirouchi B., K. Nagao, T. Yanagita	Biocatalysis and Biomolecular Engineering, ed. by C.T. Hou, J.R. Shaw	Dietary Phosphatidylinositol in Metabolic Syndrome
永尾晃治 他	新版・現代の栄養化学, 柳田晃良, 福田亘博, 池田郁男編, 三共出版	ビタミンの生理作用、ミネラルの生理作用
丸山洋史^M, 朴金載, 芳尾真幸, 中村博吉	佐賀大学理工集報	黒鉛/Ti 酸化物ハイブリッドキャパシタの電気化学特性
新町洋文・山口遼・杉山大輔・長田聰史・藤田一郎・浜崎雄平・兒玉浩明	第47回化学関連支部合同九州大会	ヒト好中球遊走活性ペプチドLL37の活性発現構造の検索
菅野道廣, 柳田晃良	食品機能性素材 IV	共役脂肪酸の生理機能
菅野道廣, 柳田晃良	シーエムシー出版	食品機能素材 IV
西村 淳, 樋口弘之, 大和武彦	丸善株式会社	有機合成化学入門—基礎を理解して実践に備える
大渡啓介	液液抽出を考える	第6章 カリックスアレーン化合物を用いた抽出
柳田晃良	新版現代の栄養化学, 三共出版, 柳田晃良, 福田亘博, 池田郁男編エネルギー代謝	新版現代の栄養化学 第1章 序説、第8種 エネルギー代謝
Fujita T, Yasaka T, Aoyama T, Inoue M, Uemura S, Kumamoto E	Peptide Science 2009: Okamoto K (Ed.), 301-304	PAR-1 activation in the rat spinal dorsal horn enhances L-glutamate release from interneuron terminals.
熊本栄一, 藤田亜美	慢性疼痛における薬剤選定と治療薬開発 第3部1章第15節, 376-383	アデノシンとATP
Liu T, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Yasaka T, Kumamoto E	Peptide Science 2009: Okamoto K (Ed.), 305-308	Cellular mechanisms for the enhancement by bee venom melittin of GABAergic and glycinergic inhibitory synaptic transmission in adult rat spinal dorsal horn neurons.
Fujise T, Iwakiri R, Shiraiishi R, Wu B, Fujimoto K:	Olives and Olive Oil in Health and Disease Prevention, edited by Preedy VR and Watson RR. 997-1004	Azoxymethane-induced colon carcinogenesis through Wnt/beta-catenin signaling and the effects of the olive oil
出原賢治, 白石裕士, 鈴木章一, 太田昭一郎.	関節リウマチ(第2版)-寛解を目指す治療の新時代-日本臨牀 増刊号, 141-144	インターロイキン13.

原著論文		
著者	雑誌名、巻、ページ	論文タイトル
Fujihala, X.G. Zheng, M. Hagihala, T. Kawae	Phys. Rev. B 82 (2010) 24425-1-24425-8	Antiferromagnetic magnetic transition and spin fluctuations in the deformed pyrochlore compound beta-Fe ₂ (OH)3Cl
Kawano, T., Shimoda, M., Matsumoto, H., Ryuda, M., Tsuzuki, S., and Hayakawa, Y.	J. Biol. Chem. 285 38889-38897	Identification of a gene, Desiccate, contributing to desiccation resistance in <i>Drosophila melanogaster</i> .
Masato Hagihala, Xu-Guang Zheng, Tatsuya Kawae, and Taku J. Sato	Physical Review B 82 214424-1-214424-12	Successive phase transitions with multi-k and non-coplanar spin order, spin fluctuations and field-induced phases in deformed pyrochlore antiferromagnet Co ₂ (OH)3Br

S. Guragain, B. P. Bastakoti, and K. Nakashima	J. Colloid Interface. Sci. 350 63-68	Schizophrenic Micellization of Poly(ethylene oxide-b-methacrylic acid) Induced by Phosphate and Calcium ions
^M 井上大誠、^M 田邊浩嵩、野口英行、中村博吉	佐賀大学理工学集報 39 1-4	リチウムイオン電池 Li2MnO3 系固溶体正極材料—表面処理による電気化学特性改善—
Abdessamad Arbaoui, Carl Redshaw, Mark R.J. Elsegood, Victoria E. Wright, Akina Yoshizawa and Takehiko Yamato	Chem. Asian Journal. 5 621-633	Ion(III) and Zinc(II) Calixarene Complexes: Synthesis, Structural Studies, and Use as Procatalysts for ε-Caprolactone Polymerization
Abdul Mannan, Md.; Noguchi, Hideyuki; Kida, Tetsuya; Nagano, Masamitsu; Hirao, Norie; Baba, Yuji	Thin Solid Films 518 4163-4169	Growth and characterization of stoichiometric BCN films on highly oriented pyrolytic graphite by radiofrequency plasma enhanced chemical vapor deposition
Anisha Noori Kakon, Mishima Nobuo, Shoichi Kojima and Taguchi Yoko	7th International Symposium on Lowland Technology 516-523	Building Height and Shape Considering Outdoor Thermal Comfort in Tropical Climate
Anisha Noori Kakon, Mishima Nobuo, Shoichi Kojima and Taguchi Yoko	American Journal of Engineering and Applied Sciences 3 545-551	Assessment of Thermal Comfort in Respect to Building Height in a High-Density City in the Tropics
Arjun Kumar Thapa, Gumjae Park, Hiroyoshi Nakamura, Tatsumi Ishihara, Nariaki Moriyama, Toshihiko Kawamura, Masaki Yoshio	Electrochimica Acta 55 7305-7309	Novel graphite/TiO2 electrochemical cells as a safe electric energy storage system
B. K. Biswas, K. Inoue, H. Harada, K. Ohto, H. Kawakita	J. Environ. Sci 70 63-68	Leaching of phosphorus from incinerated sewage sludge ash by means of acid extraction followed by adsorption on orange waste gel
B. P. Bastakoti, S. Guragain, A. Yoneda, Y. Yokoyama, S. Yusa, K. Nakashima	Polym. Chem. 1 347-353	Micelle Formation of Poly(ethylene oxide-b-sodium 2-(acrylamido)-2-methyl-1-propane sulfonate-b-styrene) and Its Interaction with Dodecyl Trimethyl Ammonium Chloride and Dibucaine
B. P. Bastakoti, S. Guragain, Y. Yokoyama, S. Yusa, and K. Nakashima	Colloid Polym. Sci. 288 991-996	Hybrid micelle Formation from Poly(ethylene oxide-b-sodium 2-acrylamido-1-propane sulfonate-b-styrene) and Fe3+ Ion in Aqueous Aolution
B. Sharma, N. Shinoda, S. Miyamoto and T. Yamato	J. Chem. Research 428-431	Synthesis and structures of 8-benzyl[2.2]metaparacyclophanes
B. Shirouchi, K. Nagao, K. Furuya, M. Shiojiri, X. Liu, T. Yanagita	Biosci. Biotechnol. Biochem. 74 2333-2335	Physiological effects of dietary PIPS soybean-derived phospholipid in obese Zucker (fa/fa) rats.
B. Shirouchi, K. Nagao, K. Furuya, T. Nagai, K. Ichioka, S. Tokairin, Y. Iida, T. Yanagita	J. Oleo Sci. 59 299-305	Physiological functions of iso-type short-chain fatty acid and omega 3 polyunsaturated fatty acids containing oil in obese OLETF rats.
B.B.Adhikari, K.Ohto, M.Gurung, H.Kawakita	Tetrahedron Lett. 51 3481-3485	Allosteric effect of the first lead ion on stepwise extraction of the second lead ion with p-t-butylcalix[5]arene pentacarboxylic acid derivative
Biplob Kumar Biswas, Katsutoshi Inoue, Hidetaka Kawakita, Hiroyuki Harada, Keisuke Ohto, Shafiq Alam	J. Water Environ. Technol 8 313-320	Study of Zr(IV)-loaded orange waste gel for selenate adsorption
Chong Wu, Wen-Juan Zhang, Xi Zeng, Lan Mu, Sai-Feng Xue, Zhu Tao and Takehiko Yamato	J. Incl. Phenom. Macrocyclic Chem. 63 125-131	New fluorescent sensor for antimony and transition metal cations based on rhodamine amide arm homotrioxacalix[3]arene
D. Sugiyama, Y. Hirakawa, H. Shinmachi, S. Osada, I. Fujita, Y. Hamasaki, and Hiroaki Kodama	Peptides Science 2009 119-202	Receptor Subtype Selectivity of Dimeric Chemotactic Antagonists
H,Seto, K.Ohto, H.Kawakita	J.Membr.Sci. 37 76-81	Reversible extension and shrinkage of solvent-responsive dextran chains produced by enzymatic reaction
H. Uchida, H. Yamashita, T. Anai, T. Muranaka, K. Ohshima	Biosci. Biotech. Biochem. 74 851-853	Agrobacterium-mediated transformation of Euphorbia tirucalli callus.
H.Kawakita, S.Nakano, K.Hamamoto, Y.Matsunaga, Y.Yoshimura, K.Ohto, K.Inoue	J.Appl.Polym.Sci. 118 247-252	Copper-ion adsorption and gold-ion reduction by polyphenols prepared by the enzymatic reaction of horseradish peroxidase
H.Kawakita, Y.Yoshimura, K.Ohto	Ind.Eng.Chem.Res. 49 11582-11586	Reduction of gold ions to gold particles by reusable soluble poly(tyramine) polymerized by horseradish peroxidase
H.Seto, H.Kawakita, K.Ohto	J.Ion Exch., 21 147-152	Metal ion recognition of keto-dextran produced by enzymatic reactions in solution and membrane
H.Seto, K.Ohto, H.Harada, N.Takisawa, H.Kawakita	Carbohydrate Polymers 80 1183-1188	Rheological properties of keto-sugars with high-density carbonyl groups

Hidetaka Kawakita, Sachiko Nakano, Kohshi Hamamoto, Yumi Matsunaga, Yuko Yoshimura, Keisuke Ohto, Katsutoshi Inoue	J. Appl. Polym. Sci. 118 247-252	Copper-ion adsorption and gold-ion reduction by polyphenols prepared by the enzymatic reaction of horseradish peroxidase
Hidetaka Kawakita, Yuko Yoshimura, Keisuke Ohto	Ind. Eng. Chem. Res 49 11582-11588	Reduction of Gold Ions to Gold Particles by Reusable Soluble Poly(tyramine) Polymerized by Horseradish Peroxidase
Hirokazu Seto, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Noboru Takisawa, Hidetaka Kawakita	Carbohydr. Polym. 80 1183-1188	Rheological properties of keto-sugars with high-density carbonyl groups
Hiroki Morodomi, Koichiro Ienaga, Yuji Inagaki, Tatsuya Kawae, Masayuki Hagiwara and X G Zheng	J. Phys.: Conf. Ser. 200 032047-1-032047-4	Specific heat study of geometrically frustrated magnet clinoatacamite $\text{Cu}_2\text{Cl}(\text{OH})_3$
Hisayoshi Soejima [^] B, Keisuke Tsuge, Takashi Yoshimura, Kazuyoshi Koganemaru and Hiroshi Kitagaki*	Journal of the Institute of Brewing. (2011)	Breeding of a high tyrosol-producing sake yeast by isolation of an ethanol-resistant mutant from trp3 mutant.
Ho, T., L. Wang, L. Huang, Z. Li, D. W. Pallett, T. Dalmay, K. Ohshima, J. A. Walsh and H. Wang.	Protein & Cell 1 847-858	Nucleotide bias of DCL and AGO in plant anti-virus gene silencing.
J. Hu, H. Hiyoshi, J. Do and T. Yamato	J. Chem. Research 278-282	Synthesis and fluorescence emission properties of 1,3,6,8-tetrakis(9H-fluoren-2-yl)pyrene derivative
J. Liu, A. Yoneda, D. Liu, Y. Yokoyama, S. Yusa, and K. Nakashima	Can. J. Chem. 88 208-216	Mixed Micelles of Poly(styrene- <i>b</i> -3-(methacryloylamino)propyltrimethylammonium chloride- <i>b</i> -ethylene oxide) and Anionic Amphiphiles in Aqueous Solutions
J. Liu, D. Liu, S. Manickam, Y. Yokoyama, S. Yusa, and K. Nakashima	Chem. Lett. 39 584-585	Synthesis of Hollow Silica Nanospheres Templated by Micelle of Poly(styrene- <i>b</i> -[3-(methacryloylamino)propyl] trimethylammonium chloride- <i>b</i> -ethylene oxide)
J. Taira, M. Shibue, S. Osada, H. Kodama	Int. J. Pept. Res. Ther. 16 277-282	Peptaibol Derived Helix-Kink Motif Facilitates Channel Forming of the Artificial α -Aminoisobutyric Acid Rich Helices
J. Taira, S. Osada, R. Hayashi, T. Ueda, M. Jelokhani-Niaraki, H. Aoyagi, H. Kodama	Bull. Chem. Soc. Jpn. 83 638-688	Trans-bilayer ion conduction by proline containing cyclic hexapeptides and effects of amino acid substitutions on ion conducting properties
J. Taira, Y. Kida, H. Yamaguchi, K. Kuwano, Y. Higashimoto, H. Kodama	J. Pept. Sci. 16 607-612	Modifications on amphiphilicity and cationicity of unnatural amino acid containing peptides for improvement of antimicrobial activity against pathogenic bacteria.
Jian-yong Hu, Masanao Era, Mark R. J. Elsegood and Takehiko Yamato	Eur. J. Org. Chem. 72-79	Pyrene-Based Cruciform-Shaped Conjugation Blue Light-Emitting Monomer: Synthesis and Photophysical Properties
Jian-yong Hu [^] D, Masanao Era, Mark R.I. Elsegood, and Takehiko Yamato	Organic Light Emitting Diode - Material, Process and Devices 21-60	Synthesis and photophysical properties of pyrene-based light emitting monomers: highly pure-blue-fluorescent, cruciform-shaped architecture
Junichi Taira, Satoshi Osada, Ryo Hayashi, Toshihisa Ueda, Masoud Jelokhani-Niaraki, Haruhiko Aoyagi, and Hiroaki Kodama	Bulletin of the Chemical Society of Japan 83 683-688	Trans-Bilayer Ion Conduction by Proline Containing Cyclic Hexapeptides and Effects of Amino Acid Substitutions on Ion Conducting Properties
K. Nagao, N. Inoue, M. Inafuku, B. Shirouchi, T. Morooka, S. Nomura, N. Nagamori, T. Yanagita	J. Nutr. Biochem. 21 418-423	Mukitake mushroom (<i>Panellus serotinus</i>) alleviates nonalcoholic fatty liver disease through the suppression of monocyte chemoattractant protein 1 production in db/db mice.
K. Nagao, N. Yamano, B. Shirouchi, N. Inoue, S. Murakami, T. Sasaki, T. Yanagita	J. Agric. Food Chem. 58 9028-9032	Effects of citrus auraptene (7-geranyloxycoumarin) on hepatic lipid metabolism in vitro and in vivo.
K. Shibata, T. Nishizaki, M. Maki, N. Kobayashi	Supercond. Sci. Technol. 23 085004-1-085004-5	Local spectroscopy and vortex-core imaging on chemically wet-etched surfaces of $\text{YBa}_2\text{Cu}_3\text{O}_y$ by scanning tunneling microscopy/spectroscopy
K. Inoue, H. Paudyal, H. Nakagawa, H. Kawakita, K. Ohto	Hydrometallurgy 104 123-128	Selective adsorption of chromium(VI) from zinc(II) and other metal ions using persimmon waste gel
K. Khunathai, D. Parajuli, K. Ohto, H. Kawakita, H. Harada, K. Inoue, K. Hirota, M. Funaoka	Solvent Extr. Ion Exch. 28 403-414	Adsorption Behavior of Quaternary Amine Types of Lignophenol Compounds for Some Precious Metals

K.Ohto, A.Yoshitake, A.Matsufuji, T.Nakamura, H.Kawakita, H. Harada	J.Ion Exch. 21 217–222	Elucidation of Extraction Mechanism of Lead ion with Ether–Acetic Acid Crossed Type of Calix[4]arene Derivatives
Kanamori, Y., Hayakawa, Y., Matsumoto, H., Yasukochi Y., Shimura, S., Nakahara, Y., Kiuchi, M., and Kamimura, M.	J. Biol. Chem. 285 36933–36944	A eukaryotic (insect) tricistronic mRNA encodes three proteins selected by context dependent scanning.
Kanjana Khunathai, Durga Parajuli, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Hiroyuki Harada, Katsutoshi Inoue, Koichi Hirota, Masamitsu Funaoka	Solv. Extr. Ion Exch. 28 403–414	Adsorption behavior of quaternary amine type of lignophenol compounds for some precious metals
Kawakami R, Oyama M, Sakuraba H, Ohshima T	Biosci. Biotechnol. Biochem. 74 884–887	The Unique Kinetic Behavior of the Very Large NAD–Dependent Glutamate Dehydrogenase from <i>Janthinobacterium lividum</i>
Kawano, T., Matsumoto, H., Nakano, F., Maekawa, E., Kanuka, H, Tsuzuki, S., and Hayakawa, Y	Entomological Science 14 183–191	Cells expressing Desiccate are essential for morphogenesis of labial sensilla in <i>Drosophila melanogaster</i> adults.
Kenta Horie, Takahiro Oba, Saori Motomura, Atsuko Isogai, Takashi Yoshimura, Keisuke Tsuge, Kazuyoshi Koganemaru, Genta Kobayashi and Hiroshi Kitagaki ,	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 74 843–847	Breeding of a Low Pyruvate–Producing Sake Yeast by Isolation of a Mutant Resistant to Ethyl α –Transcyanocinnamate, an Inhibitor of Mitochondrial Pyruvate Transport
Kosuke Jozaki, Hiroki Shinkai, Takeya Morozumi, Maiko Tanaka–Matsuda, Tomoko Eguchi–Ogawa, Yasuhiko Wada, Hirohide Uenishi	Animal Biotechnology 21 156–163	Cloning, Expression, and Polymorphisms of Natural Killer Cell Receptor NCR1 in Pigs
Lahiru N. Jayakody [^] M, Nobuyuki Hayashi [*] , and Hiroshi Kitagaki [*]	Biotechnology Letters 33 285–292	Identification of glycolaldehyde as the key inhibitor of bioethanol fermentation by yeast and genome–wide analysis of its toxicity.
M. Takeshita, H. Jin–nouchi	Chemical Communications 46 3994–3995	Fully diastereospecific photochromic reaction of a thiophenophan–1–ene
M.Abe, H.Kawakita, K.Ohto, K.Inoue	J.Ion Exch. 21 137–140	Recovery of gold by means of adsorption accompanied by reduction using orange waste
Masahiro Shiosaki, Masashi Unno, Takeshi Hanamoto	Journal of Organic Chemistry 75 8326–8329	Property and Reactivity of Fluoro(silyl)acetylenes and Fluoro(stanny)acetylenes
Minmin Fu, Shoichi Kojima, Kazuaki Nakaohkubo	The Yellow Sea Rim International Exchange Meeting on Building Environment and Energy 2011 289–296	The Thermal Effect of River Water on the Surrounding Air in Saga City
Mitsunori Yada, Yuko Inoue, Akihito Gyoutoku, Iwao Noda, Toshio Torikai, Takanori Watari, Takao Hotokebuchi	Colloids and Surfaces B: Biointerfaces 80 116–124	Apatite–forming ability of titanium compound nanotube thin films formed on a titanium metal plate in a simulated body fluid
Nagao K., N. Yamano, B. Shirouchi, N. Inoue, S. Murakami, T. Sasaki, T. Yanagita:	J. Agric. Food Chem., 58, 9028–9032	Effects of citrus auraptene (7–geranyloxycoumarin) on hepatic lipid metabolism in vitro and in vivo.
Oda, Y., Matsumoto, H., Kurakake, M., Ochiai, M., Ohnishi, A., and Hayakawa, Y.	Proc Nat Acad Sci USA 107 15862–15867	Adaptor protein is essential for insect cytokine signaling in hemocytes.
R. Matsunaga, Y. Yamada, M. Koikawa, and T. Tokii	X–ray Structure Analysis Online 26 71–72	Synthesis and Crystal Structure of a Dinuclear Manganese(III) Complex of 1–[(2–Hydroxymethylphenyl)iminomethyl]–2–naphthol
R.Tanaka,E.Okumura,T.Yoshiga	Nematological research 40 7–12	A simple method to collect phoretically active dauer larvae of <i>Caenorhabditis japonica</i> .
RA. Wulandari, M. Amano, T. Yanagita, T. Tanaka, I. Kouno, D. Kawamura, K. Ishimaru,	J Nat Med 65 594–597	New phenolic compounds from <i>Camellia sinensis</i> L. leaves fermented with <i>Aspergillus</i> sp.
Ryoko Maeda, Kyoko Ooyama, Ryoko Anno, Masahiro Shiosaki, Takayuki Azuma, Takeshi Hanamoto	Organic Letters 12 2548–2550	Preparation and reactions of (β –Trifluoromethyl)vinyl sulfonium salt
Ryusei Tanaka, Etsuko Okumura, Toyoshi Yoshiga	Nematological research 40 7–12	A simple method to collect phoretically active dauer larvae of <i>Caenorhabditis japonica</i> .
S. Aloise, M. Sliwa, Z. Pawlowska, J. Rehault, J. Dubois, O. Poizat, G. Buntinx, A. Perrier, F. Maurel, S. Yamaguchi, M. Takeshita	Journal of the American Chemical Society 132 7379–7390	Bridged Photochromic Diarylethenes Investigated by Ultrafast Absorption Spectroscopy: Evidence for Two Distinct Photocyclization Pathways

S. Guragain, B. Bastakoti, M. Hasegawa, K. Nakashima	Colloid Surf. A 363 86–91	ComplexMicelle Formation between Poly(ethylene oxide-b-N-methyl-2-vinyl pyridinium iodide) and Poly(methacrylic acid)
S. Guragain, B. P. Bastakoti, S. Yusa, and K. Nakashima	Polymer 51 3181–3188	Stimuli-Induced Core-Corona Inversion of Micelles of Water Soluble Poly(sodium 2-(acrylamido)-2-methylpropanesulfonate-b-N-isopropyl acrylamide)
S. Osada, R. Takabatake, D. Sugiyama, Y. Hamasaki, I. Fujita, and Hiroaki Kodama	Peptides Science 2009 123–126	Methionine Analogs with the γ -Carbon and Sulfur Atoms Replaced by a Fluoroalkene Unit
S. Samatya, H. Mizuki, H. Kawakita, K. Uezu	React. Funct. Polym. 70 63–68	The effect of polystyrene as a porogen on the fluoride ion adsorption of Zr(IV) surface-immobilized resin
Shirouchi B., K. Nagao, K. Furuya, M. Shiojiri, X. Liu, T. Yanagita:	Biosci. Biotechnol. Biochem, 74, 2333–2335	Physiological effects of dietary PIPS soybean-derived phospholipid in obese Zucker (fa/fa) rats.
Shoichi Kojima, Kazuaki Nakaohkubo, Minmin Fu	The Yellow Sea Rim International Exchange Meeting on Building Environment and Energy 2011 267–273	The Investigation of the Outdoor Thermal Environment of Urban Area of Castle Moat Downstream in Saga City
T. Shimizu, R. Kato, S. Miyamoto and T. Yamato	J. Chem. Research 34 445	Synthesis and structures of 4,16-dimethoxy-1,2-dimethyl[2.4]metacyclophan-1-ene and 8,17-dimethoxy-1,2-dimethyl-10-thia[2.3.4](1,3,5)cyclophan-1-ene
T. Shimomura, K. Fujii, and T. Takamuku	Phys. Chem. Chem. Phys.12 12316–12324	Effects of Alkyl-chain Length on Mixing State of Imidazolium-based Ionic Liquid-Methanol Solutions,
T. Suga, J. Taira, S. Osada, H. Kodama	Peptides Science 2009 195–198	Amino Acid Sequence Dependence of Ion Channel Activity by Cyclic Tetrapeptides
T.Yoneyama, K.Ohto, H.Harada, H.Kawakita	Solv. Extr. Res., Develop., Jpn. 17 187–194	Solvent extraction of precious metals with quinolinocalix[4]arene
Takaaki Wajima, Tomoe Shimizu, Takehiko Yamato and Yasuyuki Ikegami	Toxicological and Environmental Chemistry 92 21–26	Removal of NaCl from seawater using natural zeolite
Takuya Hashimoto, Md. Shahajahan Kutubi, Takayuki Izumi, Md. Ataur Rahman, Tsugio Kitamura	J. Organometallic Chemistry 696 99–105	Catalytic hydroarylation of alkynes with arenes in the presence of FeCl ₃ and AgOTf
Tomoaki Yoneyama, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Hidetaka Kawakita	Solv. Extr. Res., Develop., Jpn. 17 187–194	Solvent extraction of precious metals with Quinolinocalix[4]arene
Tomoe Shimizu, Kan Tanaka, Arjun Paudel and T. Yamato	Can. J. Chem. 88 458–462	Medium-sized cyclophanes, 85: Benzylation by 8-(bromomethyl)[2.2]meta- cyclophanes. Through-space electronic interactions of [2.2]metacyclophane benzyl cations
Tomoki Hoshino, Yutaka Takagi and Toyoaki Anai	Breeding Science 60 419–425	Novel GmFAD2-1b mutant alleles created by reverse genetics induce drastic elevation of oleic acid content in soybean seeds in combination with GmFAD2-1a mutant alleles
Tshering Penjor, Toyoaki Anai, Yukio Nagano, Ryoji Matsumoto, Masashi Yamamoto	Tree Genetics and Genomes	Phylogenetic relationships of Citrus and its relatives based on rbcL gene sequences
Tsugio Kitamura	Australian J. Chem. 63 987–1001	Synthetic Methods for the Generation and Preparative Application of Benzyne
Tsugio Kitamura, Tomonobu Mizuhara, Mory Laye Keita, Juzo Oyamada	Phosphorus, Sulfur, Silicon, the Related Elements 185 1154–1161	A Convenient Synthesis of 3,3-Bis(thienyl)propionic Acids by Platinum(II)-catalyzed Reaction of Thiophenes with Propiolic Acids
X. Ni, H. Tomiyasu, T. Shimizu, C. Perez-Casas, a Z. Xi and T. Yamato	J. Incl. Phenom. Macrocyclic Chem. 68 99–108	Synthesis and heteronuclear inclusion properties of a novel thiacalix[4]arene-based hard-soft receptor with 1,3-alternate conformation
X. Zheng, W. Zhang, L. Mu, X. Zeng, S. Xue, Z. Tao and T. Yamato	J. Incl. Phenom. Macrocyclic Chem. 68 139–149	A novel rhodamine-based thiacalix[4]arene fluorescent sensor for Fe ³⁺ and Cr ³⁺
Y. Ishiwata, S. Suehiro, M. Hagihala, X. G. Zheng, T. Kawae, O. Morimoto, and Y. Tezuka	Physical Review B 82 115401–1–115401–7	Unusual low-temperature phase in VO ₂ nanoparticles
Y. Saito, T. Owaki, T. Matsunaga, M. Saze, S. Miura, M. Maeda, M. Eguchi, R. Tanaka, J. Taira, H. Kodama, S. Goto, Y. Niitsu, H. Terada, F. Fukai	J. Biol. Chem. 285 7006–7015	Apoptotic death of hematopoietic tumor cells through potentiated and sustained adhesion to fibronectin via VLA-4.

Y. Yamada, M. Kono, Y. Miyoshi, T. Nagasaki, M. Koikawa, and T. Tokii	J. Coord. Chem. 63 742-761	Formations of 1D Ladder- and 2D Sheet-Like Networks Due to Stereospecific pi-pi Stackings and Hydrogen Bondings between Enantiomeric Sulfur-Bridged Dinuclear Complexes of Penicillamines
Y. Yamada, S. Takenouchi, Y. Miyoshi, and K. Okamoto	Journal of Coordination Chemistry 63 996-1012	Syntheses, Crystal Structures, and Some Properties of Heavier Lanthanide(III) Complexes with Optically Active N,N'-Bis(2-hydroxybenzyl)-N,N'-bis(2-pyridylmethyl)-R-1,2-propanediamine
Y.Xiong, C.R.Adhikari, H.Kawakita, K.Ohto, H.Harada, K.Inoue	Waste and Biomass Valorization 1 339-345	Recovery of Precious Metals by Selective Adsorption on Dimethylamine-Modified Persimmon Peel
Y.Xiong, H.Kawakita, J.Inoue, M.Abe, K.Ohto, K.Inoue, H.Harada	Solv.Extr.Res.Dev.,Jpn. 17 151-162	Solvent extraction and stripping of gold(III) from hydrochloric acid solution using vacuum pump oil
Yamasaki, S., J. Sakai, S. Fuji, S. Kamisoyama, K. Emoto, K. Ohshima and K. Hanada	Archives of Virology 155 795-800	Comparisons among isolates of Sweet potato feathery mottle virus using complete genomic RNA sequences.
Yasuhiro Ide, Yuji Hori, Soichi Kobayashi, Md. Delwar Hossain, Tsugio Kitamura	Synthesis 18 3083-3086	A Simple and Convenient Per-O-acylation of Cyclodextrins Catalyzed by Molecular Iodine
Ying Xiong, Chaitanya Raj Ahikari, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Katsutoshi Inoue	Waste Biomass Valor 1 339-345	Recovery of precious metals by selective adsorption on dimethylamine-modified persimmon peel
YM. Wang, XQ Hu, Y. Xue, ZJ. Li, T. Yanagita, CH. Xue,	Nutrition, 27 571-575	Study on possible mechanism of orotic acid-induced fatty liver in rats
Yoichi ISHIWATA, Satoshi SUEHIRO, Yasuyuki SOI, Yasuhisa TEZUKA, Osamu MORIMOTO, and Xu-Guang ZHENG	Journal of the Physical Society of Japan 79 054712-1-054712-3	Metal-Insulator Transition for V2O3 Powder Observed Using a Soft X-ray Emission Spectrometer
Yu Yang, Tokuma Nakamichi M, Soichiro Omi M, Ryo Goto M, Masayuki Yahiro M, Masanao Era, Hirofumi Watanabe, and Yuji Oki	Proc. SPIE 7599 75991D	Wavelength resolution improvement on organic photodiodes made by ink-jet technique
Zheng H, Lin L, Okezaki Y, Kawakami R, Sakuraba H, Ohshima T, Takagi K, Suye S	Beilstein Journal of Nanotechnology 1 135-141	Electrochemical behavior of dye-linked L-proline dehydrogenase on glassy carbon electrodes modified by multi-walled carbon nanotubes
井上大誠、田邊浩嵩、野口英行、中村博吉	佐賀大学理工学部集報 39 1-4	リチウムイオン電池用 Li2MnO3 系固溶体正極材料—表面処理による特性改善
原田 浩幸、天野 佳正、志岐 昌彦、吉野 健児、山本 浩一、横山 勝英、川喜田 英孝、大渡 啓介	化学工学論文集 36 323-327	有明海底泥から抽出した付着藻類起因多糖含有溶液の特性に関する研究
瀬戸 弘一、大渡 啓介、川喜田英孝	化学工業 61 944-949	転移酵素反応で生成した多糖類による膜の機能化
中村博吉、王宏宇、朴金載、Arjun Thapa、Meijing Zou、芳尾真幸	佐賀大学理工集報 39 5-7	正極に黒鉛を用いる新規高電圧キャパシタの構築
藤原祐三、北村二雄	化学と工業 64 20-21	遷移金属触媒による C-H 結合活性化を経るカップリング反応などの開発
北村二雄	化学工業 61 673-678	アルキンのヒドロアリール化を利用する新しい分子変換反応の開発
林田瑠美子、磯兼妙子、片淵直人、大坪利豪、和田康彦	日本暖地畜産学会報 53 25-29	佐賀県黒毛和種牛におけるサイログロブリン遺伝子プロモーター領域の1塩基置換と枝肉形質との関連性
林田瑠美子、前田友香、片淵直人、大坪利豪、山田宜永、佐々木義之、和田康彦	日本暖地畜産学報 53 51-56	佐賀県黒毛和種牛における Akirin2 遺伝子の1塩基置換と枝肉形質との関連性
* Yamamoto S, Toyama D, Yatsuki H, Higashimoto K, Soejima H, Isoyama K.	Pediatr Blood Cancer. 55(4):733-735	Acute megakaryocytic leukemia (AMKL,FAB;M7) with Beckwith-wiedemann syndrome.
Matsushita H, Ohta S, Shiraishi H, Suzuki S, Arima K, Toda S, Tanaka H, Nagai H, Kimoto M, Inokuchi A, Izuhara K.	Int Immunol, 22, 9, 739-747	Endotoxin tolerance attenuates airway allergic inflammation in model mice by suppression of the T-cell stimulatory effect of dendritic cells.
Miyazaki Y, Hamano S, Wang S, Shimano Y, Iwakura Y and Yoshida H	J. Immunol. 2010. 185: 1150-1157.	IL-17 is necessary for host protection against acute-phase Trypanosoma cruzi infection.
*Nagasaka A, Kawane K, Yoshida H and Nagata S	Cell Death Differ. 2010. 17: 931-941.	Apaf-1-independent programmed cell death in mouse development.
Nakaya M, Hamano S, Kawasumi M, Yoshida H, Yoshimura A, Kobayashi T	International Immunology, in press	Aberrant IL-4 production by SOCS3-over-expressing T cells during infection with Leishmania major exacerbates disease manifestations

*Ohsawa S, Hamada S, Kuida K, Yoshida H, Igaki T and Miura M	Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A. 2010. 107: 13366-13371.	Maturation of the olfactory sensory neurons by Apaf-1/caspase-9-mediated caspase activity.
Tong H, Miyazaki Y, Yamazaki M, Hara H, Waldmann H, Hori S and Yoshida H	Immunol. Lett. 128:108-115.	Exacerbation of delayed-type hypersensitivity responses in EBV-induced gene-3 (EBI-3)-deficient mice.
Gohara,R., Liu, D., Nakashima, K., Takasaki, Y., Ando, S.	Peptide Science 2009: pp. 419-420	Vimentin Intermediate Filaments Act as a Template for Silica Nanotube Preparation
Tsukamoto H, Fukudome K, Takao S, Tsuneyoshi N, Kimoto M	Int Immunol. 22(4):271-280	Lipopolysaccharide-binding protein-mediated Toll-like receptor 4 dimerization enables rapid signal transduction against lipopolysaccharide stimulation on membrane-associated CD14-expressing cells.
Uchihashi K, Aoki S, Shigematsu M, Kamochi N, Sonoda E, Soejima H, Fukudome K, Sugihara H, Hotokebuchi T, Toda S.	Pathol Int. 60(4):259-267.	Organotypic culture of human bone marrow adipose tissue.
Matsushita H, Ohta S, Shiraishi H, Suzuki S, Arima K, Toda S, Tanaka H, Nagai H, Kimoto M, Inokuchi A, Izuhara K.	Int Immunol. 22(9):739-747.	Endotoxin tolerance attenuates airway allergic inflammation in model mice by suppression of the T-cell stimulatory effect of dendritic cells.
H. Kawano, S. Masuko	Neuroscience 169: 1227-1234	Region-specific projections from the subfornical organ to the paraventricular hypothalamic nucleus in the rat.
Aoyama T, Koga S, Nakatsuka T, Fujita T, Goto M, Kumamoto E	Brain Res. 1340, 10-17	Excitation of rat spinal ventral horn neurons by purinergic P2X and P2Y receptor activation.
Inoue M, Fujita T, Mizuta K, Piao L-H, Yue H-Y, Aoyama T, Yasaka T, Kumamoto E	J. Func. Diag. Spinal Cord 32: 1, 17-25	Effect of eugenol on glutamatergic excitatory synaptic transmission in adult rat substantia gelatinosa neurons.
Jiang C-Y, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Inoue M, Yasaka T, Kumamoto E	J. Func. Diag. Spinal Cord 32: 1, 26-36	TRPV1 activation by resiniferatoxin enhances excitatory synaptic transmission in rat substantia gelatinosa neurons.
Piao L-H, Fujita T, Yue H-Y, Mizuta K, Inoue M, Nakatsuka T, Kumamoto E	Pain Res. 25: 3, 145-157	Activation by lidocaine of TRPA1 channels in the substantia gelatinosa of adult rat spinal cord.
*Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Abe T, Mine N, Fujita T, Kumamoto E, Yoshida M	J. Func. Diag. Spinal Cord 32: 1, 10-16	In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic nervous system in spinal substantia gelatinosa neurons.
Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Aoyama T, Uemura S, Nakatsuka T, Kumamoto E	Pain Res. 25: 3, 159-169	Effect of galanin on excitatory and inhibitory synaptic transmission in substantia gelatinosa neurons of rat spinal cord slices.
Takase Y, Kai K, Masuda M, Akashi M, Tokunaga O.	Pathology - Research and Practice 206: 725-730	Endoglin (CD105) expression and angiogenesis status in small cell lung cancer
Kusano K, Inokuchi A, Fujimoto K, Miyamoto H, Tokunaga O, Kuratomi Y, Shimazu R, Mori D, Yamasaki F, Kidera K, Tsunetomi K, Miyazaki J	J Gastroenterol 45:406-412	Cocoid Helicobacter pylori exists in the palatine tonsils of patients with IgA nephropathy
*侯 力、高瀬ゆかり、甲斐敬太、明石道昭、増田正憲、徳永 藏	脈管学 25:218	CD105 発現新生血管を指標とした抗新生血管療法: Fumagillin を用いた in vivo および in vitro 研究
明石道昭、朴 美花、甲斐敬太、酒井真紀、小柳孝太郎、徳永 藏	診断病理 27 No.3 244-247	Hard Metal Lung Disease の 1 例
Akiyama T, Miyamoto H, Fukuda K, Sano N, Katagiri N, Shobuie T, Kukita A, Yamashita Y, Taniguchi H, Goto M.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod. 109: 669-676	Development of a novel PCR method to comprehensively analyze salivary bacterial flora and its application to patients with odontogenic infections.
Ando Y., Miyamoto H., Noda I., Sakurai N., Akiyama T., Yonekura Y., Shimazaki T., Miyazaki M., Mawatari M., Hotokebuchi T	Materials Science and Engineering C VOL.30, 175-180	Calcium phosphate coating containing silver shows high antibacterial activity and low cytotoxicity and inhibits bacterial adhesion
Sano N, Matsunaga S, Akiyama T, Nakashima Y, Kusaba K, Nagasawa Z, Koizumi S, Goto M, Miyamoto H	Journal of Medical Microbiology, 59:245-250	Moraxella catarrhalis bacteraemia associated with prosthetic vascular graft infection
Shimazaki T., Miyamoto H., Ando Y., Noda I., Yonekura Y., Kawano S., Miyazaki M., Mawatari M., Hotokebuchi T	J. Biomed. Mater. Res B VOL.92B, 386-389	In vivo antibacterial and silver-releasing properties of novel thermal sprayed silver-containing hydroxyapatite coating
Matsumoto A, Ino T, Ohta M, Otani T, Hanada S, Sakurao A, Matsumoto A, Ichiba M, Hara M	Environ Health Preve Med, 15:211-216	Enzyme-linked immunosorbent assay of nicotine metabolites

Koarada S, Tada Y, Sohma Y, Haruta Y, Suematsu R, Mitamura M, Inoue H, Ehara H, Tokoro Y, Ohta A, Nagasawa K	Rheumatology 49: 662–670	Autoantibody-producing RP105-negative B cells from patients with systemic lupus erythematosus, showed more preferential expression of BCMA compared with BAFF-R than normal subjects.
*Ureshino N, Aragane N, Nakamura T, Ide M, Mochinaga S, Fukushima N, Hayashi S, Sueoka E, Kimura S	Oncol Res, in press.	A Fully Integrated and Automated Detection System for Single Nucleotide Polymorphisms of <i>UGT1A1</i> and <i>CYP2C19</i> .
Komoda H, Inoue T, Node K.	Clin Exp Hypertens. 32(2):121–8.	Anti-inflammatory properties of azelnidipine, a dihydropyridine-based calcium channel blocker.
O Nakashima M, Hamajima H, Xia J, Iwane S, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Mizuta T, Fujimoto K, Ozaki I, Matsuhashi S.	Biophys. Acta.1803: 1020–1027	Regulation of tumor suppressor PDCD4 by novel protein kinase C isoforms Biochem.
Shiraishi R, Iwakiri R, Fujise T, Kuroki T, Kakimoto T, Takashima T, Sakata Y, Tsunada S, Nakashima Y, Yanagita T, Fujimoto K.	J. Gastroenterol. 45: 625–635	Conjugated linoleic acid suppresses colon carcinogenesis in azoxymethane-pretreated rats with long-term feeding of diet containing beef tallow.
Hashiguchi K, Kitajima Y, Kai K, Hiraki M, Nakamura J, Tokunaga O, Noshiro H, Miyazaki K.	International Journal of Oncology 37: 2, 257–264	A quantitative evaluation of the determinant proteins for S-1 responsiveness in a biopsy specimen assists in patients selection to neoadjuvant therapy in case of advanced gastric cancer
Hiraki M, Kitajima Y, Nakafusa Y, Nakamura J, Hashiguchi K, Sumi K, Noshiro H, Miyazaki K.	Oncol Rep.23:1,191–197	CpG island methylation of BNIP3 predicts resistance against S-1/CPT-11 combined therapy in colorectal cancer patients.
Hiraki M, Kitajima Y, Sato S, Mitsuno M, Koga Y, Nakamura J, Hashiguchi K, Noshiro H, Miyazaki K.	Ann Surg Oncol 17:4,1177–1186	Aberrant gene methylation in the lymph nodes provides a possible marker for diagnosing micrometastasis in gastric cancer.
Hiraki M, Kitajima Y, Sato S, Nakamura J, Hashiguchi K, Noshiro H, Miyazaki K	World Journal of Gastroenterology 16:3,330–338	Aberrant gene methylation in the peritoneal fluid is a risk factor predicting peritoneal recurrence in gastric cancer
Mitsuno M, Kitajima Y, Ohtaka K, Kai K, Hashiguchi K, Nakamura J, Hiraki M, Noshiro H, Miyazaki K	International Journal of Oncology36:2,341–349	Tranilast strongly sensitizes pancreatic cancer cells to gemcitabine via decreasing protein expression of ribonucleotide reductase 1.
Nakamura J, Kitajima Y, Kai K, Hashiguchi K, Hiraki M, Noshiro H, Miyazaki K.	Int J Cancer 127,1158–1171	HIF-1 α is an unfavorable determinant of relapse in gastric cancer patients who underwent curative surgery followed by adjuvant 5-FU chemotherapy.
Nakamura J, Kohya N, Kai K, Ohtaka K, Hashiguchi K, Hiraki M, Kitajima Y, Tokunaga O, Noshiro H, Miyazaki K.	International Journal of Oncology 37,845–852	Ribonucleotide reductase subunit M1 assessed by quantitative double-fluorescence immunohistochemistry predicts the efficacy of gemcitabine in biliary tract carcinoma
*Shimazaki T, Miyamoto H, Ando Y, Noda I, Yonekura Y, Kawano S, Miyazaki M, Mawatari M, Hotokebuchi T	Journal of biomedical materials research. Part A 2010;92,386–389	In vivo antibacterial and silver-releasing properties of novel thermal sprayed silver, containing hydroxyapatite
田中 ふみ, 平田 憲, 沖波 聡	眼科手術 52:1829–1833	水晶体囊真性落屑の走査電子顕微鏡所見.
* KOSUGI, T, MIZUTA, K, FUJITA, T, NAKASHIMAI, M, KUMAMOTO, E	British Journal of Pharmacology. 160: 1662–1676	High concentrations of dexmedetomidine inhibit compound action potentials in frog sciatic nerves without $\alpha 2$ adrenoceptor activation.
MAEDA, Y, TORIKAI, A, AMEMORI, H, MATSUMOTO, K, UEMURA, S, NAKASHIMA, M	循環制御. 31(2)	Sivelestat Relaxes Porcine Coronary Arteries via Inhibition of Ca ²⁺ Sensitization without Affecting Ca ²⁺ -.
Akiyama T, Miyamoto H, Fukuda K, Sano N, Katagiri N, Shobuike T, Kukita A, Yamashita Y, Taniguchi H, Goto M.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 109,669–676	Development of a novel PCR method to comprehensively analyze salivary bacterial flora and its application to patients with odontogenic infections.
Aoyama T, Koga S, Nakatsuka T, Fujita T, Goto M, Kumamoto E	Brain Research 1340,10–17	Excitation of rat spinal ventral horn neurons by purinergic P2X and P2Y receptor activation.
○Piao L-H, Fujita T, Yue H-Y, Mizuta K, Inoue M, Nakatsuka T, Kumamoto E	Pain Research 25,3,145–157	
○Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Aoyama T, Uemura S, Nakatsuka T, Kumamoto E	Pain Research 25,3,159–169	Effect of galanin on excitatory and inhibitory synaptic transmission in substantia gelatinosa neurons of rat spinal cord slices.
*Suzuki K, Inokuchi A, Miyazaki J, Kuratomi Y, Izuhara K.	Ann Oto Rhinol Laryn, 119,1, 22–26	Relationship between squamous cell carcinoma antigen and the clinical severity of allergic rhinitis caused by <i>Dermatophagoides farinae</i> and Japanese cedar pollen.
* Ding Y, Yamada S, Wang KY, Shimajiri S, Guo X, Tanimoto A, Murata Y, Kitajima S, Watanabe T, Izumi H, Kohno K, Sasaguri Y.	Antioxid. Redox Signal. 13: 1477–1490	Overexpression of peroxiredoxin 4 protects against high-dose streptozotocin-induced diabetes by suppressing oxidative stress and cytokines in transgenic mice.

* 範 江林, 小池 智也, 西島 和俊, 北嶋 修司	アニテックス 22: 11-15	医学研究における遺伝子改変ウサギの応用とその展望
北嶋 修司, 西島 和俊	アニテックス 22: 32-37	ウサギ精子・胚の凍結保存とパイオリソース
Nishijima K, Kuwahara S, Ohno T, Kitajima S, Sumi Y, Tanaka S.	Arch. Gerontol. Geriatrics 51: e11-e15	Aging change of mandibular condyle in female F344/N rat.
西島 和俊, 山口 慎二, 森本 正敏, 渡辺 照男, 北嶋 修司	九州実験動物雑誌 19: 35-39	遺伝子改変ウサギの系統維持のための精子凍結保存の有用性に関する検討: 約 5.6 年間凍結保存された遺伝子組換えウサギ由来精子を用いた人工授精成績

総説・解説・特許など		
著者	雑誌名、巻、ページ	タイトル
K.Ohto	Solv.Extr.Res.Dev., Jpn.17 1-18	Review of the Extraction of Metal Cations with Calixarene Derivatives
加藤 拓 ^D ・浪瀬 政宏・北垣 浩志・赤尾 健・下飯 仁	生物工学会誌 89 66	清酒酵母の醸造特性の QTL 解析
荒木 義雄*・呉 洪・北垣 浩志・赤尾 健・高木 博史・下飯 仁	生物工学会誌 89 68	エタノールストレスは <i>Saccharomyces cerevisiae</i> においてカルシウムイオンを介してカルシニューリン/Crz1 経路を活性化する
北垣浩志	日本醸造協会誌 105 560-567	ミトコンドリア輸送阻害剤耐性株取得によるピルビン酸低減清酒酵母の育種
北垣浩志	日本生物工学会誌 88 79	低アルコール清酒醸造のための技術開発
北垣浩志	食生活科学・文化及び環境に関する研究助成研究紀要 23, 33-46	貧栄養環境下で増殖する微生物の遺伝子発現プロファイル
^D A. Tominaga, M. Nagata, K. Futsuki, H. Abe, T. Uchiyumi, M. Abe, K. Kucho, M. Hashiguchi, R. Akashi, A. Hirsch, S. Arima and A. Suzuki	Plant Signaling & Behavior 5 440-443	Effect of abscisic acid on symbiotic nitrogen fixation activity in the root nodules of <i>Lotus japonicus</i> .
T. Shimomura, T. Takamuku	Activity Report on Neutron Scattering Research 17 1056	Mixing State of Benzene Solutions of Imidazolium-based Ionic Liquid, C12mim+TFSA-
T. Takamuku, T. Shimomura	Activity Report, Synchrotron Light Application Center, Saga University 2008-2009 150-152	X-ray and Neutron Scattering Studies on Structure of Ionic Liquids on Micro- and Mesoscopic Scales
Teruyoshi Yanagita	Chinese Nutrition Society; Symposium on "Fatty acids and human health"	Dietary fats for the prevention of metabolic syndrome
安藤嘉基、宮本比呂志、矢田光徳、嶋崎貴文、馬渡正明、佛淵孝夫	整形・災害外科 53 467-475	抗菌性生体材料の開発
花本猛士	化学工業 61 12-16	機能性含フッ素有機化合物を目指した新規ツールの開発
上田敏久・光富 勝・関 清彦・安藤祥司	ケミカルエンジニアリング 55 1-4	芳香族アミノ酸を含む抗カビ活性トリペプチド
真木 一、西峯照和、小林典男	平成 21 年度 東北大学金属材料研究所研究部共同研究報告書	擬一次元 CDW 物質 K0.3MoO3 の低温 STM/STS 観察
中村隆俊 柳田晃良 その他	経産省: 地域 イノベーション創出研究開発事業 報告	ナルトビエイ活用を志向した抗メタボリック症候群ペプチドの開発
北垣浩志	Bioscience & industry 68 126-128	ミトコンドリア輸送に着目したピルビン酸低減酵母育種
北垣浩志	Journal of the Brewing Society of Japan 105 560-567	ミトコンドリア輸送阻害剤耐性株取得によるピルビン酸低減清酒酵母の育種
北垣浩志	日本生物工学会誌 88 79	低アルコール清酒醸造のための技術開発
北垣浩志、古川壮一、渡邊泰祐	Fuji Sankei Business i, 2010.10.20, 5 (2010)	伝統発酵食品～人類の知恵が生んだ食品からバイオの未来を切り拓く
矢田 光徳	セラミックス 46 22-27	希土類化合物一次元ナノ構造体の創製と発光特性
柳田晃良	オレオサイエンス 10 414	異所性脂肪と two-hit hypothesis
柳田晃良・永尾晃治	ニューフードインダストリー 52 13-17	ムキタケ (<i>Panellus serotinus</i>) の抗メタボリックシンドローム作用
永野幸生、松本亮司	知的財産権の出願等(著作権は除く)	開花誘導剤
花本猛士	その他	フルオロアセチレン化合物の特性と反応性

北垣浩志	知的財産権の出願等(著作権は除く)	ピルビン酸低生産酵母の育種方法
北垣浩志、副島久義	知的財産権の出願等(著作権は除く)	チロソール高生産性酵母変異株及び当該酵母変異株を用いた発酵飲料の製造方法
北垣浩志、平田みよ	知的財産権の出願等(著作権は除く)	発泡酒の製造方法
野口 英行	知的財産権の出願等(著作権は除く)	塊状グラフェンオキサイド、塊状グラフェンおよびこれらの製造方法
出原 賢治	臨床免疫・アレルギー科,54,5, 613-618	IL-4とIL-13のレセプターとの結合様式
白石裕士, 出原賢治	呼吸,29,5,479-484	Periostin(ペリオスチン)と肺疾患.
*濱野真二郎 and 吉田裕樹	感染症 2010. 40: 205-211.	寄生虫感染と免疫応答.
原博満	臨床免疫・アレルギー科 2010. 54(3):378-383	CARMA1, BCL10, CARD9とNF- κ Bの活性化
原博満	臨床免疫・アレルギー科 2010. 53(2): 133-139	CARMA1(CARD11)によるNK細胞活性化の制御
Hara H, Ilzasa E, Nakaya M and Yoshida H	J Blood Med 2010. 1: 93-104.	L-CBM signaling in lymphocyte development and function.
*平瀬徹明, 吉田裕樹 and 野出孝一	細胞工学 2010. 29: 788-792.	動脈硬化の病態基盤としての血管炎症.
吉田裕樹	日本臨床 増刊号 関節リウマチ(第2版) -寛解を目指す治療の新時代- 2010. 68: 164-168.	インターロイキン 27.
吉田裕樹	臨床検査 2010. 54: 599-605.	IL-12 サイトカインファミリー.
吉田裕樹	分子リウマチ治療 2010. 3: 100-104.	IL-27.
吉田裕樹	実験医学(増刊) 2010. 28: 1954-1959.	IL-27による免疫制御と炎症抑制.
多田芳史	九州リウマチ 30: 55-59	全身性エリテマトーデスとインターフェロン-IFN α 、IRF-5、Toll-likeレセプターに関する最近の知見-
Matsuhashi S, Okawa T, Narisawa Y	In Dermatology Research Focus on Acne, Melanoma and Psoriasis, Ed. David E. Roth, pp269-279	Role of the tumor suppressor PDCD4 in the differentiation of the skin.
松本浩一, 富田由紀子, 三溝慎次, 大石浩隆, 中島幹夫	化学療法の領域. 26(2): 45-54	ビブリオ・バルニフィカス感染症
出原賢治、白石裕士、鈴木章一、太田昭一郎	日本臨床, 68, 141-144	炎症メディエーター 主なサイトカイン インターロイキン 13
出原 賢治	臨床免疫・アレルギー科,54,5, 613-618	IL-4とIL-13のレセプターとの結合様式
出原賢治, 太田昭一郎, 白石裕士, 鈴木章一.	臨床と研究, 87,2, 221-225	アレルギー疾患の生化学的検査方法

招待講演・特別講演		
演者	講演会名	発表タイトル
○Takehiko Yamato	Special Lecture at Institute of Chemistry, Academia Sinica, 台北、台湾, 2011年1月7日	Synthesis of Novel Ditopic Receptors based on Calix[n]arenes
○Takehiko Yamato	The 3rd Joint Symposium of Saga University and Daegu University, 大邱市(韓国)、2010年1月24日-26日	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Light-Emitting Monomers: Highly Pure Blue Fluorescent Cruciform-Shaped Architectures
○Takehiko Yamato	Special Seminar, Liaoning University, Shenyang(中国) 2010年1月9日-12日	Selective Synthesis of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons and Development of Blue Fluorescent OLED Materials
○大和武彦	大阪有機化学工業株式会社 特別講演会、大阪市、2010年6月11日	ピレンを基体とする新規青色発光有機物質の合成

○大和武彦	産業技術総合研究所材料フォーラム「空間制御光化学」講演会、つくば 2010年2月5日	ピレンを基体とする新規青色発光 有機物質の合成
Arjun Paudel・○Takehiko Yamato	The 5th Taiwan-Japan Bilateral Symposium on Architecture of Functional Organic Molecules 台湾大学、台北、2010年10月17日-20日	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Light-Emitting Monomers: Highly Pure Blue Fluorescent Cruciform-Shaped Architectures
Keisuke Ohto	Keynote lecture in ICIE'05(The 5th International Conference on Ion Exchange) University of Melbourne	Preparation of novel resins containing calix[4]arene tetraacetic acid derivatives with lead(II) selectivity
M. Hashiguchi, J. Abe, T. Aoki, T. Anai, A. Suzuki, R. Akashi	植物微生物研究会研究交流会	Introduction and utilization of Legume Base in Lotus and Glycine bioresources
T. Yanagita	University of Sri Jayewardenepura, Sri Lanka	Functional foods and health benefit: the prevention of metabolic syndrome University of Sri Jayewardenepura, Sri Lanka
Teruyoshi Yanagita	Taiwan-Kyushu Nutraceuticals and Functional Foods symposium	Bioactive lipids and the prevention of metabolic syndrome, Taiwan-Kyushu Nutraceuticals and Functional Foods symposium 2010.10 (Taiwan)
Teruyoshi Yanagita, Koji Nagao	Pacificchem 2010, Hawaii (USA), December 2010.	Functional lipids and the prevention of metabolic syndrome.Pacificchem 2010, Hawaii (USA), December 2010.
永尾晃治	日本生物工学会学際的脂質創生研究部会講演会	油脂の機能性とメタボリックシンドロームの予防・改善
永尾晃治	日本ビタミン学会市民公開講演会	機能性脂質の働きとメタボリックシンドロームの予防・改善
永尾晃治	日本油化学会関西支部講演会	機能性脂質によるメタボリックシンドロームの予防・改善に関する基礎的研究
永尾晃治	佐賀大学学長経費事業成果報告公開シンポジウム	佐賀特産農作物でメタボリックシンドロームを予防する
永尾晃治	日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部市民公開講演会(長崎)	食品成分を用いたメタボリックシンドローム予防・改善への試み
吉賀豊司		昆虫病原性線虫／共生細菌感染に対する宿主の応答
高椋利幸	電気化学会第78回大会、横浜	溶媒特性をつくり出す分子間相互作用のミクロスコピックな観測
高椋利幸	第4回超音波霧化分離シンポジウム、東京	水と水溶性有機溶媒の混合と塩誘起による相分離現象
高椋利幸	第33回溶液化学シンポジウム、京都	X線および中性子散乱によるミクロからメゾスケールにおける溶液構造の研究
高椋利幸	2010年日本化学会西日本大会、熊本	X線・中性子散乱法によるミクロスコピックな溶液構造の解明
大渡 啓介	第18回「分離変換・MAリサイクル」専門委員会	バイオマス系吸着剤によるランタノイドからアメリカシウムの分離
大和武彦	山形大学大学院 理工学研究科講演会、山形、2010年9月21日	縮合多環芳香化合物の選択的合成と 青色発光材料の開発
北垣浩志	2010年度 日本生物工学会シンポジウム(招待講演) 2010.10.27	ミトコンドリア輸送に着目したピルビン酸低減酵母の育種方法
北垣浩志	日本生物工学会 微生物の寄生・共生から探る伝統醸造の深淵研究部会シンポジウム	沖縄から探る伝統的発酵における微生物の寄生・共生(オーガナイザー)2010.12.3
北垣浩志	SAGA イノベーション道場(招待講演)2010.10.22	佐賀の伝統食品の機能性
北垣浩志	バイोजパン2010(招待講演)2010.9.29	ミトコンドリアをターゲットとした酒類発酵酵母の育種の研究
北垣浩志	第3回九州国立大学間合宿(招待講演)2010.9.2	特別講演・発酵におけるアジアとの共生

北垣浩志	佐賀環境フォーラム(招待講演)2010.6.24	バイオエタノールの基本と仕組み
北垣浩志、Lahiru N. Jayakody	産業技術連携推進会議 アクアリシス21 フェーズII研究会(招待講演)2011.3.10	リグノセルロースの水熱処理で生成するグリコールアルデヒドの酵母発酵阻害メカニズム
柳田 晃良	Saga テクノ 2011 初夏 産学官連携技術交流会 さが機能性・健康食品開発拠点「徐福フロンティアラボ」開所記念	(基調講演)機能性食品開発における佐賀の潜在能力 Saga テクノ 2011 初夏 産学官連携技術交流会 さが機能性・健康食品開発拠点「徐福フロンティアラボ」開所記念
柳田晃良	琉球大学熱帯生物圏研究センター講演会	食品成分によるメタボリックシンドローム予防作用, 琉球大学熱帯生物圏研究センター講演会 (2011.1)
柳田晃良	九州経済産業局知財セミナー(tosu)	地域資源を活かした機能性食品の最新動向 九州経済産業局知財セミナー
柳田晃良	「新しい食品加工技術」企画、講演 主催(独)科学技術振興機構 JST イノベーション福岡 2010.12.3.	食品セミナー「新しい食品加工技術」企画、講演 主催(独)科学技術振興機構 JST イノベーション福岡 2010.12.3.
柳田晃良	主催:九州イノベーション創出促進協議会、第2回「機能性天然素材研究会」講演会	食品の機能性成分とメタボリックシンドローム予防、主催:九州イノベーション創出促進協議会、第2回「機能性天然素材研究会」講演会
柳田晃良	食品バイオ講演会 食機能と健康:九州地域からの提案	佐賀県農産物のメタボリックシンドローム予防作用 (食品バイオ講演会 食機能と健康:九州地域からの提案)
鈴木章弘	第5回ダイズ研究会	根粒形成のための避陰反応
鈴木章弘	日本植物病理学会平成22年度植物感染生理談話会	マメ科植物の共生窒素固定能増強のメカニズムとその応用
鈴木章弘	第51回日本植物生理学会年会シンポジウム	ミヤコグサのABA低感受性変異体 enf1 の共生窒素固定能と応用の可能性
鈴木章弘	日本植物病理学会平成22年度植物感染生理談話会	マメ科植物の共生窒素固定能増強のメカニズムとその応用

一般講演		
演者	講演会名	発表タイトル
Lahiru JAYAKODY, Kenta HORIE, Nobuyuki HAYASHI, Hiroshi KITAGAKI (Saga Univ.)	Annual meeting of the Society for Biotechnology, Japan, 2010	2P-1116 Glycolaldehyde inhibits yeast ethanol fermentation
○Ni Xin-long・王 実・大和 武彦	日本化学会第90回春季年会 近畿大学(東大阪市)、2010年3月26日-30日	ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーンを基体とする蛍光性ダイトピックレセプターの合成
○Ni Xin-long・富安 弘嗣・大和 武彦	日本化学会第90回春季年会	Synthesis and Evaluation of a Novel Pyrenyl-Appended Triazole-Based Thiacalix[4]arene as a Fluorescent Sensor
○吉澤明菜・大和武彦	日本化学会第90回春季年会	イミダゾリル基を有する金属イオン認識レセプターの合成と評価
○田中 徹哉・Ni Xin-long・富安 弘嗣・大和 武彦	日本化学会第90回春季年会 近畿大学(東大阪市)、2010年3月26日-30日	チアカリックス[4]アレーンを基体とするアニオンレセプターの合成と評価
○都 貞喜・山下 功介・大和武彦	第47回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010年7月10日	ジチエノチオフェンを基体とする新規拡張p-共役発光体の合成と光物性
○富安 弘嗣・大和 武彦	日本化学会第90回春季年会 近畿大学(東大阪市)、2010年3月26日-30日	2つの異なる金属イオン認識部位をもったチアカリックス[4]アレーン誘導体の合成と評価
○Arjun Paudel and Takehiko Yamato	Joint Seminar between Saga University and Liaoning University, 佐賀大学、2010年3月5日	Synthesis and structural properties of novel polycondensed aromatic compounds with 4-double-helicene structure derived from 4,9-bis(arylethenyl)pyrenes
○Arjun Paudel・大和武彦	第47回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010年7月10日	ダブルヘリセン構造を持つ新規縮合多環芳香族化合物合成および構造特性
○Bigan Sharma・日田 勝弘・大和武彦	第47回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010年7月10日	ポリメチル置換[2.2]シクロファン類の合成・構造及び反応性

○Bigyan Sharma、宮本慎平、大和 武彦	2010年日本化学会西日本大会 熊本大学、2010年11月6日-7日	ポリメチル置換[2.2]シクロファン類の合成・構造及び反応性
○Hirotugu Tomiyasu, Xin-long Ni, and Takehiko Yamato		Allosteric bindings of thiacalix[4]arene-based receptors with 1,3-alternate conformation having two different side arms
○Jung-hee Do and Takehiko Yamato	5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学、2011年11月17日	Synthesis and photophysical properties of novel extended π -conjugated dithienothiophene-based fluorescent materials
○Kazuya Tazoe, Shinpei Miyamoto and Takehiko Yamato	5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学、2011年11月17日	Synthesis and photochemical properties of areno[2.n]metacyclophanes having helical structures
○Shi Wang, Xin-Long Ni and Takehiko Yamato	5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学、2011年11月17日	Synthesis of Fluorescent Ditopic Receptors Based on Hexahomotrioxacalix[3]arenes
○Takashi Kinoshita, Takehiko Yamato	Joint Seminar between Saga University and Liaoning University, 佐賀大学、2010年3月5日	Synthesis, structural properties and metal complexations of novel homotrioxacalix[3]arenes
○Tetsuya Tanaka, Hirotugu Tomiyasu and Takehiko Yamato	5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学、2011年11月17日	Synthesis and evaluation of novel anion recognition receptors based on thiacalix[4]-arene having amidourea moiety
○Xin-Long Ni, Hirotugu Tomiyasu and Takehiko Yamato	Joint Seminar between Saga University and Liaoning University, 佐賀大学、2010年3月5日	Synthesis and evaluation of a novel pyrenyl-appended triazole-based thiacalix[4]arene as fluorescent sensor
○Xin-Long Ni, Shi Wang and Takehiko Yamato	5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学、2011年11月17日	Synthesis of fluorescent hexahomooxacalix[3]arene and evaluation of metal ion complex forming ability
○Yuki Uchikawa, Takehiko Yamato	Pacificchem 2010, Honolulu, Hawaii, USA, 2010年12月15日-20日	Synthesis and structural properties of [2.n]metacyclophan-1-yne with bent triple bond
○ニー シンロン、王 実、大和 武彦	第7回ホスト・ゲスト化学シンポジウム	蛍光性ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーンの合成と金属イオン錯体形成能の評価
○伊 流、Ni Xin long、宮本慎平、大和 武彦	2010年日本化学会西日本大会 熊本大学、2010年11月6日-7日	ピレンを基体とする新規青色発光有機物質の合成と評価
○王 実・倪 新龍・大和 武彦	第47回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010年7月10日	ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーンを基体とする蛍光化学センサーの開発
○田中 徹哉、富安 弘嗣、大和 武彦	2010年日本化学会西日本大会 熊本大学、2010年11月6日-7日	アミドウレア部位を持つチアカリックス[4]アレーン誘導体の合成とアニオン認識
○田添 和也、宮本 慎平、大和 武彦	2010年日本化学会西日本大会 熊本大学、2010年11月6日-7日	らせん構造を有する[2.n]メタシクロファン類の合成及び構造特性
○田添 和也・内川 裕生・大和 武彦	日本化学会第90回春季年会 近畿大学(東大阪市)、2010年3月26日-30日	1,2-ジメチレン[2.n]メタシクロファン類の合成・構造および反応性
○内川 裕生、宮本 慎平、大和 武彦	2010年日本化学会西日本大会 熊本大学、2010年11月6日-7日	架橋鎖に官能基を有する[2.n]メタシクロファン類の合成・反応および構造特性
○内川 裕生・田添 和也・大和 武彦	日本化学会第90回春季年会 近畿大学(東大阪市)、2010年3月26日-30日	架橋鎖に官能基を有する[2.n]メタシクロファン類の合成・反応および構造特性

○内川 裕生・田添 和也・大和武彦	第 40 回複素環化学討論会 仙台市、2010 年 10 月 14 日 -16 日	新規[n]ベンゾフラノファンの合成および構造特性
○飯塚 史憲・Arjun Paudel・大和武彦	第 47 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 10 日	4,5,9,10-テトラアリアルピレン誘導体の選択的合成とスペクトル特性
○富安 弘嗣・倪 新龍・大和武彦	第 47 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 10 日	ウレア部位を持つチアカリックス[4]アレーン誘導体の合成とアニオン認識
○倪 新龍・富安 弘嗣・大和 武彦	第 47 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 10 日	蛍光性チアカリックス[4]アレーンの合成と金属イオン錯体形成能の評価
○權 赫美、宮本 慎平、大和 武彦	2010 年日本化学会西日本大会 熊本大学、2010 年 11 月 6 日 -7 日	ラネー-Ni 合金を用いる芳香族化合物の水中での還元反応
A. Tominaga, K. Futsuki, M. Nagata, H. Abe, T. Uchiumi, K. Kucyo, M. Abe, M. Hashiguchi, R. Akashi, A. Hirsch, S. Arimas, A. Suzuki		Effect of abscisic acid on symbiotic nitrogen fixation activity in the root nodules of Lotus japonicus and its application to leguminous crop
Akihiro Suzuki, Akiyoshi Tominaga, Maki Nagata, Koichi Futsuki, Hidetoshi Abe, Toshiki Uchiumi		Effect of abscisic acid on symbiotic nitrogen fixation activity in the root nodules of Lotus japonicus
Akina Yoshizawa, Xin-Long Ni, ○Takehiko Yamato	5th International Symposium on Macrocyclic and Supramolecular Chemistry, 奈良、2010 年 7 月 5 日-10 日	Synthesis and Evaluation of Novel Metal Ion Receptors Having Imidazolyl Moieties
Ali Reza Golnaraghi, Reza Pourrahim, Shirin Farzadfar, Kazusato Ohshima		Sequence comparison of different Iranian isolates of Tomato yellow fruit ring virus from potato
Arjun Paudel and ○Takehiko Yamato	Pacificchem 2010, Honolulu, Hawaii, USA, 2010 年 12 月 15 日-20 日	Synthesis and Spectral Properties of First Member of New Class of Double Helicene Polycyclic Aromatic Hydrocarbons
Birendra B. Adhikari, K. Ohto*, M. Gurung, H. Kawakita		Solvent extraction and separation of lead with p-tert-butylcalix[5]arene pentacarboxylic acid derivative
Bishnu Prasad Bastakoti, Sudhina Guragain, Airi Yoneda, Yuuichi Yokoyama, Shin-ichi Yusa, Kenichi Nakashima		Synthesis of Hollow Calcite Nanosphere by Templating Polymeric Micelle with Core-Shell-Corona Structure
Bishnu Prasad Bastakoti, Sudhina Guragain, Airi Yoneda, Yuuichi Yokoyama, Shin-ichi Yusa, Kenichi Nakashimaa	The 3rd International Kyushu Colloid Colloquium	Micelles Formation of Poly(ethylene oxide-b-sodium 2-(acrylamido)-2-methyl-1-propane sulphonate-b-styrene) and Its Interaction with Dibucaine
Bishnu Prasad Bastakoti, Sudhina Guragain, Yuuichi Yokoyama, Shin-ichi Yusa, Kenichi Nakashima	240th ACS National Meeting & Exposition, Boston, USA	SYNTHESIS OF CaCO3 AND BaCO3 HOLLOW NANOSPHERES TEMPLATED BY POLYMERIC MICELLES WITH CORE-SHELL-CORONA STRUCTURE
Ei'ichi Iizasa, Masaru Mitsutomi, and Yukio Nagano	The 5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University	Biochemical characterization of Arabidopsis chitin receptor
Etsuko Okumura, Rika Ozawa, Ryusei Tanaka and Toyoshi Yoshiga		Caenorhabditis japonica dauer larvae are able to recognize odors from the host bug
Evaluation of Ion Channel Forming by High Hydrophobic Cyclic Tetrapeptides	BMB2010	菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明
Fumiaki Shito, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Periodination of Aromatic Compounds by Iodine and Potassium Peroxosulfate
Genki Suenaga, Sayaka Muto, and Yukio Nagano		Expression and purification of recombinant Arabidopsis lipopolysaccharide-binding proteins
H. Shinmachi, R. Yamaguchi, D. Sugiyama, S. Osada, I. Fujita, Y. Hamasaki, H. Kodama	The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2010 PacificChem)	Synthesis and biological activities of Cathelicidin peptides LL37 in human neutrophils
Hiroaki Suzuki, Yukio Nagano and Ryoji Matsumoto		The effect of direct injection of FT protein on young trees of Satsuma mandarin
J.Taira, Y. Kida, H. Yamaguchi, K. Kuwano, Y. Higashimoto, H. Kodama	5th International Peptide Symposium/47th Japanese Peptide Symposium	Structural modification of 2-aminoisobutylic acid containing peptides toward an acquiring of antimicrobial activities against pathogenic bacteria

K. Osuki, A. Suzuki, H. Hara, T. Kinoue, K. Yamashita, M. Ishihara, Y. Kobayashi, T. Asami, K. Kucho, T. Uchiumi, S. Higashi, M. Abe		Expression of an abscisic acid-responsive β -1,3-glucanase gene in autoregulation of nodulation
K.Ohto, A.Yoshitake, A.Matsufuji, T.Nakamura,H.Kawakita, H.Harada		Elucidation of Extraction Mechanism of Lead ion with Ether-Acetic Acid Crossed Type of Calix[4]arene Derivatives
K.Saihara, K.Ohto, H.Harada, H.Kawakita	The 23rd International Symposium on Chemical Engineering	Preparation of ion selective electrode by novel broom molecule
Kensuke Hirota, Takeshi Hanamoto	16th European Symposium on Fluorine Chemistry, Ljubljana, Slovenia	Mizoroki-Heck reaction of fluorovinylsilane
Kensuke Otsubo, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Synthesis of Furocoumarin derivatives Using Hydroarylation Reaction
Koji Nagao, Nao Inoue, Kotaro Sakata, Naomi Yamano, Pathma Gunawardena, Toshiro Matsui, Toshihiro Nakamori, Hitoshi Furuta, Kiyoharu Takamatsu, Teruyoshi Yanagita	101st American oil chemist' society annual meeting & expo, Phoenix (USA), May 2010.	Identification of Soy Protein-Derived Hypolipidemic Peptides Using in Vitro and in Vivo Systems.
Kotaro Tatemoto, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Direct Synthesis of Alkenylcoumarins from Phenols and Ethyl Propiolate Catalyzed by a Palladium Catalyst
Lahiru N. Jayakody ^M , Kenta Horie ^M , Nobuyuki Hayashi and Hiroshi Kitagaki		Glycolaldehyde, a key novel inhibitor of bioethanol production: breeding of resistant strains.
M. Hashiguchi, J. Abe, T. Aoki, T. Anai, A. Suzuki, S. Kai, R. Akashi		The National BioResource Project in Lotus japonicus and Glycine max / soja
M. Koikawa, M. Muto, K. Ohdo, Y. Yamada, and T. Tokii	JSCC 60th Conference	Syntheses and Characterization of Trinuclear Macrocyclic Complexes with Polydentate Chelating Ligands with Two Separate Coordination Sites
M. Koikawa, M. Muto, K. Ohdo, Y. Yamada, and T. Tokii	60th Anniversary Conference on Coordination Chemistry in Osaka	Syntheses and Characterization of Trinuclear Macrocyclic Complexes with Polydentate Chelating Ligands with Two Separate Coordination Sites
M.Kawashima, K.Ohto, H.Harada, H.Kawakita	The 23rd International Symposium on Chemical Engineering	Syntheses and aluminum group extraction of calix[4]arene derivative with benzoic acid
Mariko Sakai, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Regio- and Stereo-controlled Synthesis of Arylbutadienes by Palladium Catalysts
Md. Shahajahan Kutubi, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Direct Synthesis of Coumarins from Propiolic Acids and Phenols by Iron(III)-Catalyzed Hydroarylation
Md. Shahajahan Kutubi、北村二雄	第47回化学関連支部合同九州大会	鉄触媒による複素環化合物のヒドロアリール化反応
Mohammad Hasan Morshed, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Synthesis and Desilylation of 2-Trimethylsilylethynyl-2H-benzotriazole by Acetyl Chloride
Mohammad Hasan Morshed、Tsugio Kitamura		Synthesis of Alkynylated 1,2,3-Benzotriazole Derivatives
Nakashima, Kenichi; Liu, Jingjing; Liu, Dian; Manickam, Sasidharan; Yokoyama, Yuuichi; Yusa, Shin-ichi	2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Honolulu, Hawaii, USA	Synthesis of WO ₃ and MoO ₃ hollow nanospheres templated by polymeric micelle with core-shell corona structure
Nguyen, D. H. and Ohshima, K.		Dating the Evolutionary Dynamics of Turnip mosaic virus
Nguyen, D. H. ^D , Tran, T. N. H., Takeshita, H. ^B and Ohshima, K.		Biological and Molecular Characterization of Turnip mosaic virus Isolates in Vietnam
Paudel Arjun・ 大和 武彦	日本化学会第90回春季年会 近畿大学(東大阪市)、2010年3月26日-30日	ダブルヘリセン構造を持つ縮合多環芳香族化合物の合成とスペクトル特性
R. Matsunaga, M. Koikawa, Y. Yamada, and T. Tokii	60th Anniversary Conference on Coordination Chemistry in Osaka	Syntheses and Magnetic Properties of Polynuclear Complexes with ONO Tridentate Ligands

R. Matsunaga, M. Koikawa, Y. Yamada, T. Tokii	JSCC 60th Conference	Syntheses and magnetic properties of polynuclear complexes with ONO tridentate ligands
R. Takabatake, D. Sugiyama, S. Osada, Y. Hamasaki, I. Fujita, H. Kodama	The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2010 PacifiChem)	Synthesis and biological activity of fMLP analogs based on the 1st residue replacement by fluorine containing Met mimic
R. Takabatake, Ryo Yamaguchi, Satoshi Osada, Hiroaki Kodama	5th International Peptide Symposium/47th Japanese Peptide Symposium	The elucidation of the conformational requirements for methionine side-chain interaction with FPR by using fluorinated fMLP analogs
R. Yamaguchi, D. Sugiyama, S. Osada, I. Fujita, Y. Hamasaki, H. Kodama	The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2010 PacifiChem)	Synthesis and biological activities of dimeric formyl peptide antagonists
Ryoko Maeda, Kyoto Ooyama, Ryoko Anno, Masahiro Shiosaki, Takayuki Azema, Takeshi Hanamoto	16th European Symposium on Fluorine Chemistry, Ljubljana, Slovenia	Preparation and Reactions of (β -trifluoromethyl)vinylsulfonium salt
Ryusei Tanaka, Etsuko Okumura and Toyoshi Yoshiga		Short survival of dauer stage in <i>Caenorhabditis japonica</i>
S. Osada, S. Sano, K. Sakaguchi, H. Kodama	The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2010 PacifiChem)	Hybrid inhibitors consisting of both thiol-based FTase and HDAC inhibitors
S. Shinozaki, A. Komatsu, T. Nagasaki, M. Koikawa, T. Tokii, and Y. Yamada	60th Anniversary Conference on Coordination Chemistry in Osaka	Stereospecific Assemblies between Pseudo-Enantiomeric Sulfur-Bridged Dinuclear Complexes with 1,10-Phenanthrolines
Sasidharan Manickam, Jingjing Liu, Dian Liu, Kenichi Nakashima, Yuuichi Yokoyama, Shin-ichi Yusa	The 3rd International Kyushu Colloid Colloquium	Novel Hollow WO ₃ and MoO ₃ Nanospheres
Satoshi Kuriki, Yuji Hori, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	A Convenient Fluorination of 1,3-Dicarbonyl Compounds by Hydrofluoric Acid in the Presence of Iodosylbenzene
Sawako Matsuzaki, Sayaka Muto and Yukio Nagano	The 5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University	Functional analysis of Arabidopsis lipopolysaccharide-binding proteins in innate immunity
Shirin Farzadfar, Ali Reza Golnaraghi, Reza Pourrahim, Ryosuke Yasaka ¹ , Savas Korkmaz, Nikos Katis, Hideki Takahashi, and Kazusato Ohshima ³		The Genetic Structures of Populations of Cauliflower mosaic virus in Greece, Iran, Turkey and Japan
Shirin Farzadfar, Reza Pourrahim, Gholam Hossein Mosahebi, Ali Reza Golnaraghi, Kazusato Ohshima		Biological and molecular characterization of nine Cauliflower mosaic virus isolates from cruciferous plants in Iran
Soichi Kobayashi, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Direct Coupling Reaction of Styrene with Acrylates in the Presence of Palladium Catalyst
Sudhina Guragain, Bishnu P. Bastakoti, Kenichi Nakashima		Calcium and phosphate ion induced schizophrenic micellization of poly(ethylene oxide- <i>b</i> -methacrylic acid) in aqueous solution
Sudhina Guragain, Bishnu Prasad Bastakoti, Kenichi Nakashima	The 3rd International Kyushu Colloid Colloquium	Micelle formation of poly(ethylene oxide- <i>b</i> -methacrylic acid) in aqueous solutions and its core-corona inversion by external stimuli
T. Nagasaki, Y. Miyoshi, M. Koikawa, T. Tokii, and Y. Yamada	60th Anniversary Conference on Coordination Chemistry in Osaka	Stereospecific Assemblies between Pseudo-Enantiomeric Sulfur-Bridged Dinuclear Complexes with 2,2'-Bipyridines
T. Shigeyama, M. Sasaki, L. Suriyagoda, A. Tominaga, Y. Hiratsuka, T. Uchiumi, M. Abe, M. Hashiguchi, R. Akashi, T. Sakai, S. Inada, Y. Jikumaru, Y. Kamiya, S. Sato, T. Kaneko, S. Tabata, S. Agarie, S. Arima, A. Suzuki		Root nodule formation controlled by light quality in <i>Lotus japonicus</i>
T. Suga, S. Osada, H. Kodama	The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2010 PacifiChem)	Regulation of ion channel forming based on cyclic peptides

T. Takamuku, T. Shimomura, K. Fujii	Pacificchem 2010, Honolulu U.S.A., December 15-20, (2010).	Microphase Separation of Ionic Liquids Relaxed by Methanol
T. Takamuku, T. Shimomura, K. Fujii	EMLG/JMLG Annual Meeting 2010, Lviv, Ukraine, Sep. 5-9 (2010)	Effect of Methanol on Microphase Separation of Ionic Liquids
T.Yoneyama, K.Ohto, H.Harada, H.Kawakita	The 23rd International Symposium on Chemical Engineering	Precious metal extraction property of calix[4]arene derivative
Takayuki Izumi, Hiroki Tokuhara, Yuji Hori, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Study on a New Catalyst for Asymmetric Cyclopropanation
Teruyoshi Yanagita, Koji Nagao	Pacificchem 2010	Functional lipids and the prevention of metabolic syndrome.
Torao Suga, Satoshi Osada, Hiroaki Kodama	5th International Peptide Symposium/47th Japanese Peptide Symposium	Contribution of hydrophobic side-chain in cyclic tetrapeptide forming ion channel
Xin-Long Ni, Hirotsugu Tomiyasu and ○ Takehiko Yamato	The 3rd Joint Symposium of Saga University and Daegu University、大邱市(韓国)、2010年1月24日-26日	Synthesis and Evaluation of a Novel Pyrenyl-Appended Triazole-Based Thiacalix[4]arene as a Fluorescent Sensor
Y. Kuriyama, T. Suga, S. Osada, H. Kodama	The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2010 PacifiChem)	Synthesis and biological activity of short chain peptaibol cervinin A
Yu Yang, Tokuma Nakamichi, Soichiro Omi, Ryo Goto, Masayuki Yahiro, Masanao Era, Hirofumi Watanabe, Oki Yuji	Proceedings of SPIE	Wavelength resolution improvement on organic photodiodes made by ink-jet technique.
Yui Tazawa, Yuji Hori, Tsugio Kitamura	The 5th Saga University-Daegu University Joint Seminar	Chlorination of 1,3-Dicarbonyl Compounds Using Hydrochloric Acid and Iodosylbenzene
西山 舞 ^M ・藤井幸子 ^B ・大島一里	九州病害虫研究会	チェコ共和国東部の罹病カリフラワーから採集したカブモザイクウイルス分離株のゲノム構造
ビレンドラ・バブ・アディカリ、グルン・マンジュ、川喜田英孝、原田浩幸、大渡啓介	第28回九州分析化学若手の会夏季セミナー	Allosteric effect of the first lead ion on stepwise extraction of the second lead ion with p-tert-butylcalix[5]arenepentacarboxylic acid
阿南裕也、菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明	2010年日本化学会西日本大会	環状ペプチドのイオンチャネル形成と側鎖構造依存性
伊藤 直樹、木田 徹也、渡辺 英一郎、津谷大樹、手塚泰久、石渡 洋一	応用物理学会2010年秋季講演会	Fe ₃ -deltaO ₄ ナノ粒子のポストアニール効果
井上大誠、田邊浩嵩、中村博吉、野口英行	第47回化学関連支部九州合同大会	Li ₂ MnO ₃ ベース正極材料の電気化学特性
井上侑子、鯉川雅之、鳥飼紀雄、渡孝則、矢田光徳	公益社団法人日本セラミックス協会 2011年年会	コバルト化合物ナノワイヤーの磁氣的性質
右田浩平・田中龍聖・吉賀豊司		乾燥耐性を有する <i>Caenorhabditis</i> sp.CJK の同定
永尾晃治、稲福征志、野村沙織、城内文吾、井上奈穂、柳田晃良		「ムキタケ分画物摂取が肥満・糖尿病モデル動物の病態発症に及ぼす影響」
永尾晃治、稲福征志、野村沙織、城内文吾、井上奈穂、柳田晃良	第64回日本栄養・食料学会大会、徳島、平成22年5月	「ムキタケ分画物摂取が肥満・糖尿病モデル動物の病態発症に及ぼす影響」
永野幸生、武藤さやか	第34回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	シロイヌナズナ LPS 結合タンパク質の立体構造の推定
奥村悦子・小澤理香・田中龍聖・吉賀豊司		昆虫由来の誘引物質に対する <i>Caenorhabditis japonica</i> 耐久型幼虫の反応の違い
奥村悦子・小澤理香・田中龍聖・吉賀豊司		ベニツチカメムシのにおい成分分析と <i>Caenorhabditis japonica</i> 耐久型幼虫の誘引反応
下村拓也、高椋利幸、山口敏男	東京大学物性研究所短期研究会 小角・反射率・高分解能装置研究会、東大柏キャンパス	SANS 法によるイオン液体と分子性液体との混合状態に関する研究
下村拓也、高椋利幸、山口敏男	日本中性子科学会第10回年会、仙台	SANS 法によるイオン液体と分子性液体との混合状態に関する研究

下村拓也, 高椋利幸, 山口敏男	第 33 回溶液化学シンポジウム, 京都	イミダゾリウム系イオン液体 C12mimTfSA と分子性液体との混合状態
下村拓也, 高椋利幸, 山口敏男	第 47 回化学関連支部合同九州大会, 北九州	イミダゾリウム系イオン液体 C12mimTfSA とベンゼンとの混合状態
下田 政彦・森山 健司・成田 貴行・江良 正直・大石 祐司	日本化学会第 89 春季年会	気-水界面で調製された鉛系ペロブスカイト薄膜のハロゲン配位
花本猛士	九州工業大学にて講演 (2010, 12, 13)	フルオロオレフィンとフルオロアセチレンの化学
花本猛士	産学連携に関する実践セミナー(佐賀大学開催)	機能性含フッ素化合物を目指した新規ツールの開発
開 静香, 栗山友希, 菅 虎雄, 長田聰史, 兒玉浩明	2010 年日本化学会西日本大会	チャネル形成ペプチド CervininA の構造活性相関
関 清彦, 百島 亜紀, 副島 菜都美, 上田 敏久, 光富 勝	第 62 回日本生物工学会大会 (宮崎)	アマランサス由来抗真菌ペプチド Ac-AMP2 のアミノ酸置換による活性増強
関 清彦・百島亜紀・梶山桂子・上田敏久・光富 勝	第 24 回キチン・キトサンシンポジウム	抗真菌ペプチド Ac-AMP2 のアミノ酸置換による抗真菌活性の増強
丸山洋史 ^M , 朴金載, 芳尾真幸, 中村博吉	第 47 回化学関連支部合同九州大会 2010 年 7 月	黒鉛/Ti 酸化物ハイブリッドキャパシタの電気化学特性
岩永弦樹, 尾窪佳奈, 磯野健一, 中村博吉, 野口英行	第 47 回化学関連支部九州合同大会	酸素欠損型 LiMn2O4 のリチウム電池特性
岩間久美, 都築毅, 井上奈穂, 林雅弘, 永尾晃治, 柳田晃良, 池田郁男		「ラットのコレステロール代謝に及ぼすホスファチジルセリンの影響」
岩間久美, 都築毅, 井上奈穂, 林雅弘, 永尾晃治, 柳田晃良, 池田郁男	第 64 回日本栄養・食料学会大会, 徳島, 平成 22 年 5 月	「ラットのコレステロール代謝に及ぼすホスファチジルセリンの影響」
吉田 龍, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井 直	2010 年日本化学会西日本大会, 熊本	ビリジルメチルアミン誘導体を配位子とするオキソバナジウム(IV)錯体の構造と性質
宮崎 啓, 田中 理弘, 中村 博吉, 野口 英行	2010 年 日本化学会西日本大会	Lepidocrocite 型化合物からの TiO2-B の合成 -プロトン交換条件の検討-
宮崎 啓, 田中 理弘, 野口 英行	第 47 回化学関連支部九州合同大会	Lepidocrocite 型 K-Li-Ti-O 化合物からの TiO2-B 合成条件の最適化
栗山友希, 菅虎雄, 長田聰史, 兒玉浩明	第 47 回化学関連支部合同九州大会	イオンチャネル形成ペプチド cervinin 類の生理活性
栗木智史, 北村二雄		1,3-ジカルボニル化合物の簡便フッ素化反応
畦間貴之, 前田諒子, 花本猛士	第 34 回フッ素化学討論会, 札幌	(α -トリフルオロメチル)ビニルホスホネートの合成と反応
畦間貴之, 前田諒子, 花本猛士	第 47 回化学関連支部合同九州大会	含フッ素ビニルスルホニウム塩の合成と反応
穴井豊昭, 北原阿子	育種学研究	ダイズの矮性突然変異遺伝子についての解析
元村 沙織 ^M , 北垣 浩志	日本生物工学会大会講演要旨集 平成 22 年度, 44, 2010-09-25	2P-1141 清酒酵母ミトコンドリアの呼吸・発酵転換時の形態変化とその意義の解析(4a 醸造学, 醸造工学, 一般講演, 醸造・食品工学, 伝統の技と先端科学技術の融合)
元村沙織 ^M , 平田みよ ^B , 佐々木真 ^M , 堀江健太 ^M , 大場孝宏, 柘植圭介, 吉村臣史, 小金丸和義, 北垣浩志	日本生物工学会九州支部大会	A-20 ミトコンドリア輸送阻害剤耐性清酒酵母を使って実地醸造した低アルコール清酒の香味解析
元村沙織 ^M , 北垣浩志	日本醸造学会若手会	拡大培養時の酵母ミトコンドリアの形態の解析とその代謝への意義の解析
原楨宏樹, 下村拓也, 高椋利幸	第 33 回溶液化学シンポジウム, 京都	冷却による塩化アルカリ塩-アセトニトリル-水混合溶液の相分離
原楨宏樹, 下村拓也, 高椋利幸	第 47 回化学関連支部合同九州大会, 北九州,	冷却による NaX-アセトニトリル-水溶液(X=Br, Cl)の相分離
古賀 健児, 野口 英行, 中村 博吉	2010 年 日本化学会西日本大会	LiFePO4/グラフェン複合材料の電気化学特性
古賀一生・吉賀豊司		浸漬条件がサツマイモネコブセンチュウの根への侵入に与える影響
古賀一生・橋口円海・吉賀豊司		ネコブセンチュウの根内侵入におけるエンドグルカナーゼの重要性
広瀧謙亮, 花本猛士	万有シンポジウム 2010	(α -Fluorovinyl)silane の Mizoroki-Heck 反応
広瀧謙亮, 前田諒子, 花本猛士	第 34 回フッ素化学討論会, 札幌	2-トリフルオロメチル-N-トシルアジリジンとアルデヒドの反応
江田裕樹, 下村拓也, 高椋利幸	2010 年日本化学会西日本大会, 熊本	HFIP-水混合溶液に対する電解質の効果
江田裕樹, 下村拓也, 高椋利幸	第 47 回化学関連支部合同九州大会, 北九州	塩誘起による HFIP-水混合溶液の相分離挙動

江田裕樹, 原楨宏樹, 下村拓也, 高椋利幸	J-PARC/MLF 利用者懇談会 液体・非晶質材料分科会ユ ーザーズグループミーティ ング, つくば	塩誘起による水溶性有機溶媒-水混合溶液の相分離挙 動
甲斐俊一、城内文吾、永尾晃、柳田晃良	第 64 回日本栄養・食糧学会 九州・沖縄支部大会、宮崎、 平成 22 年 9 月 (優秀発表賞 受賞)	大豆由来リン脂質含有食が肥満モデルラットの病態発症 に及ぼす影響
甲斐俊一、城内文吾、永尾晃治、柳田晃良	第 64 回日本栄養・食糧学会 九州・沖縄支部大会	大豆由来リン脂質含有食が肥満モデルラットの病態発症 に及ぼす影響
行實亮太, 鯉川雅之, 山田泰教, 時井直	第 60 回錯体化学討論会, 大 阪	非対称キレート配位子による二価遷移金属錯体の合成お よび触媒活性
行實亮太, 鯉川雅之, 山田泰教, 時井直	第 60 回錯体化学討論会	非対称キレート配位子による二価遷移金属錯体の合成お よび触媒活性
高島亮, 杉山大輔, 長田聰史, 浜崎雄平, 藤 田一郎, 兒玉浩明	第 47 回化学関連支部合同九 州大会	フッ素導入した好中球活性ペプチド fMLP のアナログ合成 と生理活性
高島亮, 杉山大輔, 長田聰史, 浜崎雄平, 藤 田一郎, 兒玉浩明	日本ケミカルバイオロジー学 会第 5 回年会	含フッ素メチオニンミミックの合成と fMLP アナログの生理 活性
高椋利幸, 原楨宏樹, 下村拓也	日本中性子科学会第 10 回年 会, 仙台	冷却が誘起する塩化アルカリ-アセトニトリル-水混合溶 液の相分離
高柳 潤, LIU Dian, 中島 謙一	化学関連支部合同九州大会	コア-シェル-コロナ型高分子ミセルを鋳型とする中空シリ カナノ粒子の合成と構造制御
佐々木 真 ^M , 堀江 健太 ^M , 柘植 圭介, 吉村 臣史, 小金丸 和義, 大場 孝宏, 北垣 浩志	日本生物工学会大会講演要 旨集 平成 22 年度, 44, 2010-09-25	2P-1144 吟醸酵母からのピルビン酸ミトコンドリア輸送阻 害剤耐性株の分離(4a 醸造学・醸造工学, 一般講演・醸造・ 食品工学, 伝統の技と先端科学技術の融合)
佐々木真 ^M 、平田みよ ^B 、元村沙織 ^M 、堀 江健太 ^M 、○北垣浩志	日本農芸化学会西日本支部 会大会	C22 ミトコンドリア輸送に着目し育種した低ピルビン酸酵 母の改変と清酒醸造特性
才原 孝一・大渡 啓介・川喜田 英孝・原田 浩幸	第 28 回九州分析化学若手の 会夏季セミナー	ビリジル型ホウキ分子を電極素子とする銀イオン選択性 電極の開発
坂本翔貴、小島昌一、龍 有二	空気調和・衛生工学会九州 支部研究報	建物地下ピットの効果的な熱利用に関する研究 その 2 地盤の 3 次元熱伝導計算によるシミュレーション結果
山隈 龍馬、大渡啓介、川喜田英孝		新規ビリジル系ホウキ分子を用いた貴金属(Ag, Pt, Pd)の 選択的抽出
山隈 龍馬・大渡 啓介・川喜田 英孝	第 28 回九州分析化学若手の 会 夏季セミナー	ビリジル型ホウキ分子を用いた貴金属の抽出・分離
山隈龍馬、大渡啓介、川喜田英孝	第 29 回溶媒抽出討論会	新規ビリジル系ホウキ分子を用いた貴金属の選択的抽出
山口 遼, 杉山大輔, 宮崎真佐也, 新町洋 文, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩 明	2010 年日本化学会西日本大 会	ヒトホルミルペプチド受容体上のペプチド結合部位の検索
山口遼, 新町洋文, 長田聡史, 藤田一郎, 浜 崎雄平, 兒玉浩明	第 47 回化学関連支部合同九 州大会	ヒト白血病細胞 HL-60 のホルミルペプチド受容体サブタイ プの検索
山崎和幸, 鯉川雅之, 山田泰教, 時井直	第 60 回錯体化学討論会, 大 阪	異なる O 配位原子を有する N2O2 三脚型四座配位子を用 いた Fe(III), Cu(II)錯体の合成とオキシゲナーゼ活性
山本哲也、小島昌一	日本建築学会大会学術講演 会梗概集	熱環境解析と体感評価による屋外空間の熱的快適性の 検討
紫藤史亨、北村二雄		芳香族ポリヨウ素化合物の簡便合成とその反応
持田泰雅・橋川慎吾・成富毅誌・中馬いつ み・吉田健太郎・寺内良平・土佐幸雄・藤田 佳克・草場基章		イネいもち病菌 84R-62B と Y93-245c-2 の子孫菌株で観 察された Pex31 ホモログの転座
持田泰雅・馬場崎翔一・中馬いつみ・吉田健 太郎・寺内良平・土佐幸雄・藤田佳克・草場 基章		日本産イネいもち病菌における Pex31 ホモログコード遺伝 子が座乗する余剰染色体の特徴付け
重山珠紀, 佐々木雅代, Lalith Suriyagoda, 富永晃好, 平塚芳美, 内海俊樹, 阿部美紀 子, 橋口正嗣, 明石良, 酒井達也, 稲田さや か, 軸丸祐介, 神谷勇治, 佐藤修正, 金子貴 一, 田畑哲之, 東江栄, 有馬進, 鈴木章弘	日本育種学会第 5 回九州育 種談話会	光の質にตอบสนองしてマメ科植物の根粒形成を制御する物質 の同定
小山 将隆、円能寺 翔太、野口 英行	第 47 回化学関連支部九州合 同大会	Li-Co-Mn-Ti-O 系正極材料の組成とその電気化学特性
小西 剛, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	2010 年日本化学会西日本大 会, 熊本	μ -アセト-ビス(μ -クロロ)架橋二核ニッケル(II)錯体の 合成と性質
小川哲治 ^D ・Nguyen, H. D. ^D ・佐山 充・大島 一里	日本植物病理学会	ジャガイモ Y ウイルス塊茎えそ系統分離株から低温処理 により得られたタバコ弱毒株の性状

小川哲治 [^] D・富高保弘 [^] D・Huy, D.N. [^] D・佐山充・大島一里*	日本植物病理学会	ジャガイモ Y ウイルス塊茎えそ系統分離株から亜硝酸処理により得られたタバコ弱毒株の分子性状
小島昌一	日本建築学会大会学術講演会梗概集	佐賀市街地および周辺地域の気温分布に関する実態調査
小林壮一、北村二雄		パラジウム触媒を用いるポリスチレンへの官能基導入法の開発
松崎佐和子、武藤さやか、永野幸生	日本農芸化学会西日本支部大会	シロイヌナズナ LPS 結合タンパク質 (AtLBp) の自然免疫における機能解析
松尾創太、関 清彦、黒木裕美、上田敏久、光富 勝	第 284 回日本農芸化学会西日本支部大会(熊本)	キノア種子由来ヘベイン様抗真菌ペプチドの精製と性質
新町洋文, 山口 遼, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	2010 年日本化学会西日本大会	ヒト Cathelicidin ペプチド LL37 アナログの合成と生物活性
新町洋文, 山口遼, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第 47 回化学関連支部合同九州大会	ヒト好中球遊走活性ペプチド LL37 の活性発現構造の検索
森永 耕輔 鯉川 雅之 山田 泰教 時井 直	2010 年日本化学会西日本大会	アルコール基を含む多座陰イオン性配位子を用いた高原子価 Mn 錯体の合成と電気化学的挙動
森永耕輔, 鯉川雅之, 山田泰教, 時井 直	2010 年日本化学会西日本大会, 熊本	アルコール基を含む多座陰イオン性配位子を用いた高原子価 Mn 錯体の合成と電気化学的挙動
深川 裕史 [^] M・Shirin Farzadfar [^] ・大島 一里	日本植物病理学会感染生理談話会	イラン・イスラム共和国におけるカブモザイクウイルスのゲノム型グループ
深川 裕史 [^] M・副島 健太 [^] B・明石 真幸 [^] M・池末 睦 [^] M・Shirin Farzadfar [^] ・Savas Korkmaz [^] ・大島 一里	日本植物病理学会	中東におけるカブモザイクウイルスの系統地理学的研究
真木 一、秀南正史、戸畑仁志、西寄照和、小林典男、岡安悟	日本物理学会 2010 年秋季大会	低周波誘電率と STM でみる K0.3MoO3 の CDW 状態における電子線照射効果および不純物置換効果
菅 虎雄, 長田聰史, 兒玉浩明	第 33 回日本分子生物学会年会, 第 83 回日本生化学会大会 合同大会(BMB2010)	疎水性の高い環状テトラペプチドによるイオンチャネル形成の評価
菅 虎雄, 長田聰史, 兒玉浩明	第 47 回化学関連支部合同九州大会	脂質膜の電荷分布に依存しない環状テトラペプチドによるイオンチャネル形成
菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明	平成22年度日本生化学会九州支部例会	環状ペプチド性イオンチャネルのアミノ酸残基置換による電荷組み換え活性制御
成富毅誌・馬場崎翔一・持田泰雅・今井誉子・中馬いづみ・吉田健太郎・寺内良平・土佐幸雄・藤田佳克・草場基章		日本産イネいもち病菌のゲノムに分布する Pex31 ホモログの数
星野友紀、川下宣久、高木胖、穴井豊昭	育種学研究	X 線照射によって誘発されたダイズ脂肪酸突然変異体における DNA 変異形態の特徴
西山 舞・竹下 稔*・副島健太・大島一里	日本植物病理学会	我が国のカブモザイクウイルスが感染した罹病アブラナ科植物から採集したキュウリモザイクウイルス
西山 舞 [^] M・竹下 稔 [^] ・長野佑美 [^] B・大島一里	日本植物病理学会感染生理談話会	日本におけるカブモザイクウイルスとキュウリモザイクウイルスの混合感染
西美友紀、木下剛仁、穴井豊昭、中島寿亀	育種学研究	TILLING 法を用いたダイズ品種「フクユタカ」からの FT3 変異体の単離
石渡洋一、末廣智、萩原雅人、鄭旭光、河江達也、森本理、手塚泰久	日本物理学会 2010 年秋季大会	VO2 ナノ粒子の構造、電子状態と磁性
赤尾千穂, 平河雄喜, 山口遼, 新町洋文, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第 47 回化学関連支部合同九州大会	ホルミルペプチド受容体サブタイプ選択的ペプチドの二量化と生物活性
赤尾千穂・平河雄喜・山口遼・新町洋文・杉山大輔・長田聰史・藤田一郎・浜崎雄平・兒玉浩明	第 47 回化学関連支部合同九州大会	ホルミルペプチド受容体サブタイプ選択的ペプチドの二量化と生物活性
雪竹央乃、竹村優治、森義志、真木 一	第 116 回日本物理学会九州支部例会	熱電能測定とヨードメトリー法による混合原子価 Co 酸化物の電荷キャリア数の評価
川上竜巳, 小山正樹, 櫻庭春彦, 大島敏久	日本農芸化学会西日本支部大会	巨大グルタミン酸脱水素酵素の L-アスパラギン酸による活性化
川上竜巳, 櫻庭春彦, 大島敏久	第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会	超好熱アーキア Pyrococcus horikoshii の $\alpha 4 \beta 4$ 型色素依存性 L-プロリン脱水素酵素複合体のシステイン残基の役割
川島 真・大渡 啓介・川喜田 英孝	第 28 回九州分析化学若手の会 夏季セミナー	カリックス[4]アレーン酢酸-安息香酸誘導体によるアルミ族金属の抽出
川島真・大渡啓介・川喜田英孝	2010 年 日本化学会西日本大会	酢酸-安息香酸交差型カリックス[4]アレーンによるアルミ族金属の抽出
泉 隆行、橋本拓也、北村二雄		鉄触媒を用いるアルキンのヒドロアリール化反応

銭花 春菜,Liu Dian,中島 謙一	化学関連支部合同九州大会	高分子ミセルを鋳型とする多孔性中空シリカナノ粒子の合成
村岡 和人, 鯉川 雅之, 山田 泰教, 時井直	2010年日本化学会西日本大会	三座 ONO 型配位子による新規 Mn 多核錯体の合成と磁気的性質
大坪健佑, 北村二雄	第47回化学関連支部合同九州大会	ヒドロアリアル化反応を用いるフロクマリン誘導体の合成
大渡 啓介・定松 浩俊・川喜田 英孝	第29回溶媒抽出討論会	プロピル-酢酸交差型カリックス[4]アレーンによるアルカリ金属抽出機構の解明
大渡啓介, 花村知宏, 川喜田英孝	第26回希土類討論会	大環状型抽出剤による希土類の抽出選択性に変化をもたらすナトリウム添加効果
大渡啓介, Adhikari Birendra Babu, 川喜田英孝	化学工学会秋季大会	カリックスアレーンカルボン酸誘導体によるインジウム抽出およびイオン交換
大渡啓介, 吉永 拓央, 川喜田英孝	日本分析化学会第59年会	チオエーテル型三脚状分子による銀イオンの抽出
大渡啓介, 山隈龍馬, 川喜田英孝	化学工学会秋季大会	ピリジル型ホウキ分子による貴金属の抽出
竹村優治, 森義志, 町田晃一, 真木 一	日本物理学会 2010年秋季大会	混合原子価をもつ層状コバルト酸化物の低周波誘電率測定
竹村優治 [^] M, 町田晃一 [^] M, 真木 一	第116回日本物理学会九州支部例会	ミスフィットコバルト酸化物[Bi ₂ M ₂ O ₄] _q CoO ₂ (M=Ca, Sr)の異常な誘電性
中道徳馬, 楊雨, 大海聡一郎, 渡邊博文, 八尋正幸, 江良正直, 興 雄司	第57回応用物理関連連合講演会	インクジェット法によるシアニン色素ドーブ導電性高分子薄膜のパターニング III
長崎俊弘, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	2010年日本化学会西日本大会, 熊本	単一の架橋性硫黄原子を含む光学活性コバルト(III)錯体の合成と性質
定松 浩俊・大渡 啓介・川喜田 英孝・原田浩幸	第28回九州分析化学若手の会 夏季セミナー	プロピル-酢酸交差型カリックス[4]アレーンによるアルカリ金属の抽出挙動の解明
定松 浩俊・大渡 啓介・米山 智暁・川喜田英孝・原田 浩幸	日本分析化学会第59年会	プロピル-酢酸交差型カリックス[4]アレーンによるアルカリ金属抽出機構の解明
田口 慎吾, 原 一樹, 野口 英行	電気化学会第78回大会	種々の黒鉛から合成した中和グラフェンオキシライドのEDLC特性
田中 理弘, 宮崎 啓, 中村 博吉, 野口 英行	第51回 電池討論会	遷移金属含有 Lepidocrocite 型前駆体から合成した酸化チタンのリチウム電池負極特性
田中 理弘, 野口 英行	第47回化学関連支部九州合同大会	遷移金属ドーブ層状チタン酸の電気化学特性
田中温子, 岩崎純也, 竹下佳, 関 清彦, 光富 勝	第17回日本生物工学会九州支部沖縄大会(琉球大学)	抗真菌ペプチド Ac-AMP の大腸菌による分泌発現系を用いた生産
田中龍聖・奥村悦子・早田文・吉賀豊司		ベニツチカメムシ随伴種の線虫 Caenorhabditis japonica 耐久型幼虫の体表面構造
田邊 浩嵩, 井上 大誠, 野口 英行, 中村博吉	2010年 日本化学会西日本大会	異種金属ドーブ xLiMnO ₃ -(1-x)LiMO ₂ 高容量正極材料の電気化学特性
渡孝則, 辻知弘, 鳥飼紀雄, 矢田光徳	公益社団法人日本セラミックス協会 2011年年会	Ca ₂ MgSi ₂ O ₇ 緑色発光体の合成と特性
土井口学 [^] M, 丸山洋史 [^] M, 芳尾真幸, 中村博吉	第47回化学関連支部合同九州大会 2010年7月	黒鉛/活性炭キャパシタ特性に及ぼす電解液の影響
徳永直哉, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	2010年日本化学会西日本大会, 熊本	安息香酸銅(II)二核錯体の磁性におよぼす架橋カルボキシラトのねじれ角と水素結合の効果
徳永直也, 堀江健太, 柘植圭介, 吉村臣史, 小金丸和義, 北垣浩志	日本農芸化学会	ミトコンドリア輸送阻害剤耐性清酒酵母で醸造した清酒のアミノ酸組成の解析
内村恵梨子, 山口 遼, 新町洋文, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	2010年日本化学会西日本大会	ヒト好中球受容体 FPR2 選択的ペプチドの二量体の合成と生物活性
内藤大貴・諸石雅彦・中馬いつみ**・吉田健太郎・寺内良平・土佐幸雄・藤田佳克・草場基章	日本植物病理学会	SSR マーカーおよび分泌タンパク質コード遺伝子を用いたイネいもち病菌連鎖地図の改良
波戸本洋平, 戸根川順子, 高椋利幸	第47回化学関連支部合同九州大会, 北九州	アルコール-水混合溶液中におけるロイシンの溶媒と構造
白石達也, 末廣智, 木田徹也, 石井啓文, 手塚泰久, 渡辺英一郎, 津谷大樹, 河江達也, 石渡洋一	平成22年度応用物理学会九州支部学術講演会	Crドーブした V ₂ O ₃ ナノ粒子における金属絶縁体転移
飯笹英一, 光富勝, 永野幸生	平成22年度日本生化学会九州支部例会	キチン受容体の特徴づけ
飯田 泰士, 宮崎 啓, 野口 英行	日本セラミックス協会 2011年年会	Lepidocrocite 型チタン酸化物からの TiO ₂ -B の生成

富永晃好, 夫津木耕一, 永田真紀, 阿部秀俊, 内海俊樹, 九町健一, 阿部美紀子, 橋口正嗣, 明石良, 佐藤修正, 金子貴一, 田畑哲之, 櫻井望, 鈴木秀幸, Ann M. Hirsch, 有馬進, 鈴木章弘		Effect of abscisic acid on symbiotic nitrogen fixation activity in the root nodules of <i>Lotus japonicus</i> and its application to leguminous crop
武藤さやか, 松崎佐和子, 永野幸生	第 52 回日本植物生理学会年会	シロイヌナズナのLPS 結合タンパク質 (AtLBP) はLPS シグナルを負に制御している
武藤さやか, 松崎佐和子, 永野幸生	第 23 回植物脂質シンポジウム	シロイヌナズナ LPS 結合タンパク質 (AtLBP) はフラジェリンが誘導する自然免疫に関わる
武藤さやか, 松崎佐和子, 永野幸生	第 34 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	シロイヌナズナ LPS 結合タンパク質 (AtLBP) の LPS 結合解析と自然免疫における機能解析
副島 久義, 柘植 圭介, 吉村 臣史, 小金丸和義, 北垣 浩志	日本農芸化学会	エタノール耐性と栄養要求性を組み合わせたチロソール高生産清酒酵母の育種
平田 みよ, 元村 沙織, 北垣 浩志	日本生物工学会大会講演要旨集 平成 22 年度, 47, 2010-09-25	2P-1153 抗酸化性の高い小豆発泡酒の開発(4a 醸造学, 醸造工学, 一般講演, 醸造・食品工学, 伝統の技と先端科学技術の融合)
平田みよ, 北谷和之, 岡崎俊朗, L. M. Obeid, Y. A. Hannun, 北垣浩志	日本農芸化学会	九州の焼酎かすからのスフィンゴ脂質の検出・定量と解析
米山 智暁・大渡 啓介・川喜田 英孝・原田浩幸	2010 年 日本化学会西日本大会	キノリン型 calix[4]arene を用いた貴金属の抽出特性
米山 智暁・大渡 啓介・川喜田 英孝・原田浩幸	第 28 回九州分析化学若手の会 夏季セミナー	Quinolinocalix[4]arene を用いた貴金属の分離・回収
米山智暁, 大渡啓介, 川喜田英孝	第 29 回溶媒抽出討論会	キノリン型 calix[4]arene を用いた貴金属の抽出
北村二雄		超原子価ヨウ素と遷移金属触媒へのこだわり
北村二雄, 栗木智史, 田澤由衣	第 13 回ヨウ素学会シンポジウム	超原子価ヨウ素を用いるケトンの簡便フッ素化反応
北島健貴, 山口 遼, 新町洋文, 長田聡史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	2010 年日本化学会西日本大会	ヒト好中球遊走ペプチドアンタゴニストの構造活性相関
堀江 健太, 柘植 圭介, 鶴田 裕美, 吉村臣史, 小金丸 和義, 北垣 浩志	日本農芸化学会	酵母ミトコンドリア輸送体は清酒醸造中の物質代謝に積極的な役割を持つ
堀勇治, 服部英治, 坂本侑太, 北村二雄	第 47 回化学関連支部合同九州大会	エチニル置換エチレン類の合成と性質
末廣智, 田島照規, 木田徹也, 石井啓文, 手塚泰久, 渡辺英一郎, 津谷大樹, 河江達也, 石渡洋一	第 116 回日本物理学会九州支部例会	溶液合成した V2O3 ナノ粒子の構造, 電子状態と磁性
末廣智, 木田徹也, 石井啓文, 手塚泰久, 渡辺英一郎, 津谷大樹, 河江達也, 石渡洋一	日本物理学会第 66 回年次大会	V2O3 ナノ粒子における金属絶縁体転移の消失
木宮隆行, 高島亮, 長田聡史, 兒玉浩明	第 47 回化学関連支部合同九州大会	α, β -不飽和エステル合成に用いるスルホキシド反応剤の改良
木戸 玄德, 畑田 康次, 野口 英行	第 47 回化学関連支部九州合同大会	炭素-酸化チタン複合材料の電気化学特性
野口 英行, 田中 理弘, 宮崎 啓, 飯田 泰士, 中村 博吉	電気化学会第 78 回大会	低結晶性 TiO ₂ -B の電気化学特性
野口 英行, 木戸 玄德, 趙 文文, 田口 慎吾	第 51 回 電池討論会	中和グラフェンオキシライドの EDLC 特性
野口千明, 東麻梨江, 櫻庭春彦, 大島敏久, 川上竜巳	第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会	超好熱アーキアの L-プロリン脱水素酵素サブユニットの比較解析
野口千明, 東麻梨江, 櫻庭春彦, 大島敏久, 川上竜巳	農芸化学会西日本支部大会	超好熱アーキアの L-プロリン脱水素酵素サブユニットの機能解析
立本耕太郎, 小山田重蔵, 北村二雄	第 57 回有機金属化学討論会	二座配位子を有するパラジウム触媒によるフェノールからアルケニルケマリンの合成
立本耕太郎, 北村二雄	第 47 回化学関連支部合同九州大会	フェノールとプロピオール酸エチルを用いる連続的環化-アルケニル化反応
脇山剛^M, 黒木智博, 宮崎理世^B, 中村博吉	第 47 回化学関連支部合同九州大会 2010 年 7 月	各種黒鉛負極上での電解液の分解抑制
廣瀧謙亮, 前田諒子, 花本猛士	第 47 回化学関連支部合同九州大会	含フッ素アジリジンとアルデヒドの反応
高田健式, 小島昌一	空気調和・衛生工学会九州支部研究報告	水郷柳川の都市熱環境における水路の影響に関する研究

Higashimoto K. Yada Y. Komori T. Masashi M. Koseki Y. Nakayama M. Soejima H. Handa H. Koseki H. Hirose S. and Nishioka K.	Cold Spring Harbor Conferences Asia (Epigenetics, Chromatin&Transcription)	A Role of Histone Methylation by ASH1L in the Establishment of Transcriptional Memory
Soejima H.	The 4th Asian Chromosome Colloquium	Genome and epigenome analyses of an imprinting disease Beckwith-Wiedemann syndrome.
*青木藍子, 塩崎有広, 鯨島梓, 米田徳子, 山中美樹子, 米田哲, 齋藤滋, 渡辺祐紀, 吉田文俊, 東元健, 副島英伸	第18回日本胎盤学会学術集会	巨大絨毛血管腫を合併した臨床的 Beckwith-Wiedemann 症候群の一例
Higashimoto K. Yada Y. Komori T. Masashi M. Koseki Y. Nakayama M. Soejima H. Handa H. Koseki H. Hirose S. and Nishioka K.	日本分子生物学会 第33回年会	Role of Ash1l for transcriptional pause release
副島英伸	第49回日本婦人科腫瘍学会学術集会	腫瘍細胞におけるエピジェネティックな遺伝子発現異常の分子機構
副島英伸	第18回日本胎盤学会学術集会	ゲノム刷り込み疾患 Beckwith-Wiedemann 症候群および Placental mesenchymal dysplasia のゲノム・エピゲノム解析
Yoshinaga H. Higashimoto K. Yatsuki H. Maeda T. Ohtsuka Y. Jozaki K. Nakabayashi K. Hata K. Yoshiura K. Soejima H.	第33回日本分子生物学会年会第83回日本生化学会大会合同大会	Clinical features and genome/epigenome analyses of Japanese patients with Beckwith-Wiedemann syndrome.
副島英伸, 吉永北斗, 東元健, 八木ひとみ, 前田寿幸, 大塚泰史, 中林一彦, 泰健一郎, 吉浦孝一郎	本人類遺伝学会第55回大会	本邦 Beckwith-Wiedemann 症候群の臨床像とゲノム・エピゲノム解析
副島英伸, 東元健	第69回日本癌学会学術総会	インプリンティング疾患 Beckwith-Wiedemann 症候群本邦例の臨床像とゲノム・エピゲノム解析
吉永北斗, 東元健, 八木ひとみ, 中林一彦, 泰健一郎, 吉浦孝一郎, 副島英伸	第4回日本エピジェネティクス研究会年会	本邦 Beckwith-Wiedemann 症候群の臨床像とゲノム・エピゲノム解析
副島英伸, 吉永北斗, 城崎幸介, 大塚泰史, 前田寿幸, 八木ひとみ, 東元健.	第17回遺伝性疾患に関する出生前診断研究会	本邦 Beckwith-Wiedemann 症候群の臨床像とゲノム・エピゲノム解析.
副島英伸	ヒューマンサイエンス振興財団ポストゲノム医薬品開発WG 勉強会	インプリンティング異常と疾患
副島英伸	九州大学母子総合研究リサーチコアカンファレンス	Beckwith-Wiedemann 症候群のインプリンティング機構と患者解析
副島英伸	佐賀大学医学部附属先端医学研究推進支援センター研究推進部門セミナー「エピジェネティクス-疾患と病態-」	ゲノムインプリンティングと発育異常
副島英伸	厚生省難治性疾患事業合同班会議	ゲノム・エピゲノム解析に基づく刷り込み疾患 Beckwith-Wiedemann 症候群の診断基準作成と治療法開発基盤の確立
Izuhara K, Masuoka M, Shiraiishi H, Ohta S, Suzuki S.	28th Symposium of the collegium Internationalale Allergologicum.	Periostin, an extracellular matrix protein, acts as a master switch for the onset of inflammation in atopic dermatitis.
Masuoka M, Shiraiishi H, Ohta S, Suzuki S, Sutoh H, Inagaki N, Furue M, Izuhara K	14h International Congress of Immunology.	Periostin, an extracellular matrix protein, is a critical mediator for amplification and chronicity of inflammation in atopic dermatitis.
出原賢治	第60回日本アレルギー学会秋季学術大会	マイクロアレイによる IL-13 誘導遺伝子とその機能解析.
○Fujimoto H, Hirase T, Miyazaki Y, Hara H, Ide-Iwata N, Nishimoto-Hazuku A, Saris C J M, Yoshida H and Node K	The 14th International Congress of Immunology (ICI 2010)I.	Interleukin 27 Inhibits Hyperglycemia and Pancreatic Islet Inflammation Induced by Streptozotocin in Mice.
*Hirase T, Hara H, Miyazaki Y, Ide-Iwata N, Nishimoto-Hazuku A, Fujimoto H, Yoshida H and Node K	The 14th International Congress of Immunology (ICI 2010)I.	Interleukin 27 ameliorates atherosclerosis by inhibiting bone marrow-derived macrophage activation in arterial walls in mice
Nakaya M, Hara H, Yamazaki M and Yoshida H	The 14th International Congress of Immunology (ICI 2010)I.	Role of CARD9-mediated activation of innate immunity in anti-protozoan defense
Yoshida H	Adaptive and innate immune responses to neglected tropical diseases conference.	Role of CARD9-mediated activation of innate immunity in anti-protozoan defense
Yoshida H	US-Japan-Asia Dialogue on Cardiovascular Diseases.	Cytokine regulation of inflammation in atherosclerosis

Yoshida H, Nakaya M, Hara H and Yamasaki M	The 10th Awaji International Forum on Infection and Immunity.	Role of CARD9-mediated activation of innate immunity in anti-protozoan defense
Yoshida H, Nakaya M, Iizasa E I and Hara H	The 10th Nagasaki-Singapore Medical Symposium	Role of CARD9-mediated activation of innate immunity in anti-protozoan defense
中谷真子 原博満 and 吉田裕樹	第 79 回日本寄生虫学会大会	原虫感染における CARD9 を介した新たな自然免疫活性化経路の解明
中谷真子 原博満 and 吉田裕樹	第 75 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会	原虫感染における CARD9 を介した新たな自然免疫活性化経路の解明
安川晋輔 古江増隆 原博満 and 吉田裕樹	第 75 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会	CARD9 のアレルギー性接触皮膚炎における役割
久保勇貴、本田裕子、小池謙造、増子貞彦、高崎洋三、安藤祥司	化学関連支部合同九州大会	ヘアセラチンによる中間径フィラメントの形成
久保勇貴、本田裕子、小池謙造、増子貞彦、高崎洋三、石松亮平、安藤祥司	日本農芸化学会西日本大会支部大会	ヒトヘアセラチンの中間径フィラメント形成特性
久保勇貴、本田裕子、小池謙造、増子貞彦、高崎洋三、石松亮平、安藤祥司	日本化学会西日本大会	ヘアセラチンの中間径フィラメント形成機構
Rachmawati NM, Uleng B, Fukudome K, Kimoto M	14th International Congress of Immunology	Agonistic anti-TLR4 monoclonal antibodies function as immunoadjuvants.
Tsukamoto H, Fukudome K, Takao S, Tsuneyoshi N, Kimoto M.	14th International Congress of Immunology	Lipopolysaccharide-binding protein-mediated Toll-like receptor 4 dimerization enables rapid signal transduction against lipopolysaccharide stimulation on membrane-associated CD14-expressing cells.
本田裕子, 久保勇貴, 小池謙造, 高崎洋三, 安藤祥司, 増子貞彦	第 115 回日本解剖学会総会	ヒトヘアセラチン組換え蛋白質の中間径フィラメント形成特性の解析
李明子, 河野史, 村田祐造, 増子貞彦	第 115 回日本解剖学会総会	ラット脊髄終系における神経グループの構成
○河野史, 李明子, 増子貞彦	第 115 回日本解剖学会総会	脳弓下器官から室傍核への部位特異的な投射に対する統計的検討
Murata Y, Honda Y, Li M-Z, Kawano H, Masuko S,	第 33 回日本神経科学大会 (Neuro 2010)	Expression of oxytocin receptor subtypes in the developing rat brain
本田裕子, 久保勇貴, 小池謙造, 増子貞彦, 高崎洋三, 石松亮平, 安藤祥司	第 83 回日本生化学会大会 (BMB 2010)	ヒトヘアセラチンの中間径フィラメント形成機構
Fujita T, Aoyama T, Koga S, Nakatsuka T, Uemura S, Yasaka T, Kumamoto E	Society for Neuroscience 40th Annual Meeting	Extracellular ATP enhances excitatory transmission by activating P2X and P2Y ₁ receptors in rat spinal ventral horn neurons.
Inoue M, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Tomohiro D, Yasaka T, Kumamoto E	Society for Neuroscience 40th Annual Meeting	Modulation by eugenol of glutamatergic spontaneous excitatory synaptic transmission in adult rat spinal dorsal horn neurons.
Jiang C-Y, Fujita T, Inoue M, Yue H-Y, Piao L-H, Liu T, Yang L, Uemura S, Kawasaki H, Liu D-M, Kumamoto E	The 7th East-West Pain Conference	Comparison between spontaneous excitatory synaptic transmission enhancements produced by resiniferatoxin and capsaicin in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.
Jiang C-Y, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Inoue M, Mizuta K, Yang L, Kumamoto E	The 9th Japan-Korea Joint Symposium on Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscles	Enhancement by TRPV1 channel agonist resiniferatoxin of excitatory synaptic transmission in substantia gelatinosa neurons of adult rat spinal cord slices.
Liu T, Fujita T, Yue H-Y, Jiang C-Y, Piao L-H, Inoue M, Yang L, Mizuta K, Kumamoto E	The 7th East-West Pain Conference	Involvement of acetylcholine and norepinephrine in GABAergic inhibitory synaptic transmission enhancement produced by phospholipase A ₂ activation in rat substantia gelatinosa neurons.
Piao L-H, Fujita T, Yue H-Y, Inoue M, Jiang C-Y, Mizuta K, Yasaka T, Kumamoto E	Society for Neuroscience 40th Annual Meeting	Effects of local anesthetics on spontaneous excitatory synaptic transmission in the adult rat spinal dorsal horn.
Yue H-Y, Fujita T, Inoue M, Jiang C-Y, Piao L-H, Liu T, Yang L, Yasaka T, Zou T, Liang S-D, Kumamoto E	The 7th East-West Pain Conference	Galanin inhibits dorsal root-evoked monosynaptic glutamatergic excitatory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.
Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Inoue M, Mizuta K, Jiang C-Y, Yasaka T, Hasuo H, Kumamoto E	Society for Neuroscience 40th Annual Meeting	Enhancement by zingerone of spontaneous excitatory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.
Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Jiang C-Y, Inoue M, Mizuta K, Yasaka T, Yang L, Kawasaki H, Kumamoto E	5th International Peptide Symposium in conjunction with 47th Japanese Peptide Symposium	Inhibition by galanin of monosynaptic primary-afferent A δ -fiber and C-fiber excitatory transmission in adult rat spinal dorsal horn neurons.

Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Jiang C-Y, Mizuta K, Inoue M, Yasaka T, Yang L, Kumamoto E	The 9th Japan-Korea Joint Symposium on Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscles	Galanin biphasically modulates excitatory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.
青山貴博, 藤田亜美, 井上将成, 山下佳雄, 熊本栄一, 後藤昌昭	第 64 回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会	ラット脊髄前角細胞の興奮性シナプス伝達に及ぼす ATP の促進作用—P2X および P2Y1 受容体の役割.
Fujita T, Aoyama T, Koga S, Nakatsuka T, Uemura S, Yasaka T, Kumamoto E	The 87th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Activation of P2X and P2Y receptors enhances excitatory transmission in rat spinal ventral horn neurons.
Inoue M, Fujita T, Piao L-H, Yue H-Y, Mizuta K, Aoyama T, Yasaka T, Kumamoto E	The 32nd Annual Meeting of Japanese Association for the Study of Pain	Facilitatory effect of eugenol on excitatory synaptic transmission in rat spinal substantia gelatinosa neurons.
Inoue M, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Tomohiro D, Aoyama T, Yasaka T, Kumamoto E	The 87th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Eugenol enhances glutamatergic spontaneous excitatory transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.
Inoue M, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Yasaka T, Tomohiro D, Kumamoto E	The 33rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Effect of eugenol on glutamatergic spontaneous excitatory synaptic transmission in adult rat spinal dorsal horn neurons.
Piao L-H, Fujita T, Yue H-Y, Inoue M, Yasaka T, Mizuta K, Jiang C-Y, Kumamoto E	The 32nd Annual Meeting of Japanese Association for the Study of Pain	Effects of local anesthetics on excitatory synaptic transmission in the adult rat spinal substantia gelatinosa.
Piao L-H, Fujita T, Yue H-Y, Jiang C-Y, Inoue M, Mizuta K, Uemura S, Kumamoto E	The 33rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Effects of local anesthetics on spontaneous excitatory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.
Piao L-H, Fujita T, Yue H-Y, Jiang C-Y, Inoue M, Mizuta K, Yasaka T, Kumamoto E	The 87th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Spontaneous L-glutamate release increase produced by local anesthetics-induced TRP activation in the rat spinal substantia gelatinosa.
Taniguchi W, Nakatsuka T, Kawasaki Y, Fujita T, Kumamoto E	The 32nd Annual Meeting of Japanese Association for the Study of Pain	In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic antinociceptive actions on substantia gelatinosa neurons in the spinal cord.
Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Abe T, Takiguchi N, Kawasaki Y, Takeda D, Fujita T, Kumamoto E, Yoshida M	The 33rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	In vivo patch-clamp analysis of the actions of dopaminergic nervous system in substantia gelatinosa neurons of the rat spinal cord.
Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Inoue M, Mizuta K, Jiang C-Y, Uemura S, Kumamoto E	The 33rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Effect of zingerone on spontaneous excitatory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.
Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Inoue M, Mizuta K, Jiang C-Y, Yasaka T, Kumamoto E	The 87th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Zingerone facilitates spontaneous L-glutamate release in spinal substantia gelatinosa neurons in a manner independent of TRPV1 activation.
Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Inoue M, Mizuta K, Yasaka T, Uemura S, Jiang C-Y, Kumamoto E	The 32nd Annual Meeting of Japanese Association for the Study of Pain	Effect of zingerone on glutamatergic spontaneous excitatory synaptic transmission in rat spinal substantia gelatinosa neurons.
井上将成, 藤田亜美, 水田恒太郎, 朴 蓮花, 岳 海源, 八坂敏一, 川崎弘貴, 熊本栄一	第 61 回西日本生理学会	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンにおけるグルタミン酸作動性自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすオイゲノールの促進作用.
朴 蓮花, 藤田亜美, 岳 海源, 蔣 昌宇, 井上将成, 八坂敏一, 水田恒太郎, 上村聡子, 楊 柳, 熊本栄一	第 61 回西日本生理学会	ラット脊髄膠様質ニューロンにおける興奮性シナプス伝達のテトラカインによる促進作用.
岳 海源, 藤田亜美, 朴 蓮花, 井上将成, 蔣 昌宇, 水田恒太郎, 八坂敏一, 熊本栄一	第 61 回西日本生理学会	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンにおける自発性グルタミン酸放出のジンゲロンによる促進.
井上将成, 藤田亜美, 水田恒太郎, 朴 蓮花, 岳 海源, 青山貴博, 八坂敏一, 熊本栄一	第 32 回脊髄機能診断研究会	ラット脊髄膠様質ニューロンの興奮性シナプス伝達に及ぼすオイゲノールの効果.
蔣 昌宇, 藤田亜美, 岳 海源, 朴 蓮花, 水田恒太郎, 井上将成, 八坂敏一, 熊本栄一	第 32 回脊髄機能診断研究会	レシニフェラトキシンによる TRPV1 活性化を介したラット脊髄膠様質ニューロンの興奮性シナプス伝達促進.
熊本栄一, 朴 蓮花, 岳 海源, 井上将成, 藤田亜美, 水田恒太郎, 蔣 昌宇, 八坂敏一, 友廣大輔	平成22年度生理研研究会「TRP チャネル群の生理機能と病態生理」	局所麻酔作用を持つ化学物質による脊髄後角の自発性興奮性シナプス伝達促進 - TRP チャネルの関与.
熊本栄一, 岳 海源, 藤田亜美, 朴 蓮花, 蔣 昌宇, 水田恒太郎, 八坂敏一, 楊 柳, 井上将成, 川崎弘貴, 上村聡子	平成22年度生理学研究所研究会「シナプス伝達概念志向型研究」	ラット脊髄後角第 II 層ニューロンにおけるシナプス伝達のガラニンによる制御機構.
熊本栄一, 岳 海源, 朴 蓮花, 井上将成, 蔣 昌宇, 藤田亜美, 八坂敏一, 楊 柳, 川崎弘貴, 上村聡子, 水田恒太郎	平成22年度生理学研究所研究会「痛みの病態生理と神経・分子機構」	脊髄膠様質の痛み伝達制御に働く TRP チャネルの活動電位伝導遮断物質による活性化.

谷口 亘, 中塚映政, 宮崎展行, 阿部唯一, 峰 巨, 藤田亜美, 熊本栄一, 吉田宗人	第 32 回 脊髄機能診断研究会	In vivo パッチクランプ法を用いた脊髄後角におけるドパミンの作用機序の解析.
Tokunaga O, Rahmawati M, Hou L, Takase Y, Kai K, Masuda M.	BIY Life Sciences' 2nd Annual International Congress of Antibodies	CD105 expression in cancer angiogenesis and inhibition of primary and metastatic cancer lesions by anti-CD105 antibody in a xenograft model.
Kai K, Kohya N, Nakamura J, Ohtaka K, Hashiguchi K, Hiraki M, Kitajima Y, Tokunaga O, Noshiro H, Miyazaki K.	8th Joint Conference of the American Association for Cancer Research and the Japanese Cancer Association	The ribonucleotide reductase subunit M1 expression assessed by quantitative double-fluorescence immunohistochemistry is a useful chemo-resistant marker of gemcitabine in biliary tract carcinoma
Kai K, Kitajima Y, Tokunaga O, Nakamura J, Hashiguchi K, Noshiro H, Miyazaki K.	9th International Conference of The Asian Clinical Oncology Society	The attempt of tailor-made chemotherapy from biopsy specimens
明石道昭, 甲斐敬太, 徳永 藏	第 99 回日本病理学会総会	最新モダリティによる直腸癌の術前診断と病理所見との比較検討
増田正憲, 甲斐敬太, 明石道昭, 徳永 藏	第 99 回日本病理学会総会	結節性多発動脈炎における腎血管弾性線維層の形態的变化
高瀬ゆかり, 甲斐敬太, 増田正憲, 明石道昭, 木戸伸一, 徳永 藏	第 99 回日本病理学会総会	バーチャルスライドを用いた遠隔術中迅速診断研究
甲斐敬太, 徳永 藏	第 99 回日本病理学会総会	胆嚢癌における腫瘍細胞のクラスター化(Budding)と深達度および予後との関係
Masuda M, Tokunaga O	日本動脈硬化学会	The morphology of the arterial elastic fibers and the expression of collagen type, matrix metalloproteinase, and tumor necrosis factor in polyarteritis nodosa kidney
明石道昭, 増田正憲, 徳永 藏	血管病理研究会	緊急手術を行った血管ベーチェット病による胸部大動脈瘤の 1 症例
増田正憲, 甲斐敬太, 田淵正延, 明石道昭, 木戸伸一, 尾形正也, 永石信二, 徳永藏	第 49 回日本臨床細胞学会秋期大会	画像診断, 細胞診, 術中迅速診断の結果が乖離した両側非浸潤性乳管癌の一例
甲斐敬太, 山崎文朗, 田淵正信, 増田正憲, 林隆元, 永石信二, 尾形正也, 武藤文博, 徳永藏	第 49 回日本臨床細胞学会秋期大会	E-Cadherin 発現減弱を伴った浸潤性乳管癌の細胞像と組織像
甲斐敬太, 北島吉彦, 橋口和義, 平木将紹, 中村淳, 徳永藏, 能城浩和, 宮崎耕治	第 65 回日本消化器外科学会総会	定量的蛍光二重免疫染色法による生検標本からの S-1 感受性予測
○中村淳, 北島吉彦, 甲斐 敬太, 平木 将紹, 橋口 和義, 能城 浩和, 宮崎 耕治	第 65 回日本消化器外科学会総会	胃癌における HIF-1 α 及び DNA メチル化を介した CA9 発現調節と化学療法抵抗性についての検討
甲斐敬太	第 316 回 九州・沖縄スライドコンファレンス	Invasive ductal carcinoma with reduced E-cadherin の一例
*Ando Y, Miyamoto H, Noda I, Akiyama T, Shimazaki T, Yonekura Y, Mawatari M, Hotokebuchi T	23th International Society for Technology of Arthroplasty	THE HYDROXYAPATITE CONTAINING SILVER INHIBITS THE BIOFILM FORMATION IN A FLOW CONDITION
○Yonekura Y, Miyamoto H, Shimazaki T, Ando Y, Noda I, Mawatari M, Hotokebuchi T	56th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society.	Silver Oxide-Containing Hydroxyapatite Coating on titanium implants in the Tibia of Rats: Evaluation of the Silver Concentration in Serum and Ability of Osteoconduction.
久木田明子, 市木佑佳, 松原麗, 鶴飼孝, 中山浩次, 久木田敏夫	第 52 回歯科基礎医学会	IL-27 受容体 WSX-1 ノックアウトマウスの歯周炎モデルにおける骨破壊の解析
*松原麗, 久木田敏夫, 寺町順平, 市木佑佳, 野中和明, 久木田明子	第 28 回 日本骨代謝学会	破骨細胞特異的表面抗原を認識する抗体 Kat1 を用いた単核破骨細胞前駆細胞の性状解析
*松原麗, 久木田敏夫, 寺町順平, 市木佑佳, 野中和明, 久木田明子	第 52 回歯科基礎医学会	破骨細胞特異的モノクローナル抗体 Kat1 を用いた破骨細胞前駆細胞の性状解析
永田正喜, 佐野直人, 草場耕二, 永沢善三, 宮本比呂志	第 84 回日本感染症学会総会	オプトヒン耐性肺炎球菌臨床分離株の生化学的, 遺伝子学的検討
*李銀姫, 久木田明子, 久木田敏夫	第 28 回日本骨代謝学会	破骨細胞分化制御における Wilms' 腫瘍遺伝子産物 WT1 とそのアンチセンス RNA の関与
*寺町順平, 久木田明子, 李銀姫, 中村誠司, 久木田敏夫	第 28 回日本骨代謝学会	メソトレキセートによる炎症性骨破壊抑制野アデノシンによる解除
○米倉豊, 馬渡正明, 安藤嘉基, 嶋崎貴文, 野田岩男, 宮本比呂志, 佛淵孝夫	第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会	ラット脛骨モデルによる銀含有ハイドロキシアパタイトコーティングの骨伝導能
*松原麗, 久木田敏夫, 寺町順平, 市木佑佳, 野中和明, 久木田明子	第9回西日本骨・関節関連疾患懇話会	破骨細胞特異的表面抗原を認識する抗体 Kat1 を用いた単核破骨細胞前駆細胞の性状解析
Tada Y, Kondo S, Aoki S, Koarada S, Inoue H, Suematsu R, Ohta A, Nagasawa K	American College of Rheumatology Annual Scientific Meeting	Interferon Regulatory Factor-5 (IRF-5) is Critical for the Development of Lupus in MRL/lpr Mice

小荒田秀一、多田芳史、副島幸子、末松梨絵、井上久子、大田明英、長澤浩平	第54回日本リウマチ学会総会・学術集会、第19回国際リウマチシンポジウム	SLE 患者由来の自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞は BCMA を高発現する
多田芳史、近藤誠司、小荒田秀一、井上久子、末松梨絵、副島幸子、大田明英、長澤浩平	第54回日本リウマチ学会総会・学術集会、第19回国際リウマチシンポジウム	IRF5 はルーブスマウスの病態発現に重要な役割をはたす
多田芳史、近藤誠司、小荒田秀一、長澤浩平	第 30 回福岡臨床免疫研究会	IRF5 はルーブスマウスの病態発現に重要な役割をはたす
Ide M, Sueoka M, Aragane N, Sato A, Nakamura T, Nakamura H, Hiyama K, Kimura S, Tanimoto K.	101st annual meeting of American association for cancer research.	Tumor development in transgenic mice constitutively expressing hypoxia-inducible factor-1 α .
Sueoka E, Ide M, Aragane N, Sato A, Nakamura T, Hiyama K, Kimura S, Tanimoto K	第 72 回日本血液学会学術集会	Development of intestinal lymphoma by hypoxia-inducible factor-1 α in a transgenic mouse model
Nomoto N, Yonemitsu N, Aoki S, Uchihashi K, Matsunobu A, Toda S, Fujimoto K.	111st Annual Meeting of the American Gastroenterological Association, DDW.	Adipose tissue-derived stromal cells promote the invasion growth of gastric adenocarcinoma cells, which accelerate the myofibroblastic differentiation of the stromal cells in order to develop a cancer-associated cell type.
Shiraishi R, Iwakiri R, Fujise T, Kuroki T, Kakimoto T, Sakata Y, Tsunada S, Sonoda R, Nakashima Y, Yanagida T, Fujimoto K.	18th United European Gastroenterology Week, EUGW.	Suppressive effects of conjugated linoleic acid on colon carcinogenesis with azoxymethane and long term beef tallow feeding: different mechanisms between free fatty acid form and triglyceride form.
O 岩根紳治、尾崎岩太、藤本一真	第 52 回日本消化器病学会大会	肝疾患での間質実質相互作用、形質転換から見た治療戦略: 細胞接着因子 β 1-インテグリンによる増殖因子のシグナル伝達への関与の解明
野年菜実絵、戸田修二、藤本一真	第 52 回日本消化器病学会大会	脂肪組織由来間質細胞は胃癌の進展促進因子、分子標的療法の阻害因子か?
富永直之、白石良介、岩切龍一、藤本一真	第 6 回日本消化管学会総会学術集会	生活習慣病と消化管疾患: 生活習慣病と大腸発癌について、ラット発癌モデルでの検討
Hamajima H, Ozaki I, Iwane S, Takahashi H, Xia J, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsuhashi S, Mizuta T, Fujimoto K	4th ILCA Annual Conference	Regulation of tumor suppressor programmed cell death 4 (PDCD4) by protein kinase C isoforms in human hepatocellular carcinoma cells.
O Ozaki I, Hamajima H, Xia J, Takahashi H, Iwane S, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsuhashi S, Mizuta T	AASLD 61th The Liver Meeting 2010.	Novel protein kinase C (PKC) isoforms PKC- δ and ϵ promote degradation of tumor suppressor programmed cell death 4 (PDCD4) in human hepatoma cells.
岩根紳治、尾崎岩太、藤本一真	第 14 回日本肝臓学会大会	細胞接着分子 β 1-インテグリンによる増殖因子のシグナル伝達への関与の解析
夏 京合、尾崎 岩太、浜島 弘史、高橋 宏和、岩根 紳治、河口 康典、水田 敏彦、藤本 一真、松橋 幸子	第 33 回日本分子生物学会年会	PKC- ϵ ノックダウンによるヒト肝がん細胞の増殖抑制
Masuoka M, Shiraishi H, Suto H, Furue M, Izuhara K	The 14th International Congress of Immunology	Periostin, an extracellular matrix protein, is a critical mediator for amplification and chronicity of inflammation in atopic dermatitis
井上卓也、三砂範幸、篠田洋介、大津正和、松延亜紀、戸田修二、成澤 寛	第 37 回皮膚かたち研究学会学術大会	自然消退部に無色素性の結部を伴った頭部悪性黒色腫の 1 例
上村春子、井上卓也、三砂範幸、成澤 寛	第 200 回記念熊本地方会	White fibrous papulosis of the neck の 1 例
Hiraki M, Kitajima Y, Nakamura J, Miyazaki K, Hashiguchi K, Koga Y, Noshiro H, Miyazaki K.	American Association for Cancer Research	Analysis of cancer specific gene methylation to diagnose micrometastasis to the lymph nodes and peritoneal cavity in gastric cancer patients.
Nakamura J, Kitajima Y, Kai K, Hashiguchi K, Hiraki M, Noshiro H, Miyazaki K.	American Association for Cancer Research	Hypoxia-inducible factor-1 α is an unfavorable determinant of relapse in gastric cancer patients who underwent curative surgery followed by adjuvant 5-fluorouracil chemotherapy.
Nakamura J, Noshiro H	第 9 回アジア臨床腫瘍学会	Expression of carbonic anhydrase IX is predominantly regulated by site-specific DNA methylation rather than hypoxia in gastric cancer and affects the gastric carcinogenesis
*北島吉彦、中村 淳、橋口和義、平木将紹、古賀靖大、井手貴雄、能城浩和、宮崎耕治	第 65 回日本消化器外科学会総会	胃癌分化度に応じた新規 HIF-1 α ターゲット遺伝子の探索
古賀靖大、北島吉彦、中村淳、橋口和義、平木将紹、明石道昭、矢ヶ部知美、隅健次、能城浩和、宮崎耕治	第 110 回日本外科学会定期学術集会	初代細胞を用いたゲノムワイドな DNA メチル化解析の試み

古賀靖大、北島吉彦、中村淳、平木将紹、三宅修輔、田中智和、矢ヶ部知美、隅健次、能城浩和、宮崎耕治	第 21 回日本消化器癌発生学会総会	DNA メチル化解析による大腸癌予後予測因子の検索
中村淳、北島吉彦、甲斐敬太、橋口和義、平木将紹、能城浩和、宮崎耕治	第 110 回日本外科学会定期学術集会	進行胃癌における HIF-1 alpha 発見と 5-FU 補助化学療法の効果についての検討
中村淳、北島吉彦、甲斐敬太、橋口和義、平木将紹、能城浩和、宮崎耕治	第 69 回日本癌学会学術総会	胃癌における CAIX の発現は低酸素よりも DNA メチル化によって優位に制御され、発癌過程において組織型決定に影響を与える
中村淳、北島吉彦、甲斐敬太、平木将紹、橋口和義、能城浩和、宮崎耕治	第 65 回日本消化器外科学会総会	胃癌における HIF-1 α および DNA メチル化を介した CA9 発現調節と化学療法抵抗性についての検討
中村淳、北島吉彦、甲斐敬太、平木将紹、田中智和、三宅修輔、井手貴雄、古賀靖大、宮崎耕治、能城浩和	第 21 回日本消化器癌発生学会総会	胃癌における組織型特異的 DNA メチル化を介した CA9 発現調節
田中智和、平木将紹、北島吉彦、三宅修輔、中村淳、井手貴雄、古賀靖大、宮崎耕治、能城浩和	第 21 回日本消化器癌発生学会総会	胃癌における腹腔洗浄液の DNA メチル化と腹膜播種予測に関する検討
野口 亮、中山功一、野出孝一、森田茂樹	第 109 回日本循環器学会九州地方会	立体心筋細胞構造体による新規心筋再生療法の開発
Shimazaki T, Miyamoto H, Ando Y, Noda I, Yonekura Y, Sonohata M, Mawatari M, Hotokebuchi T	56th annual meeting of the orthopaedic research society	In vivo ability of novel thermal sprayed silver-containing hydroxyapatite coating to sterilize methicillin-resistant staphylococcus aureus
○安藤嘉基、桜井伸子、野田岩男、宮本比呂志、米倉豊、嶋崎貴文、宮崎真樹、馬渡正明、佛淵孝夫	第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会	銀 HA 溶射被膜から溶出する銀イオンによる細胞への影響評価
○野田岩男、安藤嘉基、宮本比呂志、嶋崎貴文、米倉豊、宮崎真樹、馬渡正明、佛淵孝夫	第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会	次世代型抗菌性 HA コーティング(第 3 報)ー銀 HA 溶射被膜の抗菌作用に関する基礎的検討ー
米倉豊、馬渡正明、安藤嘉基、嶋崎貴文、野田岩男、宮本比呂志、佛淵孝夫	第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会	ラット脛骨モデルによる銀含有ハイドロキシアパタイトコーティングの骨伝導能
平田 憲、沖波 聡、林 研	第 114 回日本眼科学会総会	囊内固定眼内レンズ脱臼例の走査電子顕微鏡的観察
石川 慎一郎、平田 憲、中林 條、岩切 亮、沖波 聡	第 114 回日本眼科学会総会	アテロコラーゲンによる網膜毒性の検討
垣内好信、森元正敏、平川奈緒美	第 32 回日本疼痛学会	脊髄電気刺激法の鎮痛機序解明に向けて
*小杉寿文、水田恒太郎、上村聡子、藤田亜美、平川奈緒美、熊本栄一	日本麻酔学会第 57 回学術集会	デスクメドミジンの局所麻酔作用~カエル坐骨神経の複合活動電位抑制~
松本浩一、田代千夏、横地奈菜、神田康三	第 3 回 バクテリオファージ研究会(大阪大学蛋白質研究所セミナー「バクテリオファージ研究の可能性と課題」)	バクテリオファージを用いた Vibrio vulnificus の病原因子解明と新規治療法の開発
○Mizuta K, Kosugi T, Fujita T, Yuan H-Y, Piao L-H, Uemura Y, Inoue M, Yasaka T, Masuko S, Kumamoto E	40th Annual Meeting of Society for Neuroscience	Mechanisms for nerve conduction block produced by α_2 adrenoceptor agonist dexmedetomidine in frog sciatic nerves
檀上敦、山下佳雄、下平大治、重松正仁、野口信宏、後藤昌昭	第 55 回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会	智歯由来の歯髄幹細胞と歯硬組織を用いた骨再生の試み
山下佳雄、佐野直人、檀上 敦、下平大治、野口信宏、宮本比呂志、後藤昌昭	九州地区口腔癌研究会第 14 回学術講演会	皮弁により再建された口腔内の唾液中細菌叢の変化(16SrRNA による口腔内細菌叢の網羅的解析)
Izuhara K, Masuoka M, Shiraishi H, Ohta S, Suzuki S.	28th Symposium of the collegium Internationale Allergologicum	Periostin, an extracellular matrix protein, acts as a master switch for the onset of inflammation in atopic dermatitis.
Izuhara K, Masuoka M, Shiraishi H, Ohta S, Suzuki S.	28th Symposium of the collegium Internationale Allergologicum.	Periostin, an extracellular matrix protein, acts as a master switch for the onset of inflammation in atopic dermatitis.
* Kawaguchi T, Fujimoto K, Nakashima O, Suzuki S, Shiraishi H, Ohta S, Kawaguchi A, Tonan T, Oshima K, Yano H, Hayabuchi N, Izuhara K, Sata M	The 61th annual meeting of the American association for the study of Liver diseases. The Liver Meeting.	Periostin, a matrix protein, is a novel serodiagnostic marker for cholangiocarcinoma.
○Masuoka M, Shiraishi H, Ohta S, Suzuki S, Sutoh H, Inagaki N, Furue M, Izuhara K	14h International congress of Immunology.	Periostin, an extracellular matrix protein, is a critical mediator for amplification and chronicity of inflammation in atopic dermatitis.
*Nagai Y, Ohta S, Ikutani M, Kariyone A, Miyake K, Takatsu K	14h International congress of Immunology.	The RP105/MD-1 complex is required for TLR4/MD-2-dependent plasma cell differentiation and robust IgM production in marginal zone B cells.
○有馬和彦、出原賢治、Liu Yong-Jun	第 31 回日本炎症・再生医学学会	TSLP とアレルギー

出原賢治	第 60 回日本アレルギー学会 秋季学術大会	マイクロアレイによる IL-13 誘導遺伝子とその機能解析.
* 倉上和也, 太田伸男, 石田晃弘, 稲村和俊, 出原賢治, 青柳 優	第 28 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	IgG4 関連硬化性疾患の線維化に係わる新規分子の検索.
* 倉上和也, 太田伸男, 石田晃弘, 稲村和俊, 和氣貴祥, 鈴木祐輔, 青柳 優, 牧原靖一郎, 岡部光博, 出原賢治	第 60 回日本アレルギー学会 秋季学術大会	IgG4 関連硬化性疾患における IL-17 の役割.
* Matsumoto F, Hatanaka T, Tamada T, Honjo E, Ohta S, Ito Y, Izuhara K, Kuroki R	第 48 回日本生物物理学会年 会	Inhibition mechanism of Interleukin-13 (IL-13) signal by extracellular region of Interleukin-13 receptor $\alpha 2$ chain (IL-13R $\alpha 2$)
* 小野純也, 東 義則, 太田昭一郎, 出原賢治	第 57 回日本臨床医学会学術 集会	新規バイオマーカーとしての血清ペリオスチン値の測定意義.
Izuhara K	IFCC C-CMBC Committee Activity "MOLECULAR DIAGNOSTICS FOR BEGINNERS"	Pharmacogenetics
* Matsuda S, Yamashita A, Kitajima S, Fan J, Asada Y.	AHA Scientific Session 2010.	Human C-reactive Protein Enhances Thrombus Formation In Transgenic Rabbits.
北嶋 修司, 西島 和俊, 劉 恩岐, 小池 智也, 森本 正敏, 渡辺 照男, 範 江林	第 57 回日本実験動物学会総 会	佐賀大学におけるヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と保存状況について
* Koike T, Kitajima S, Yu Y, Nishijima K, Waqar AB, Inoue T, Wang Y, Zhang B, Kobayashi J, Masatoshi M, Saku K, Watanabe, T, Fan J.	第 42 回日本動脈硬化学会総 会・学術集会	Expression of Human ApoAII in Transgenic Rabbits Leads to Dyslipidemia -A New Model for Combined Hyperlipidemia.
* Matsuda S, Kitajima S, Koike T, Fan J, Asada J.	第 42 回日本動脈硬化学会総 会・学術集会	Human C-reactive protein enhances thrombus formation in transgenic rabbits.
* 田中 慎, 西島 和俊, 大野 民生, 北嶋 修司	第 57 回日本実験動物学会総 会	ウサギの大腿骨特性について
西島 和俊, 小池 智也, 山口 慎二, 森本 正敏, 渡辺 照男, 範 江林, 北嶋 修司	第 28 回九州実験動物研究会 総会	ヒト apoA II 遺伝子導入ウサギの特性: ヒト家族性複合型高脂血症の新規モデル動物
山口 慎二, 前田 達弘, 西島 和俊, 森本 正敏, 北嶋 修司	第 28 回九州実験動物研究会 総会	ウサギ凍結精子を用いた人工授精成績の向上に関する検討
* 松田 俊太郎, 山下 篤, 北嶋 修司, 小池 智也, 範 江林, 浅田 祐士郎	第4回ウサギフォーラム	ヒト C 反応性蛋白は心血管疾患における血栓形成に影響を与えるか? 遺伝子 改変ウサギを用いた動脈硬化性血栓形成の検討
西島 和俊, 山口 慎二, 森本 正敏, 渡辺 照男, 北嶋 修司	第4回ウサギフォーラム	長期保存された遺伝子改変ウサギ凍結精子の受精能の検討
Shimazaki-Tokuyama Y., Inoue Y., Hirayama R., Furusawa Y., Ide H. and Terato H.,	37th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry, Yokohama, Japan	Yields of clustered DNA damage induced by heavy particle beams under various conditions.
寺東宏明, 島崎-徳山由佳, 井上侑子, 平山 亮一, 古澤佳也, 井出博	第 24 回日本宇宙生物科学会 大会	粒子線によって生じるクラスターDNA 損傷の収率と性質
寺東宏明, 島崎-徳山由佳, 井上侑子, 齊藤 剛, 西岡伸紘, 岡本敦志, 鈴木克之	第 53 回日本放射線影響学会 大会	放射性耐性細菌 Rubrobacter radiotolerans のスーパーオキサイドディスムターゼの遺伝子構造と遺伝子産物の機能
寺東宏明, 徳山由佳, 井上侑子, 近藤敏弘	第 34 回蛋白質と酵素の構造 と機能に関する九州シンポジ ウム	放射性耐性細菌 Rubrobacter radiotolerans のスーパーオキサイドディスムターゼの機能と遺伝子構造

外部資金

代表者名	資金の名称	研究課題	金額(千円)
出原 賢治	科研費 基盤 C	アレルギー疾患の病態形成に関与する新規エフェクター分子の機能解析	1,300
鈴木 章一	科研費 基盤 C	イオンチャンネルを介した気管支喘息発症機序の解明と創薬の開発	1,300
白石 裕士	科研費 若手 B	アトピー性皮膚炎における増悪化ループに関する解析	2,470
出原 賢治	佐賀大学研究シーズ	アトピー性皮膚炎に対する新規治療薬の開発	1,500
出原 賢治	中期計画実行経費 医学部研究者育成支援事業【基礎】	新規メカニズムを基盤とした炎症疾患に対する創薬の開発	1,000
吉田裕樹	科研費 特定領域	原虫感染時のサイトカインによる炎症誘導機構の解析とその制御に関する研究	6,500

吉田裕樹	科研費 特定領域	新規免疫抑制性サイトカインIL-27による免疫制御とその治療応用	4,100
吉田裕樹	科研費 基盤 C	免疫抑制性IL-12関連サイトカインによる自然免疫制御とその治療応用に関する研究	1,950
吉田裕樹	研究助成金・第一三共生命科学 研究振興財団	原虫感染に対する CARD9 を介した新規自然免疫活性化経路の解析	1,000
吉田裕樹	平成23年度東京大学医科学研究 所共同研究	炎症性疾患における ITAM 受容体-CARD9 経路を介した免疫活性化機構の解析	1,000
吉田裕樹	平成22年度琉球大学共同利用 研究・共同利用研究会	結核菌に対する免疫応答における CARD9 を介した自然免疫活性化経路の役割に関する研究	70
原博満	科研費 基盤 C	免疫抑制性IL-12関連サイトカインによる自然免疫制御とその治療応用に関する研究	200
原博満	科研費 基盤 B	CARMA1 シグナルの制御機構と免疫恒常性維持における役割	3,770
原博満	科研費 特定領域	ITAM 受容体-CARD9 経路による自己免疫病の発症・増悪機構の解明	4,400
原博満	研究助成金・佐川がん研究助成 振興財団	悪性B細胞リンパ腫の生存／増殖に必須なNF-κB 活性化誘導シグナル経路の制御機構の解明	1,000
中谷真子	科研費 若手 B	原虫感染における CARD9 を介した新たな自然免疫活性化経路の解明	1,600
見市(三田村)文香	科学研究費補助金(研究活動ス タート支援)	赤痢アメーバにおける新規病原因子“含硫脂質”の病原機構の解明	1,260
木本雅夫	科研費 基盤 C	刺激型抗TLR抗体を用いた免疫賦活作用と感染防御機序の解明	1,560
福留健司	科研費 基盤 C	血管の内と外での病原体認識メカニズム	1,690
常吉直子	中期計画実行経費 医学部研究 者育成支援事業【基礎】	敗血症の分子機構の解明	500
熊本栄一	科研費 基盤 C	ラット脊髄後角における痛み伝達のガラニンによる二相性制御の細胞レベル機序.	650
水田恒太郎	日本学術振興会特別研究員 -DC2(特別研究員奨励費)	ラット後根神経節ニューロンの痛み伝達に及ぼすオピオイド作用の構造活性連関.	700
熊本栄一	中期計画実行経費 医学部研究 者育成支援事業【基礎】	ラット脊髄後角膠様質ニューロンにおける興奮性および抑制性のシナプス伝達に及ぼすオキシトシンの作用.	700
藤田亜美	中期計画実行経費 医学部研究 者育成支援事業【基礎】	成熟ラット脊髄膠様質における GABA およびグリシン作動性の抑制性シナプス伝達に及ぼすプロテアーゼ受容体(PAR-1)活性化の効果の解析.	500
久木田明子	科研費 基盤 C	実験的菌周炎における IL-27 受容体を介した骨破壊と炎症の制御機構の解析	1,430
久木田明子	科研費 基盤 B	骨髄間葉系幹細胞を用いた骨破壊制御:組織幹細胞特異的表面マーカーの開発とその応用	1,000
久木田明子	中期計画実行経費 医学部研究 者育成支援事業【基礎】	モノクローナル抗体によるマウス及びヒト破骨細胞とその前駆細胞の同定と抗原蛋白質の解析	500
長澤浩平	共同研究	自己免疫疾患患者由来 RP105 陰性細胞 B 細胞の膜上に特異的に発現する分子の同定と当該細胞の自己免疫疾患における役割に関する研究	1,000
多田芳史	科研費 基盤 C	ルーブス腎炎の病態発現におけるインターフェロン制御因子5の作用の解析	1,560
小荒田秀一	科研費 基盤 C	自己抗体産生細胞標的とした全身性エリトマトーデスの新規治療法の開発	2,400
小荒田秀一	中期計画実行経費 医学部研究 者育成支援事業【臨床】	ヒト自己免疫疾患における自己抗体産生 B 細胞と後期 B 細胞分化過程の異常に関する研究	500
藤本一真	科研費 基盤 C	摂食行動に関連する中枢神経系の小腸粘膜アポロシス・増殖に及ぼす影響	1,170
岩切龍一	科研費 基盤 C	大腸発癌に対する各種脂質の影響及び修飾因子に関する検討	1,300
中原由紀子	科研費 若手 B	悪性脳腫瘍におけるメチル化遺伝子とヒスト	2,340
出原 賢治	科研費 基盤 C	アレルギー疾患の病態形成に関与する新規エフェクター分子の機能解析	1,300
出原 賢治	佐賀大学研究シーズ	アトピー性皮膚炎に対する新規治療薬の開発	1,500
出原 賢治	中期計画実行経費 医学部研究 者育成支援事業【基礎】	新規メカニズムを基盤とした炎症疾患に対する創薬の開発	1,500

太田昭一郎	科研費 基盤 C	TLR4 シグナルを利用した気管支喘息発症の予防的治療戦略の構築	1,300
北嶋修司	科研費 基盤 C	ヒト疾患モデルウサギの精子バンク構築に向けての関連技術の整備	1,200
北嶋修司(分担)	科研費 基盤 B	内皮リパーゼを標的とした動脈硬化治療法の新たな戦略—遺伝子改変ウサギを用いた研究	750
北嶋修司(分担)	厚労省科研(創業基盤推進研究事業)	急性冠症候群の疾患モデルウサギの開発及びバイオリソースの樹立	1,840
西島和俊	科研費 若手 B	ヒト Apo CIII Tg ウサギ founder line の作製と繁殖	500
西島和俊(分担)	科研費 基盤 C	急性冠症候群克服の疾患特異的 MMP の探索-遺伝子改変ウサギを用いた研究	900
大和武彦	科研費 基盤 C	縮合多環芳香族化合物を基体とする拡張 π 共役系巨大 分子の合成と発光特性	3,120
大和武彦	NEDO プロジェクト	「アルコール可溶性青色蛍光材料の開発」	10,480
大和武彦	奨学寄付金(イハラニッケイ化学工業株式会社)	「塩素化の選択性を向上する助触媒の設計」	700
花本猛士	委任経理金	新規有機フッ素化合物の合成	300
花本猛士	共同研究	含フッ素有機化合物の合成と農業への応用	300
高橋利幸	科研費 基盤 C	π 電子相互作用が寄与するイオン液体の会合体形成と圧力による相転移	2,200
穴井豊昭	科研費 基盤 C	TILLING法を用いたダイズ脂肪酸組成の代謝工学的改良	2,300
穴井豊昭	文部科学省・ナショナルバイオリソースプロジェクト	ミヤコグサ・ダイズ遺伝資源の種子成分分析	3,000
穴井豊昭	農林水産省・新農業展開ゲノムプロジェクト	ダイズの開花期関連遺伝子の単離と機能解析	2,000
穴井豊昭	(受託研究)(独)理化学研究所	イネの過剰発現体の作成、育成および種回収	3,000
大島一里	科研費 特別研究員奨励費	ユーラシアにおけるカリフラワーモザイクウイルスの集団遺伝構造	700
早川洋一	科研費 挑戦萌芽研究	昆虫の生死を決定する遺伝子の解析	1,500
早川洋一	佐賀県 試験研究 研究助成	「西洋ミツバチにおける病変の発生予防と回復法の開発」	1,200
松本均	山田養蜂 研究助成	ミツバチの腸内細菌が自然免疫活性に及ぼす影響の解析	3,120
鈴木章弘	科研費 基盤 B	共生窒素固定能の強化に関する分子基盤解明とマメ科作物への応用	2,200
鈴木章弘	科研費 挑戦的萌芽	フィトクロムシグナリングを介した根粒数調節機構の解析	700
鈴木章弘	JST A-STEP (探索タイプ)	北部九州に適した低炭素投入型ダイズ根粒菌資材の開発	1,300
吉賀豊司	科研費 基盤 B	高い殺虫活性を示す新規フォトラブドゥス属細菌の病原性と宿主応答	800
川上竜巳	科研費 若手 B	超好熱アーキアの L-プロリン脱水素酵素複合体の機能構造解析と電子伝達機構の解明	1,170
武藤さやか(指導教員:永野幸生)	科研費 特別研究員奨励費	グラム陰性菌由来リポ多糖に対する植物自然免疫の解明	800
永野幸生	科研費 学内インセンティブ	なし	800
永尾晃治	科研費 若手 B	脂肪組織由来メタボリックシンドローム疾患遺伝子の検索と食環境による発現制御	3,380
柳田晃良	科研費 基盤 C	脂質構造異性体の栄養生理機能に関する基礎的研究	3,120
中村隆俊	経産省:地域イノベーション創出研究開発事業	ナルトピエイ活用を志向した抗メタボリック症候群ペプチドの開発	27,880

7. センター教職員による業績

著者

著者名(多数の場合、略記可)	書名	担当題目(共著の場合)
----------------	----	-------------

原著論文

著者名	雑誌名	題目
Zheng H, Lin L, Okezaki Y, Kawakami R, Sakuraba H, Ohshima T, Takagi K, Suye S	Beilstein Journal of Nanotechnology 1 135-141	Electrochemical behavior of dye-linked L-proline dehydrogenase on glassy carbon electrodes modified by multi-walled carbon nanotubes
Kawakami R, Oyama M, Sakuraba H, Ohshima T	Biosci. Biotechnol. Biochem. 74 884-887	The Unique Kinetic Behavior of the Very Large NAD-Dependent Glutamate Dehydrogenase from <i>Janthinobacterium lividum</i>
市場正良 近藤敏弘 次富久之 淵上篤信 武藤文博 松本茜子 井上明子 弥富美奈子 藤井敦成 上野裕之 松本明子	産業医学ジャーナル 33 74-79	医療現場におけるホルムアルデヒド曝露作業者の個人曝露濃度測定評価
* Ding Y, Yamada S, Wang KY, Shimajiri S, Guo X, Tanimoto A, Murata Y, Kitajima S, Watanabe T, Izumi H, Kohno K, Sasaguri Y.	Antioxid. Redox Signal. 13: 1477-1490	Overexpression of peroxiredoxin 4 protects against high-dose streptozotocin-induced diabetes by suppressing oxidative stress and cytokines in transgenic mice.
* 範 江林, 小池 智也, 西島 和俊, 北嶋 修司	アニテックス 22: 11-15	医学研究における遺伝子改変ウサギの応用とその展望
北嶋 修司, 西島 和俊	アニテックス 22: 32-37	ウサギ精子・胚の凍結保存とバイオリソース
Nishijima K, Kuwahara S, Ohno T, Kitajima S, Sumi Y, Tanaka S.	Arch. Gerontol. Geriatrics 51: e11-e15	Aging change of mandibular condyle in female F344/N rat.
西島 和俊, 山口 慎二, 森本 正敏, 渡辺 照男, 北嶋 修司	九州実験動物雑誌 19: 35-39	遺伝子改変ウサギの系統維持のための精子凍結保存の有用性に関する検討: 約 5.6 年間凍結保存された遺伝子組換えウサギ由来精子を用いた人工授精成績
Kumiko Tsuda a, HisayoMori b, DaichiAsakawa a,1, YukikoYanagi b,2, HirokiKodama c, Seiya Nagao d,3, KoyoYonebayashi e, NobuhideFujitake b,*	water research 1-10	Characterization and grouping of aquatic fulvic acids isolated from clear-water rivers and lakes in Japan
D. Ueno a,*, T. Isobe b, K. Ramu b, S. Tanabe b, M. Alae c, C. Marvin c, K. Inoue a, T. Someya a, T. Miyajima d, 6 H. Kodama e, H. Nakata f	Chemosphere	Spatial distribution of hexabromocyclododecanes (HBCDs), polybrominated 3 diphenyl ethers (PBDEs) and organochlorines in bivalves from Japanese coastal 4 waters
中田 弘太郎, 柏谷 公希, 長谷川 琢磨, 兒玉 宏樹, 宮島 徹	地下水学会誌	蛍光染料を含むサンプルのイオン濃度および酸素・水素同位体比測定における前処理法の提案
Tshering Penjor, Toyoaki Anai, Yukio Nagano, Ryoji Matsumoto and Masashi Yamamoto	Tree Genetics & Genomes 6 931-939	Phylogenetic relationships of Citrus and its relatives based on rbcL gene sequences

総説・解説・その他

著者名	雑誌名	題目
兒玉宏樹	環境管理(Environmental Evaluation) 39 25-34	海の生物生産に微量必須元素、鉄の動態研究について
永野幸生、松本亮司	知的財産権の出願等(著作権は除く)	開花誘導剤

招待講演・特別講演

発表者	会議等名	題目
-----	------	----

一般講演

発表者	会議等名	題目
野口千明, 東麻梨江, 櫻庭春彦, 大島敏久, 川上竜巳	第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会	超好熱アーキアの L-プロリン脱水素酵素サブユニットの比較解析
川上竜巳, 櫻庭春彦, 大島敏久	第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会	超好熱アーキア <i>Pyrococcus horikoshii</i> の $\alpha 4 \beta 4$ 型色素依存性 L-プロリン脱水素酵素複合体のシステイン残基の役割

野口千明, 東麻梨江, 櫻庭春彦, 大島敏久, 川上竜巳	農芸化学会西日本支部大会	超好熱アーキアのL-プロリン脱水素酵素サブユニットの機能解析
川上竜巳, 小山正樹, 櫻庭春彦, 大島敏久	日本農芸化学会西日本支部大会	巨大グルタミン酸脱水素酵素のL-アスパラギン酸による活性化
Shimazaki-Tokuyama, Y., Inoue, Y., Hirayama, R., Furusawa, Y., Ide, H., Terato, H.	Yields of clustered DNA damage induced by heavy particle beams under various conditions.	37th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry, Yokohama, Japan
近藤敏弘, 上野大介, 寺東宏明, 岡島俊哉, 石崎妃呂美, 井上明子, 藤井敦成, 上野裕之, 堀田美加子, 甲斐今日子, 西條泰明, 市場正良	第80回日本衛生学会.	学校教室内の空気環境と児童の自覚症状との関係.
寺東宏明, 島崎一徳山由佳, 井上侑子, 平山亮一, 古澤佳也, 井出博	第24回日本宇宙生物科学学会大会	粒子線によって生じるクラスターDNA損傷の収率と性質
寺東宏明, 徳山由佳, 井上侑子, 近藤敏弘	第34回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	放射性耐性細菌 Rubrobacter radiotolerans のスーパーオキサイドディスムターゼの機能と遺伝子構造
寺東宏明, 島崎一徳山由佳, 井上侑子, 齋藤剛, 西岡伸紘, 岡本敦志, 鈴木克之	第53回日本放射線影響学会大会	放射性耐性細菌 Rubrobacter radiotolerans のスーパーオキサイドディスムターゼの遺伝子構造と遺伝子産物の機能
中野敏彰, 川添淳也, 大内綾, 寺東宏明, 飯島健太, 田内広, 井出博	第53回日本放射線影響学会大会	DNA-タンパク質クロスリンク損傷の修復機構
* Matsuda S, Yamashita A, Kitajima S, Fan J, Asada Y.	AHA Scientific Session 2010.	Human C-reactive Protein Enhances Thrombus Formation In Transgenic Rabbits.
北嶋 修司, 西島 和俊, 劉 恩岐, 小池 智也, 森本 正敏, 渡辺 照男, 範 江林	第57回日本実験動物学会総会	佐賀大学におけるヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と保存状況について
* Koike T, Kitajima S, Yu Y, Nishijima K, Waqar AB, Inoue T, Wang Y, Zhang B, Kobayashi J, Masatoshi M, Saku K, Watanabe, T, Fan J.	第42回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Expression of Human ApoAII in Transgenic Rabbits Leads to Dyslipidemia -A New Model for Combined Hyperlipidemia.
* Matsuda S, Kitajima S, Koike T, Fan J, Asada J.	第42回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Human C-reactive protein enhances thrombus formation in transgenic rabbits.
* 田中 慎, 西島 和俊, 大野 民生, 北嶋 修司	第57回日本実験動物学会総会	ウサギの大腿骨特性について
西島 和俊, 小池 智也, 山口 慎二, 森本 正敏, 渡辺 照男, 範 江林, 北嶋 修司	第28回九州実験動物研究会総会	ヒト apoA II 遺伝子導入ウサギの特性: ヒト家族性複合型高脂血症の新規モデル動物
山口 慎二, 前田 達弘, 西島 和俊, 森本 正敏, 北嶋 修司	第28回九州実験動物研究会総会	ウサギ凍結精子を用いた人工授精成績の向上に関する検討
* 松田 俊太郎, 山下 篤, 北嶋 修司, 小池 智也, 範 江林, 浅田 祐士郎	第4回ウサギフォーラム	ヒト C 反応性蛋白は心血管疾患における血栓形成に影響を与えるか? 遺伝子 改変ウサギを用いた動脈硬化性血栓形成の検討
西島 和俊, 山口 慎二, 森本 正敏, 渡辺 照男, 北嶋 修司	第4回ウサギフォーラム	長期保存された遺伝子改変ウサギ凍結精子の受精能の検討
松田 幸久, 稲垣 秀晃, 柴田 淑子, 北嶋 修司, 西島 和俊	第4回ウサギフォーラム	受精卵移植による秋田大型ウサギの SPF 化
Hiroki Kodama	日本腐植物質学会	地下水中フルボ酸の濃縮精製、およびその特性評価
武藤さやか, 松崎佐和子, 永野幸生	第52回日本植物生理学会年会	シロイヌナズナのLPS 結合タンパク質 (AtLBP) はLPS シグナルを負に制御している
武藤さやか, 松崎佐和子, 永野幸生	第23回植物脂質シンポジウム	シロイヌナズナ LPS 結合タンパク質 (AtLBP) はフラジェリンが誘導する自然免疫に関わる
Ei'ichi Iizasa, Masaru Mitsutomi, and Yukio Nagano	The 5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University	Biochemical characterization of Arabidopsis chitin receptor
Genki Suenaga, Sayaka Muto, and Yukio Nagano	The 5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University	Expression and purification of recombinant Arabidopsis lipopolysaccharide-binding proteins
Hiroaki Suzuki, Yukio Nagano and Ryoji Matsumoto	The 5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University	The effect of direct injection of FT protein on young trees of Satsuma mandarin
Sawako Matsuzaki, Sayaka Muto and Yukio Nagano	The 5th Joint Seminar between Saga University and Daegu University	Functional analysis of Arabidopsis lipopolysaccharide-binding proteins in innate immunity
松崎佐和子, 武藤さやか, 永野幸生	日本農芸化学会西日本支部大会	シロイヌナズナ LPS 結合タンパク質 (AtLBP) の自然免疫における機能解析

永野幸生、武藤さやか	第 34 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	シロイヌナズナ LPS 結合タンパク質の立体構造の推定
武藤さやか、松崎佐和子、永野幸生	第 34 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	シロイヌナズナ LPS 結合タンパク質 (AtLBP) の LPS 結合解析と自然免疫における機能解析
飯笹英一、光富勝、永野幸生	平成22年度日本生化学会九州支部例会	キチン受容体の特徴づけ

外部資金

代表者名	資金の名称	研究課題	金額(千円)
川上竜巳	科研費 若手 B	超好熱アーキアの L-プロリン脱水素酵素複合体の機能構造解析と電子伝達機構の解明	1,170
兒玉宏樹	共同研究(電力中央研究所)	地下水の溶存有機物評価に関する研究	2,000
兒玉宏樹	共同研究(野口総合研究所)	天然由来抽出液(カタライザー21)有機成分の構造特性の評価	2,000
兒玉宏樹	委任経理金(佐賀中央市場、佐賀農商工連携応援基金事業費助成金)	地域バイオマスを活用した高品質堆肥及びその製造の確立(分析技術指導、成分分析)	850
寺東宏明	科研費 基盤 C	チミン酸化損傷5-ホルミルウラシルに対する生体内修復機構 FO システムの全容解明	1,370
北嶋修司	科研費 基盤 C	ヒト疾患モデルウサギの精子バンク構築に向けての関連技術の整備	1,200
北嶋修司(分担)	科研費 基盤 B	内皮リパーゼを標的とした動脈硬化治療法の新たな戦略—遺伝子改変ウサギを用いた研究	750
北嶋修司(分担)	厚労省科研(創薬基盤推進研究事業)	急性冠症候群の疾患モデルウサギの開発及びバイオリソースの樹立	1,840
西島和俊	科研費 若手 B	ヒト Apo CIII Tg ウサギ founder line の作製と繁殖	500
西島和俊(分担)	科研費 基盤 C	急性冠症候群克服の疾患特異的 MMP の探索-遺伝子改変ウサギを用いた研究	900
武藤さやか(指導教員:永野幸生)	科研費 特別研究員奨励費	グラム陰性菌由来リポ多糖に対する植物自然免疫の解明	800
永野幸生	科研費 学内インセンティブ	なし	800

8. 学外評価委員による評価結果・意見

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成22年度）に対する評価・検証

平成22年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 県立広島大学

氏名 西本 潤

検証日 平成24年2月3日

1. 評価手法 (適切であった・改善すべき点があった)
意見・具体的改善点など

2. 評価基準 (適切であった・改善すべき点があった)
意見・具体的改善点など

3. 評価の妥当性 (妥当である・妥当でない点がある)
意見・具体的改善点など

その他

活発に活動されていると思います。

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成22年度）に対する評価・検証

平成22年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 国立大学法人富山大学

生命科学先端研究センター

氏名 五味 知治

検証日 平成24年2月6日

1. 評価手法 (~~適切であった~~・改善すべき点があった)

意見・具体的改善点など

報告書の構成は全部局共通と推察され、明確ではあるが、「領域別の自己点検評価」の「施設の領域」は、共同利用施設においては他部局よりも重要と考えられ、ここでの記述と細目が少ないことが物足りない。「総括」の第2段落で記している部分についての具体的記述と評価があって良いかと思われる。

2. 評価基準 (~~適切であった~~・改善すべき点があった)

意見・具体的改善点など

- ・評価基準および評価の根拠資料が必ずしも明示されていない。
- ・中期計画／年度計画に記している事項に照らした明確な評価があって良い。
- ・継続的に実施している内容と当該年度に実施した内容の区別が必ずしも明確ではない。それぞれを区別した評価があって良いと思われる。

3. 評価の妥当性 (~~妥当である~~・~~妥当でない点がある~~)

意見・具体的改善点など

毎年度このような詳細な記述による自己点検評価と外部評価を実施していること自体が高く評価できる。大学統合、施設の統合、キャンパスや各部門の母体部局の違い等に付随する困難も多々あるかと推察されるが、共通の目標を掲げて改善努力していることが十分に窺え、大学および地域社会に多いに貢献しているものと評価できる。リサイクルファシリティや3R事業は、地味であるが非常に有効な事業である一方、多くの労力を要するため、これを実現している大学は多くない。これから効果と評価が上がる事業と考える。

その他

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成22年度）に対する評価・検証

平成22年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 熊本保健科学大学

氏名 森本正敏

検証日 平成24年2月3日

1. 評価手法 （適切であった）・改善すべき点があった）
意見・具体的改善点など

2. 評価基準 （適切であった）・改善すべき点があった）
意見・具体的改善点など

3. 評価の妥当性 （妥当である）・妥当でない点がある）
意見・具体的改善点など

錫島地区機器分析部門で、利用者が「0」という
機器が数点見受けられます。これらの機器をどう評価
するか。リサウシマシティー対応であれば、マークを付けては
いかかでしょうか。

その他